

志賀原子力発電所2号炉
敷地周辺の地質・地質構造について

データ集1(ボーリング柱状図・ボーリングコア写真・BHTV)

2025年11月21日
北陸電力株式会社

余白

目 次

	項 目	今回添付	備考
データ集1-1(空中写真)	福浦断層周辺	—	敷地近傍
	敷地近傍のその他の断層等周辺	—	
	富来川南岸断層周辺	—	
データ集1-2 (ボーリング柱状図・ボーリングコア写真・BHTV)	福浦断層	—	敷地近傍
	断層○	—	
	高ツボリ山東方リニアメント	—	
	富来川南岸断層	1-2-555 — 1-2-646	敷地周辺 (陸域)
	眉丈山第2断層	1-2-647 ~ 1-2-730	
	富来川断層	1-2-731 ~ 1-2-845	
	邑知潟南縁断層帯	1-2-847 ~ 1-2-880	

余白

データ集1-2

ボーリング柱状図・ボーリングコア写真・BHTV

ボーリング孔一覧表(1/2)

紫字は第1193回審査会合以降に追加した箇所

福浦断層に関する調査ボーリング孔一覧表

孔名	孔口標高 (m)	掘進方向	掘進長 (m)	孔径 (mm)	掲載範囲 (m)	資料提出時期 (審査会合)	頁	備考
FK-1	94.48	45°	80.00	86	0.00 ~ 80.00	第973回	1-2-8~17	
F-1'※1	53.08	45°	71.00	86	24.00 ~ 71.00	第1168回	1-2-18~33	0.00~24.00mは ノンコア, BHTVなし
FW-1	50.99	45°	100.00	86	0.00 ~ 100.00	第1009回	1-2-34~65	
OT-2※1	21.06	45°	60.00	86	0.00 ~ 60.00	第1009回	1-2-66~84	
OT-3	21.27	60°	40.00	86	0.00 ~ 40.00	第1009回	1-2-85~96	
OS-1	51.69	45°	100.00	86	0.00 ~ 100.00	第1064回	1-2-97~125	
OS-2	55.91	45°	100.00	86	0.00 ~ 100.00	第1064回	1-2-126~154	
OS-3	57.18	45°	39.00	86	0.00 ~ 39.00	第1064回	1-2-155~163	
OS-3'	57.17	45°	62.00	86	0.00 ~ 62.00	第1064回	1-2-164~184	
OS-4	55.44	45°	110.00	86	0.00 ~ 110.00	第1064回	1-2-185~216	
OS-11	55.91	45°	70.00	86	0.00 ~ 70.00	第1064回	1-2-217~236	
FD-1	38.94	45°	39.00	86	0.00 ~ 39.00	第1064回	1-2-237~250	
FD-2	38.41	45°	25.00	86	0.00 ~ 25.00	第1064回	1-2-251~260	
FD-3	48.80	45°	50.00	86	0.00 ~ 50.00	第1064回	1-2-261~278	
FD-4	38.91	45°	50.00	86	0.00 ~ 50.00	第1064回	1-2-279~295	
FD-5	37.18	45°	50.00	86	0.00 ~ 50.00	第1064回	1-2-296~312	
FD-6	52.96	45°	70.00	86	0.00 ~ 70.00	第1168回	1-2-313~336	
FD-7	39.03	45°	60.00	86	0.00 ~ 60.00	第1064回	1-2-337~355	
FD-8	48.30	45°	65.00	86	0.00 ~ 65.00	第1064回	1-2-356~378	
FD-8'	48.35	45°	7.00	86	0.00 ~ 7.00	第1064回	1-2-379~382	
FD-9	47.12	45°	50.00	86	0.00 ~ 50.00	第1064回	1-2-383~401	

※1:2013年度に実施

断層oに関する調査ボーリング孔一覧表

孔名	孔口標高 (m)	掘進方向	掘進長 (m)	孔径 (mm)	掲載範囲 (m)	資料提出時期 (審査会合)	頁	備考
OS-5	37.89	45°	50.00	86	0.00 ~ 50.00	第1168回	1-2-404~420	
OS-6	37.89	45°	60.00	86	0.00 ~ 60.00	第1168回	1-2-421~439	
OS-7	37.87	45°	29.00	86	0.00 ~ 29.00	第1168回	1-2-440~448	
OS-8	37.87	45°	32.00	86	0.00 ~ 32.00	第1168回	1-2-449~458	
OS-9	55.55	45°	80.00	86	0.00 ~ 80.00	第1064回	1-2-459~481	
OS-5.5	21.21	70°	58.40	86	0.00 ~ 58.40	第1168回	1-2-482~499	
OS-6.5	37.84	70°	38.00	86	0.00 ~ 38.00	第1168回	1-2-500~511	
OS-5.5'	21.85	70°	20.00	86	0.00 ~ 20.00	第1168回	1-2-512~518	
OS-5.5"	21.85	鉛直	15.00	86	0.00 ~ 15.00	第1168回	1-2-519~523	

高ツボリ山東方リニアメントに関する調査ボーリング孔一覧表

孔名	孔口標高 (m)	掘進方向	掘進長 (m)	孔径 (mm)	掲載範囲 (m)	資料提出時期 (審査会合)	頁	備考
TTE-1	142.30	45°	52.00	86	0.00 ~ 52.00	第1009回	1-2-526~539	
TTE-2	143.18	45°	52.00	86	0.00 ~ 52.00	第1009回	1-2-540~553	

富来川南岸断層に関する調査ボーリング孔一覧表

孔名	孔口標高 (m)	掘進方向	掘進長 (m)	孔径 (mm)	掲載範囲 (m)	資料提出時期 (審査会合)	頁	備考
TJ-1	10.96	鉛直	200.00	86	0.00 ~ 200.00	第973回	1-2-556~567	BHTVなし※2
WD-1	53.14	45°	115.00	86	0.00 ~ 115.00	第1009回	1-2-568~604	
IM-a	37.72	60°	80.00	86	0.00 ~ 80.00	第1064回	1-2-605~629	
TJ-2	7.35	鉛直	40.00	86	0.00 ~ 40.00	今回	1-2-630~638	0.00~28.00mはBHTVなし※3
TJ-3	7.19	鉛直	30.00	86	0.00 ~ 30.00	今回	1-2-639~640	BHTVなし※3
TJ-4	6.89	鉛直	30.00	86	0.00 ~ 30.00	今回	1-2-641~642	BHTVなし※3
TJ-5	6.86	鉛直	24.00	86	0.00 ~ 24.00	今回	1-2-643~644	BHTVなし※3
TJ-5'※4	-17.14	鉛直	7.00	86	24.00 ~ 31.00	今回	1-2-645~646	0.00~24.00mはノンコア, BHTVなし※3

※2:孔壁崩壊により、BHTVによる走向傾斜データが取得できなかった。

※3:沖積層・洪積層区間は、孔壁崩壊の可能性があり、ケーシングを使用して掘削を行ったことから、BHTVは実施していない。

※4:TJ-5'孔は、TJ-5孔の深度24m以深を掘削中にコアを流失したため、深度24m以深について再掘削したもの。

ボーリング孔一覧表(2/2)

紫字は第1193回審査会合以降に追加した箇所

眉丈山第2断層に関する調査ボーリング孔一覧表

孔名	孔口標高 (m)	掘進方向	掘進長 (m)	孔径 (mm)	掲載範囲 (m)	資料提出時期 (審査会合)	頁	備考
宿屋No.1	6.487	鉛直	70.00	86	0.00 ~ 70.00	今回	1-2-648~653	BHTVなし
宿屋No.2	6.331	鉛直	60.00	86	0.00 ~ 60.00	今回	1-2-654~659	BHTVなし
宿屋No.3	4.409	鉛直	70.00	86	0.00 ~ 70.00	今回	1-2-660~665	BHTVなし
宿屋No.4	3.602	鉛直	90.00	86	0.00 ~ 90.00	今回	1-2-666~673	BHTVなし
宿屋No.6	6.495	75°	20.00	86	0.00 ~ 20.00	今回	1-2-674~676	BHTVなし
宿屋No.7	6.356	鉛直	32.58	86	0.00 ~ 32.58	今回	1-2-677~680	BHTVなし
宿屋No.8	12.187	鉛直	14.35	86	0.00 ~ 14.35	今回	1-2-681~682	BHTVなし
宿屋No.9	17.377	鉛直	10.10	86	0.00 ~ 10.10	今回	1-2-683~684	BHTVなし
宿屋No.10	12.187	鉛直	90.00	86	0.00 ~ 90.00	今回	1-2-685~694	BHTVなし
徳田北方 No.1	21.15	60°	40.00	86	0.00 ~ 40.00	今回	1-2-695~701	BHTVなし
徳田北方 No.2	19.47	鉛直	33.00	86	0.00 ~ 33.00	今回	1-2-702~706	BHTVなし
徳田北方 No.3	19.77	鉛直	35.00	86	0.00 ~ 35.00	今回	1-2-707~712	BHTVなし
徳田北方 No.4	19.35	鉛直	40.00	86	0.00 ~ 40.00	今回	1-2-713~719	BHTVなし
徳田北方 No.5	19.52	鉛直	40.00	86	0.00 ~ 40.00	今回	1-2-720~726	BHTVなし
NNOYH-01	15.64	60°	51.00	86	0.00 ~ 51.00	今回	1-2-727~730	BHTVなし

富来川断層に関する調査ボーリング孔一覧表

孔名	孔口標高 (m)	掘進方向	掘進長 (m)	孔径 (mm)	掲載範囲 (m)	資料提出時期 (審査会合)	頁	備考
KD-1	203.62	60°	150.00	86	24.00 ~ 150.00	今回	1-2-732~772	0.00~24.00mはノンコア
KD-1'※	203.62	75°	100.00	86	0.00 ~ 100.00	今回	1-2-773~802	
IG-1	93.55	60°	140.00	86	0.00 ~ 14.00	今回	1-2-803~845	

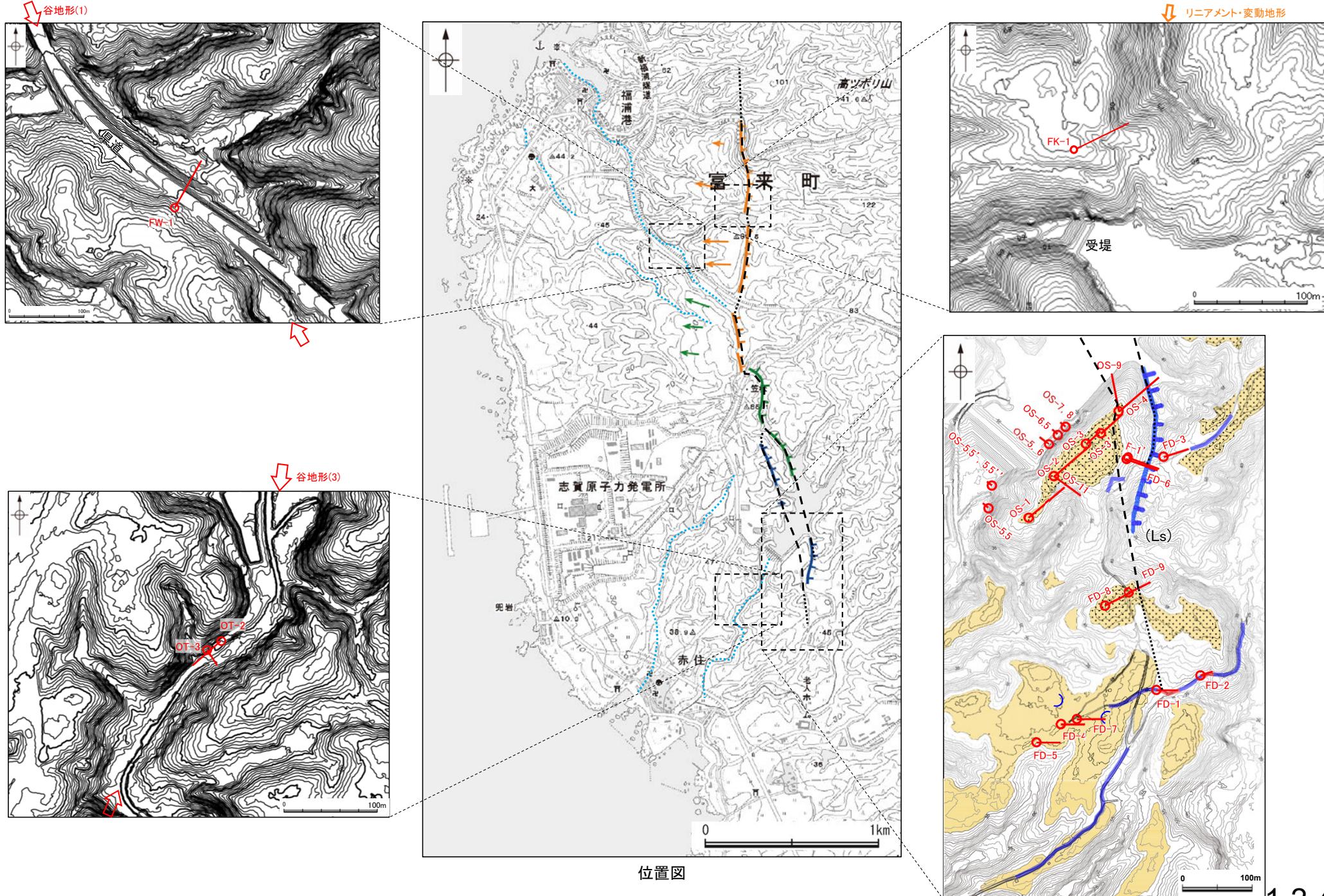
※ KD-1' 孔は、地表付近の風化の影響のため、KD-1孔の深度0~24mをノンコア区間としたことから、補完的に高角の掘進角75°で掘削したもの。

邑知潟南縁断層帯に関する調査ボーリング孔一覧表

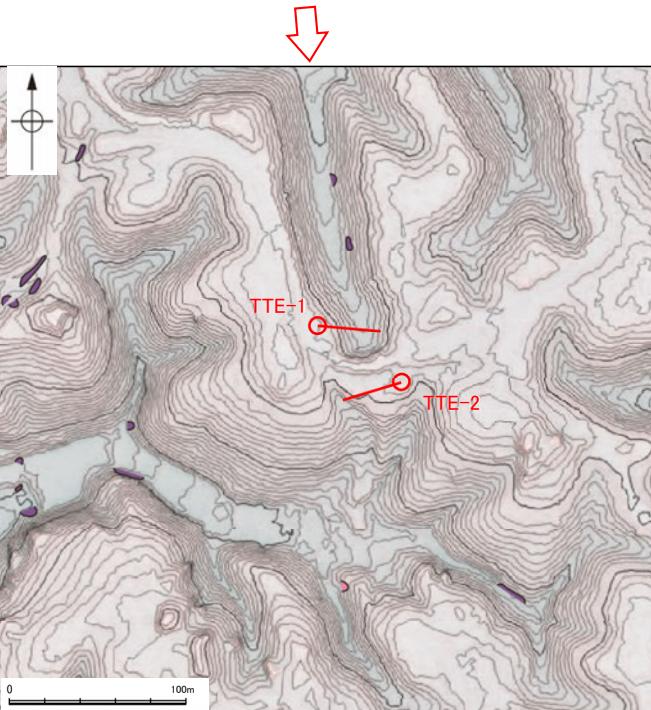
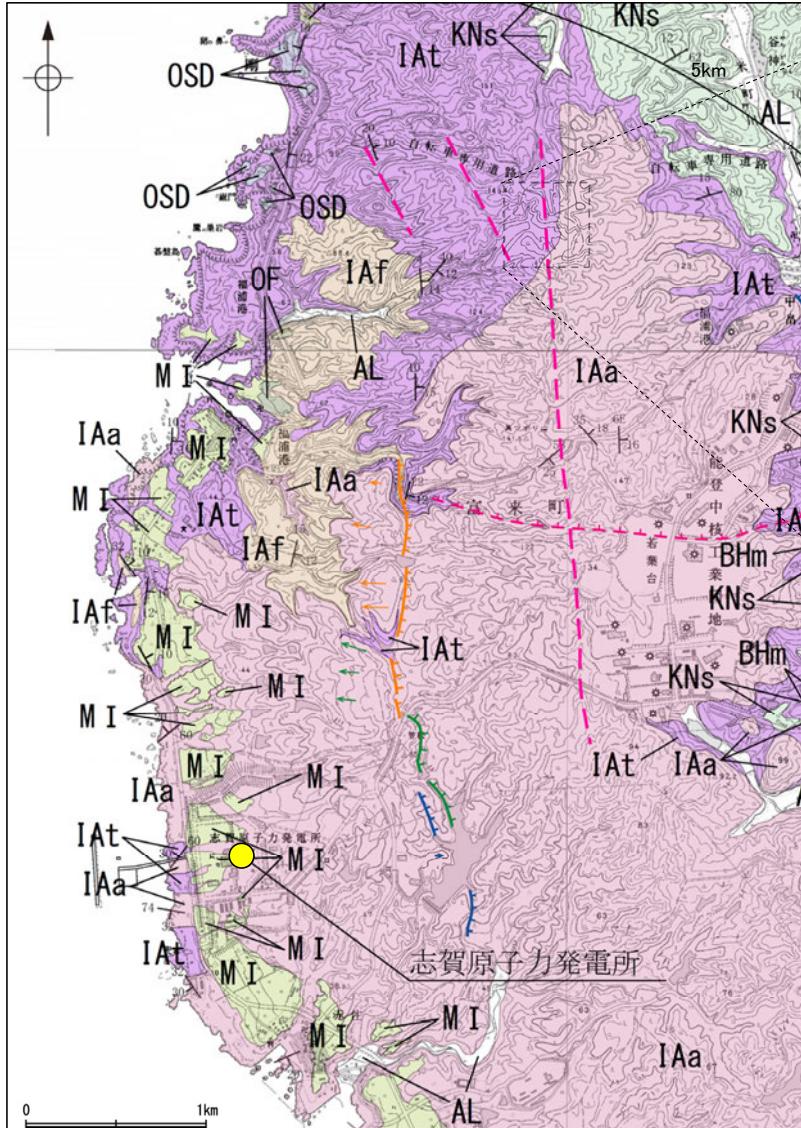
孔名	孔口標高 (m)	掘進方向	掘進長 (m)	孔径 (mm)	掲載範囲 (m)	資料提出時期 (審査会合)	頁	備考
中川町付近 No.1	4.11	鉛直	28.10	86	0.00 ~ 28.10	今回	1-2-848~852	BHTVなし
中川町付近 No.2	5.03	鉛直	27.00	86	0.00 ~ 27.00	今回	1-2-853~856	BHTVなし
中川町付近 No.3	6.43	鉛直	27.00	86	0.00 ~ 27.00	今回	1-2-857~860	BHTVなし
中川町付近 No.4	7.99	鉛直	27.00	86	0.00 ~ 27.00	今回	1-2-861~864	BHTVなし
中川町付近 No.5	8.26	鉛直	24.00	86	0.00 ~ 24.00	今回	1-2-865~868	BHTVなし
中川町付近 No.6	8.78	鉛直	22.00	86	0.00 ~ 22.00	今回	1-2-869~872	BHTVなし
中川町付近 No.7	9.99	鉛直	20.00	86	0.00 ~ 20.00	今回	1-2-873~876	BHTVなし
中川町付近 No.8	10.75	鉛直	20.00	86	0.00 ~ 20.00	今回	1-2-877~880	BHTVなし

余白

位置図(福浦断層, 断層○)

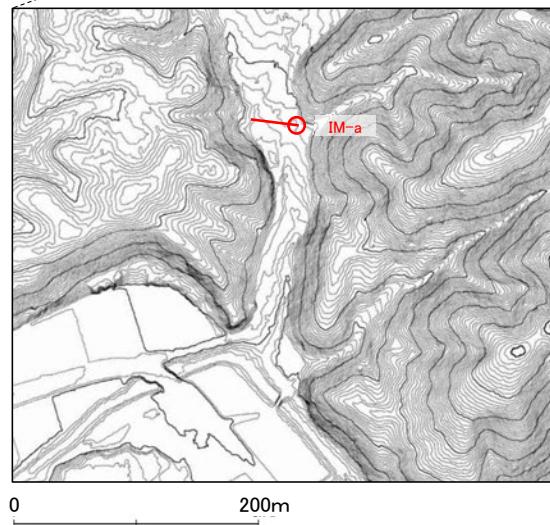


位置図(高ツボリ山東方リニアメント)



凡 例	
〔地 質〕	穴水累層 安山岩
〔記 号〕	穴水累層 安山岩質火碎岩 (凝灰角礫岩)
➡ ↘	高ツボリ山東方リニアメント

位置図(富来川南岸断層 1/2)



凡 例

〔リニアメント・変動地形〕

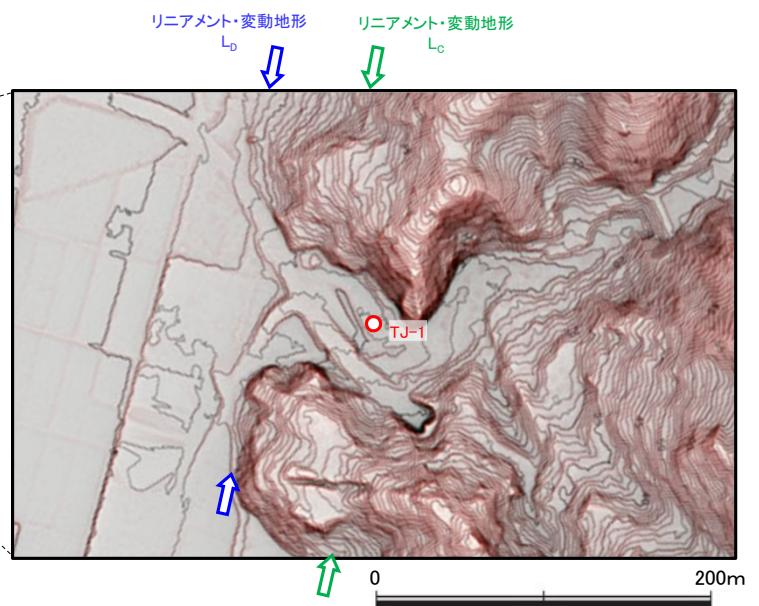
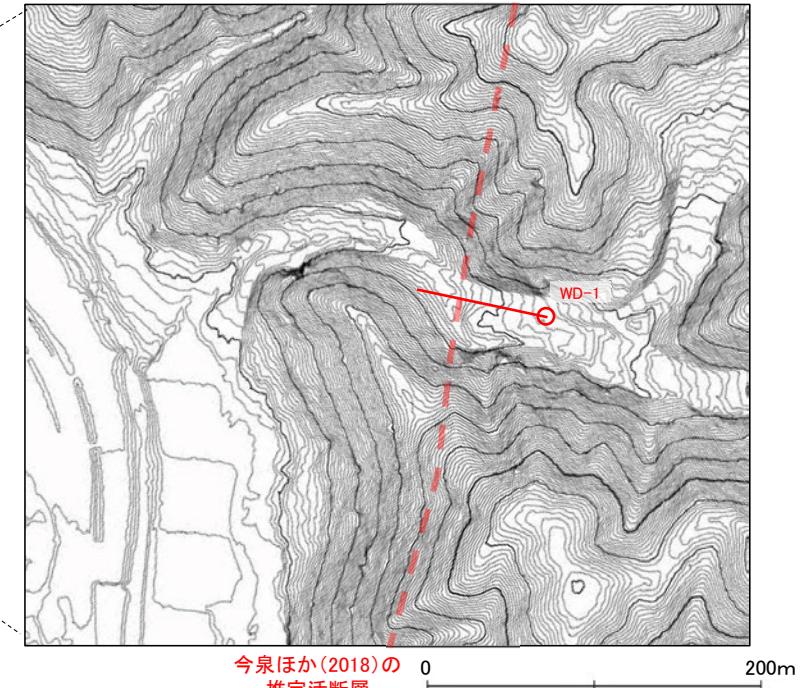
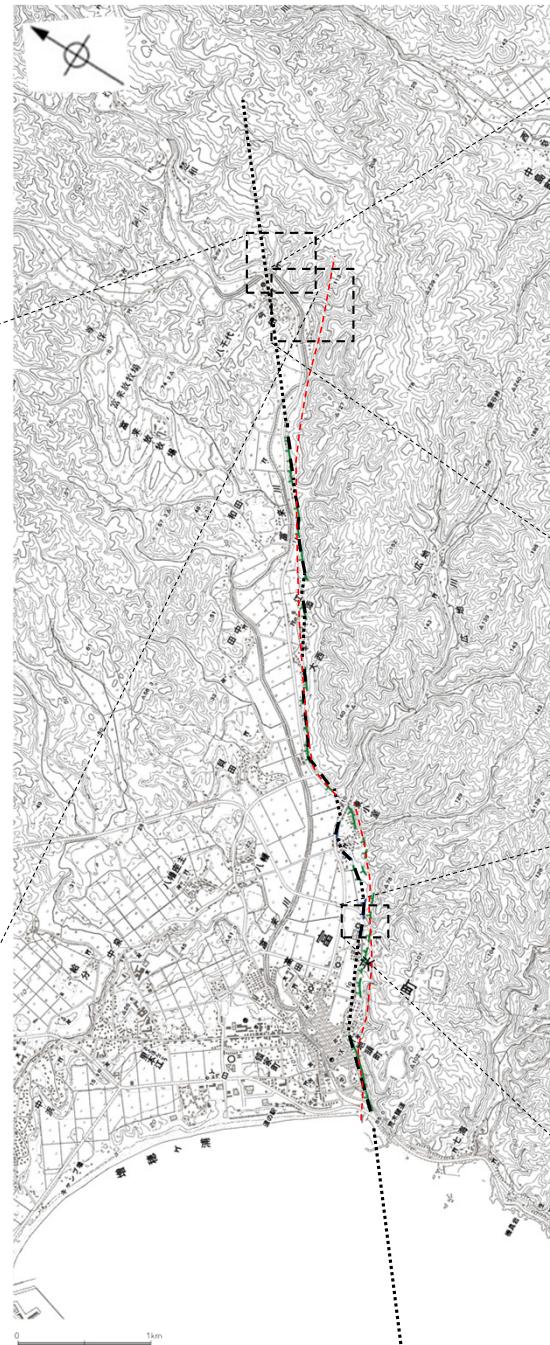
- ↓ L_c (変動地形である可能性が低い)
- ↑ L_d (変動地形である可能性は非常に低い)

ケバは低下側を示す。
↓は地形面の傾斜の向きを示す。

断層位置

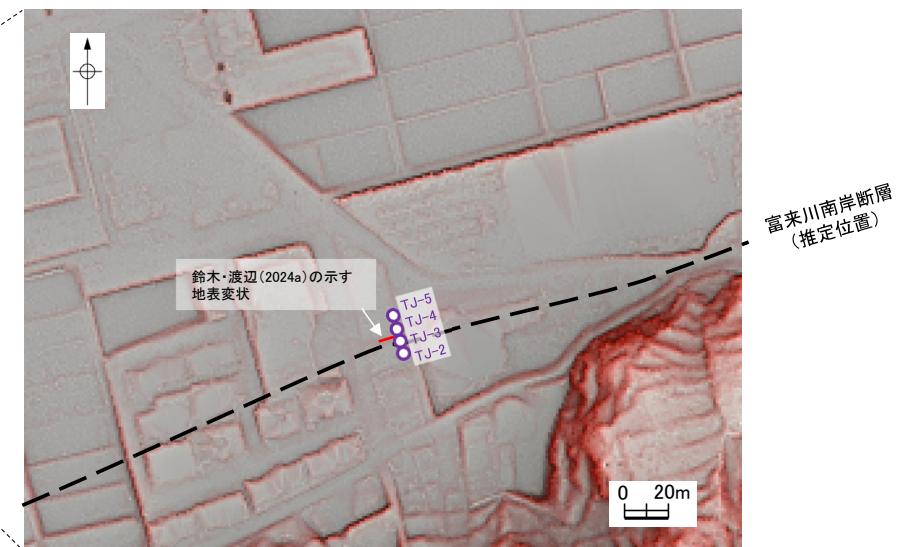
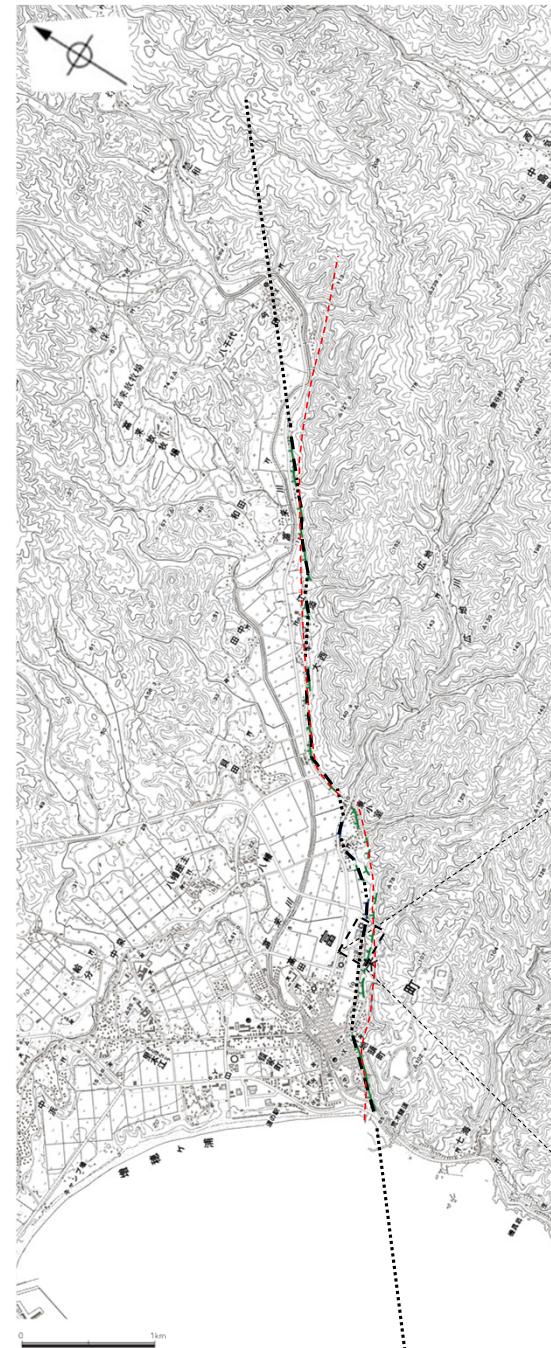
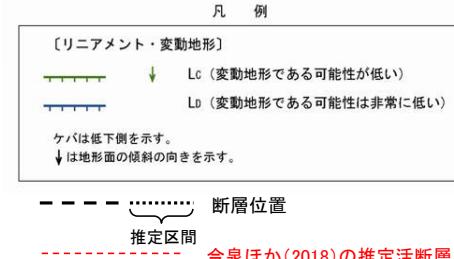
推定区間

今泉ほか(2018)の推定活断層

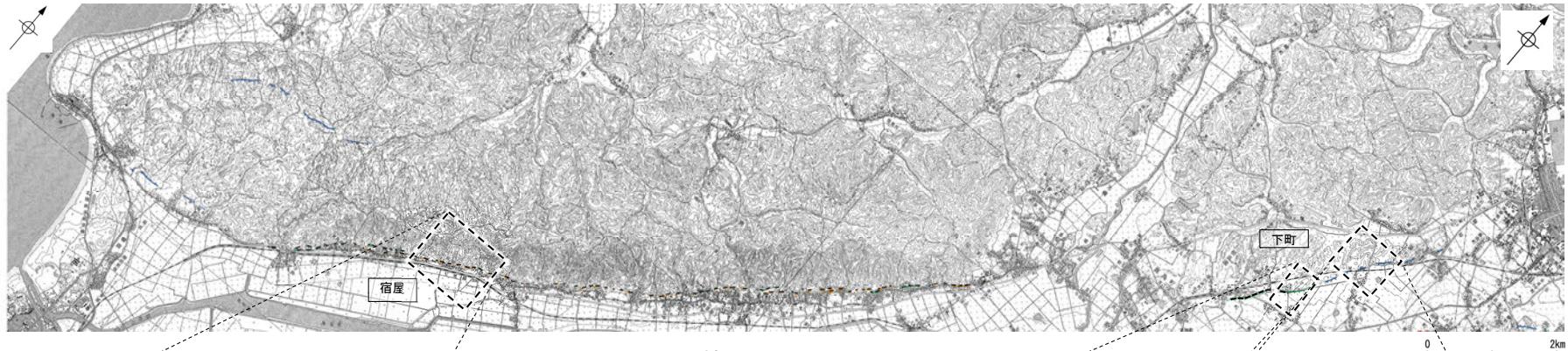


位置図(富来川南岸断層 2/2)

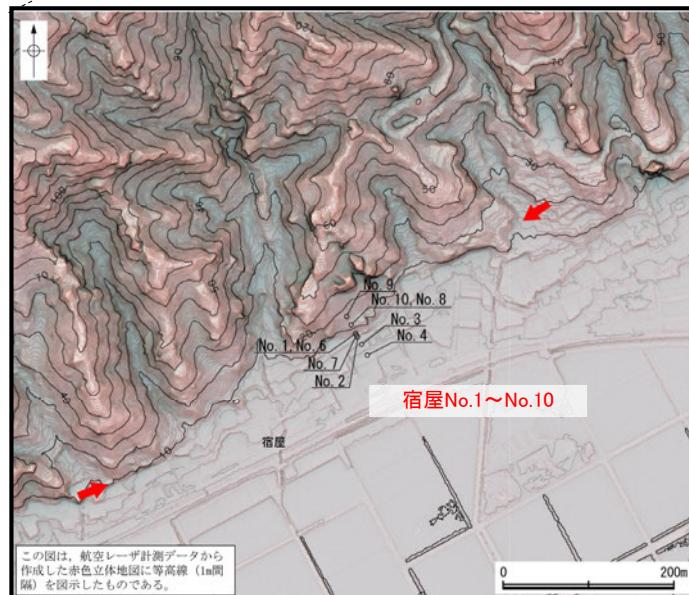
紫字は第1193回審査会合以降に追加した箇所



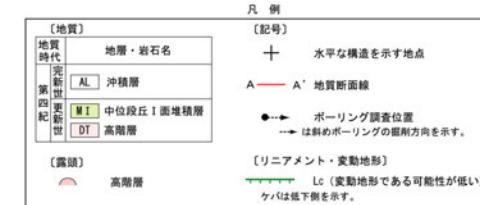
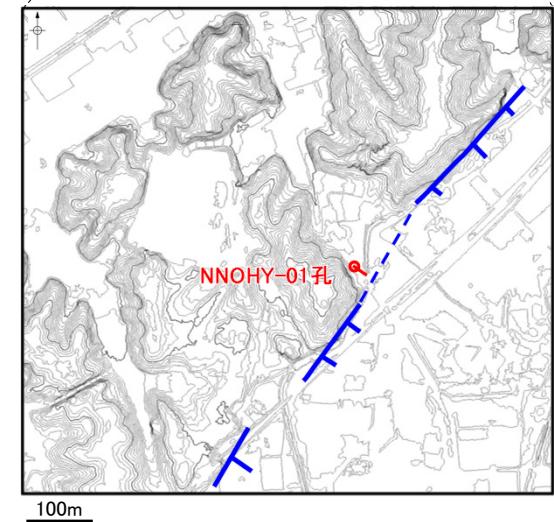
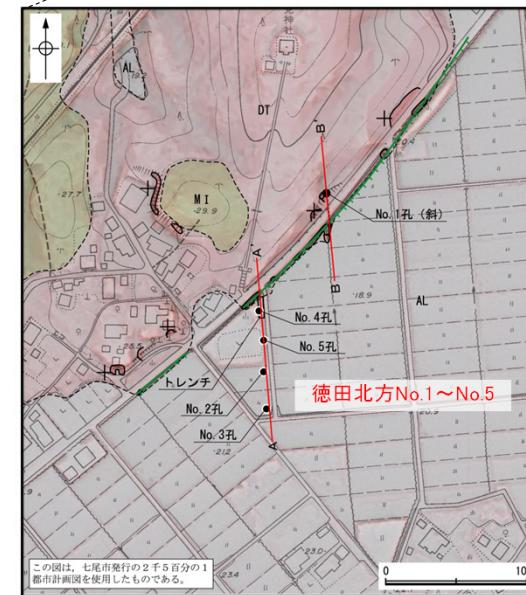
位置図(眉丈山第2断層)



断層位置
推定区間



→ ← リニアメント・変動地形



位置図(富来川断層)



凡 例

〔リニアメント・変動地形〕

— L0 (変動地形である可能性は非常に低い)

← ケバは低下側を示す。

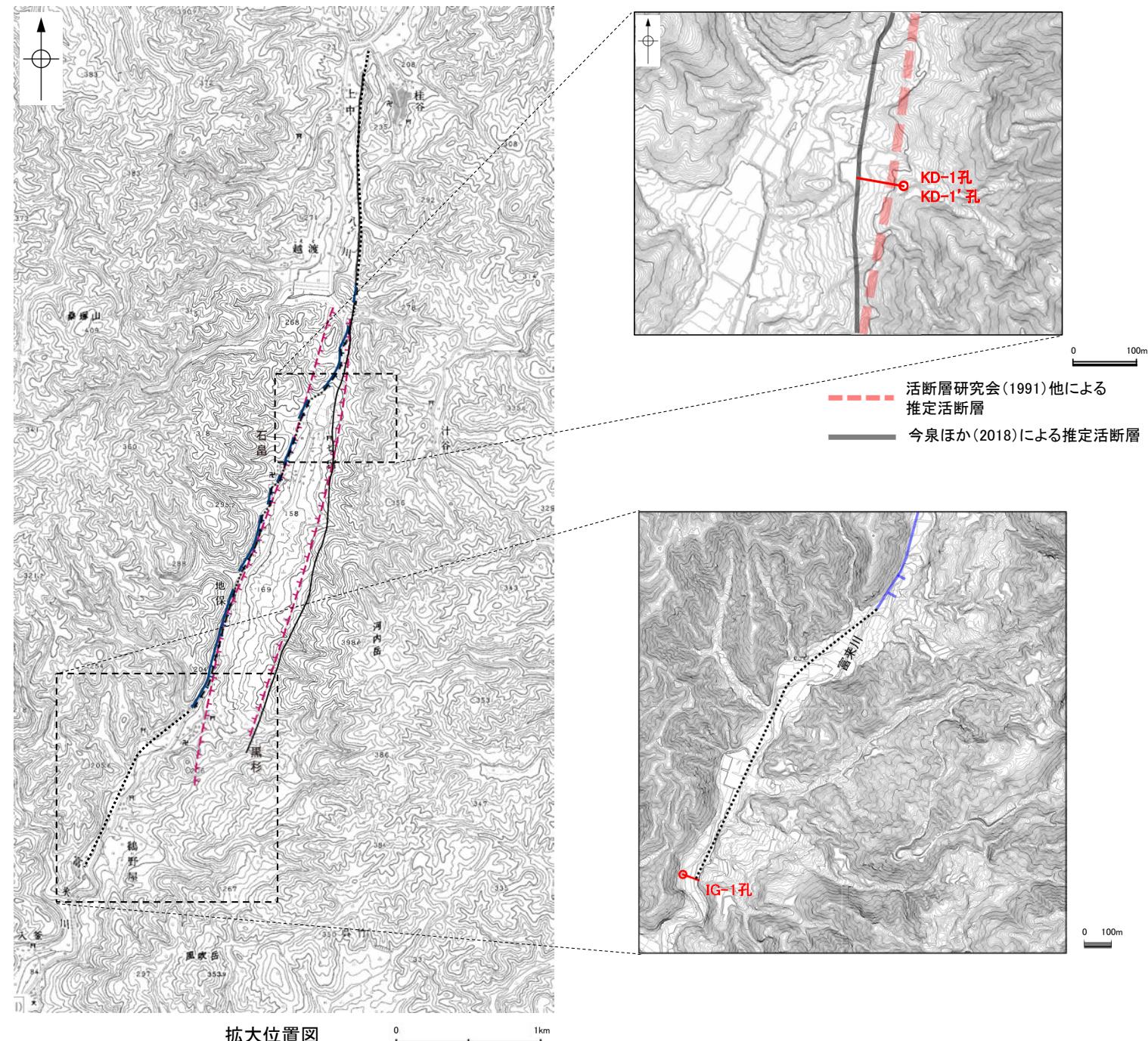
〔活断層研究会(1991)他〕

—+—+— 推定活断層
短線は断層の底下側を示す。

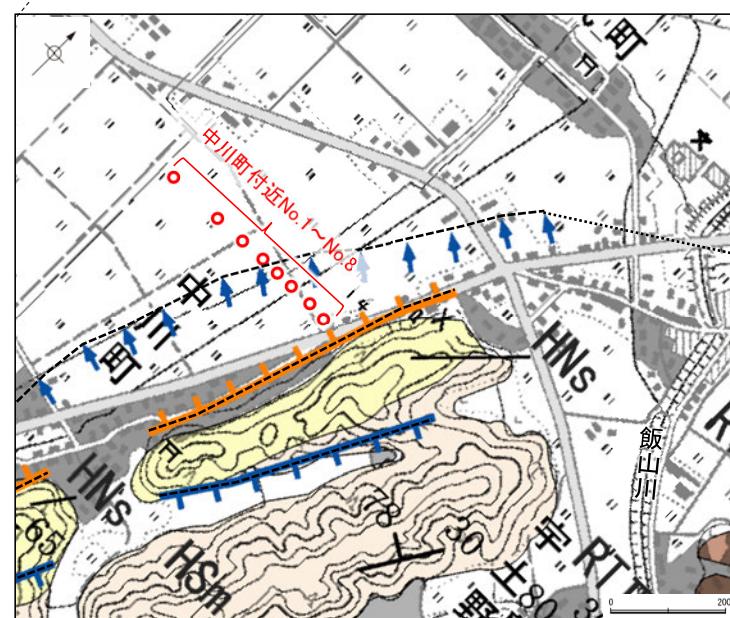
※1:活断層研究会(1991) (基図:1/200,000地形図)とほぼ同じ位置に図示し、より精度の高い、太田・国土地理院地理調査部(1997) (基図:1/50,000地形図)の断層トレース。

〔今泉ほか(2018)〕

— 推定活断層



位置図(邑知潟南縁断層帯)



【リニアメント・変動地形】

- 赤線: LA (変動地形である可能性が高い)
- オレンジ線: LB (変動地形である可能性がある)
- 緑線: LC (変動地形である可能性が低い)
- 青線: LD (変動地形である可能性は非常に低い)

ケバは低下側を示す。
↓は地形面傾斜の向きを示す。

【地質】

地質時代	地層・岩石名
完新世	SD 砂丘砂層 AL 沖積層
第四紀	RTIV 河成段丘IV面堆積層 RTIII 河成段丘III面堆積層 RTII 河成段丘II面堆積層 M1 中位段丘I面堆積層 DT 高階層
新生代	DH 埋生累層 HNs 中川砂岩層
中新世	HSm 島崎シルト岩層・杉野屋シルト岩層 OAm 二穴シルト岩層 OSa 敷波丘層 Ols 虫崎泥岩層・聖川泥岩層 (は括弧を含む軽石質灰岩層) OKa 葛葉丘層 OSs 七尾石灰質砂岩層 (非石灰質) OLs 七尾石灰質砂岩層 (石灰質)
第三紀	Bas 赤浦砂岩層 BSc 新宮砂岩層 Kgc 百海砾岩層 Kbc 高畠砾岩層 Kfz 惠沢砂岩層 Ktc 石動山砾岩層 IAt 熊瀬火山岩類 安山岩質火砕岩 (凝灰角砾岩)
先第三紀	Grn 花崗岩・片麻岩

----- 断層位置
推定区間

余白

富来川南岸断層

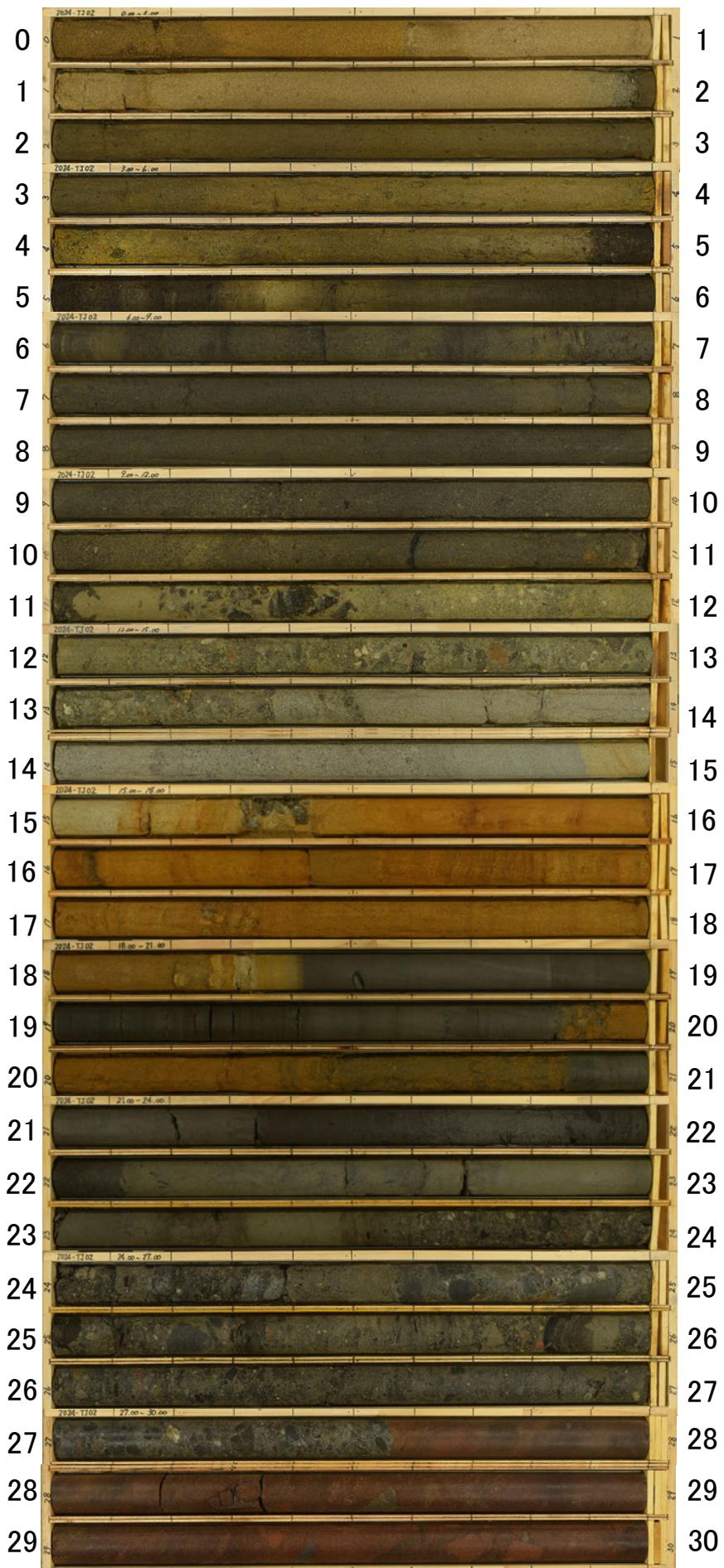
2024-TJ02

G L = 7.35m

L = 40.00m

標 尺 高 (m)	標 度 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	地 質 名	色 調	コア 採取率 (%) 20 40 60 80	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D	岩 級 分 (cm) (%)	記 事
0				盛土	にぶい褐 黄褐色 にぶい黄 明黄色			83		●0.00~1.98m 盛土 0.00~0.59m 細~粗粒砂層。締り悪く指圧で跡が残る。 0.59~1.98m 細~中粒砂層。締り悪く指圧で跡が残る。 ●1.98~13.52m 沖積層 1.98~4.63m 砂質シルト層。締り悪く指圧で跡が残る。全体に層理に乏しい。 4.63~6.16m シルトと腐植の互層。締り悪く指圧で跡が残る。 4.90~5.28m 腐植層。上位層との境界は明瞭。 5.80~6.07m 腐植層。
5	5.37	1.98		砂質 シルト層	灰 オリーブ ・ 暗 オリーブ			86		
	2.72	4.63		シルト・ 腐植互層	灰オリーブ ・ オリーブ黒			91		
	1.19	6.16		腐植 シルト 混じり 砂層	オリーブ 黒			62		
10	-2.85	10.20		腐植 シルト 混じり 砂層	オリーブ 黒			93		
	-3.72	11.07		砂礫層	灰 オリーブ			100		
	-6.17	13.52		中~粗粒 砂層	灰 オリーブ オリーブ 灰			55		
15	-8.09	15.44		細~中粒 砂層	黄褐 褐色			77		
	-10.98	18.33		粘土層	灰オリーブ オリーブ黒			100		
20	-12.50	19.85		細~中粒 砂層 粘土層	黄褐 オリーブ褐色 オリーブ灰			100		●13.52~27.56m 更新統
	-13.51	20.86		腐植質 シルト ・ 腐植混じり 砂互層	オリーブ黒 灰			100		13.52~15.44m 中~粗粒砂層。締り悪く指圧で跡が残る。細粒層や斜交層理を伴う。基底に砂礫層を挟む。
	-13.99	21.34		腐植質 シルト ・ 腐植混じり 砂互層	オリーブ黒 灰			100		15.44~18.33m 細~中粒砂層。上位層より締りが良いが、指圧で跡が残る。礫層や斜交層理を伴う。
	-14.77	22.12		腐植質 シルト ・ 腐植混じり 砂互層	灰 灰 オリーブ			67		18.33~19.85m 粘土層。水平で細かい層理が発達し、砂の薄層を挟む。締まっており指圧で跡が残らない。
25	-16.17	23.52		砂礫層	オリーブ灰			44		19.85~20.86m 細~中粒砂層。締り悪く指圧で跡が残る。最上部と下半部は粘土の偽礫を含む。
	-20.21	27.56		安山岩 (角礫質)	暗赤褐 ・ 暗赤			48		20.86~21.34m 粘土層。一部に層理が認められる。よく締まっており指圧で跡が残らない。
30	-23.11	30.46		火山礫 凝灰岩	黒褐 緑黒			66		21.34~22.12m 腐植質シルトと腐植混じり砂の互層。指圧で跡が残らない。基底部に生痕化石を伴う。
	-24.09	31.44			暗灰黄 ・ オリーブ 黒			49		22.12~23.52m 腐植混じりシルトと砂の互層。植物根化石が認められる。下部で腐植分に富む。
35	-26.23	33.58		安山岩 (角礫質)	赤 ・ 極暗赤褐			100		23.52~27.56m 砂礫層。中~極粗粒砂の基質に径0.5~8cmの亜円~亜角礫を30~60%含む。締まり具合は指圧で跡が残らないから残るまで様々である。
	-28.30	35.65			暗赤褐 ・ 赤黒			65	100	●27.56~40.00m 別所岳安山岩類
40	-32.65	40.00		安山岩 (角礫質)				100	100	27.56~30.46m 安山岩(角礫質)。ハンマーの軽打で金属音を発し、ナイフで傷がつかない硬さ。径1~10cmの安山岩角礫が認められる。割れ目は、ほとんど認められない。下位との境界は60°傾斜し漸移する。
								66	100	30.46~31.44m 安山岩(角礫質)。下位との境界は60°傾斜し漸移する。
								48	100	31.44~33.58m 火山礫凝灰岩。凝灰岩の基質に径1~5cmの安山岩角~亜角礫や軽石を30~40%含む。軽石は圧密されレンズ状である。
								55	88	33.58~35.65m 安山岩(角礫質)。基質と角礫部が斑状に分布する。
								39	83	35.65~40.00m 安山岩(角礫質)。基質と角礫部が斑状に分布する。

TJ-2孔(0.00~30.00m)



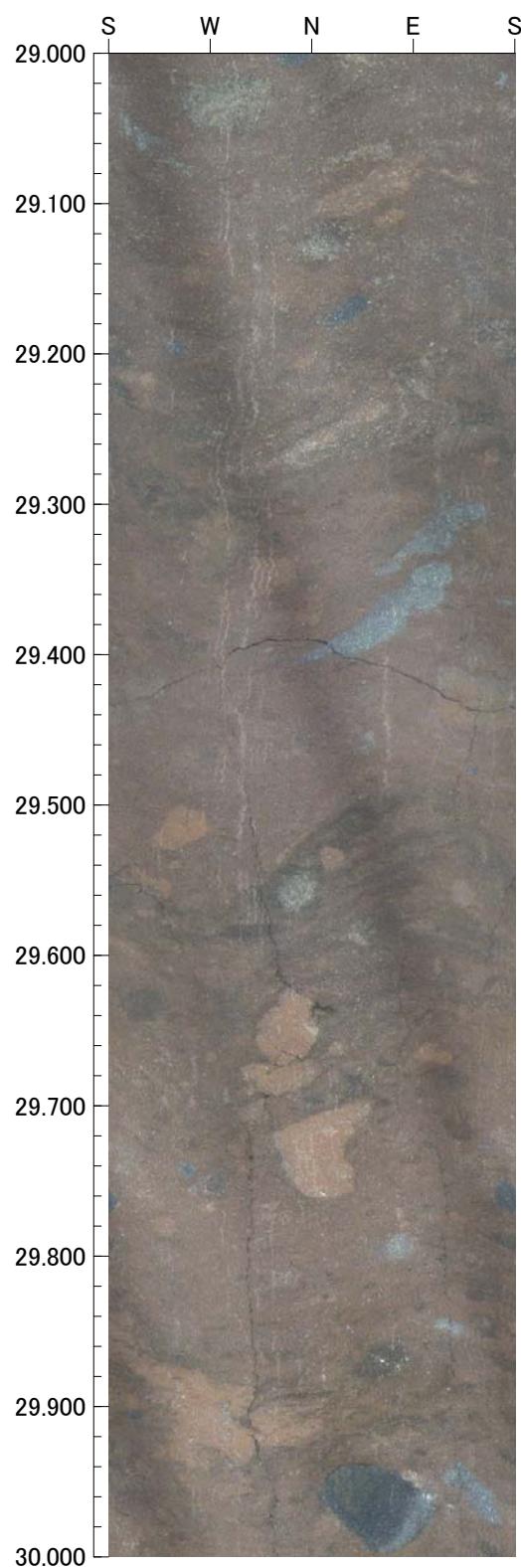
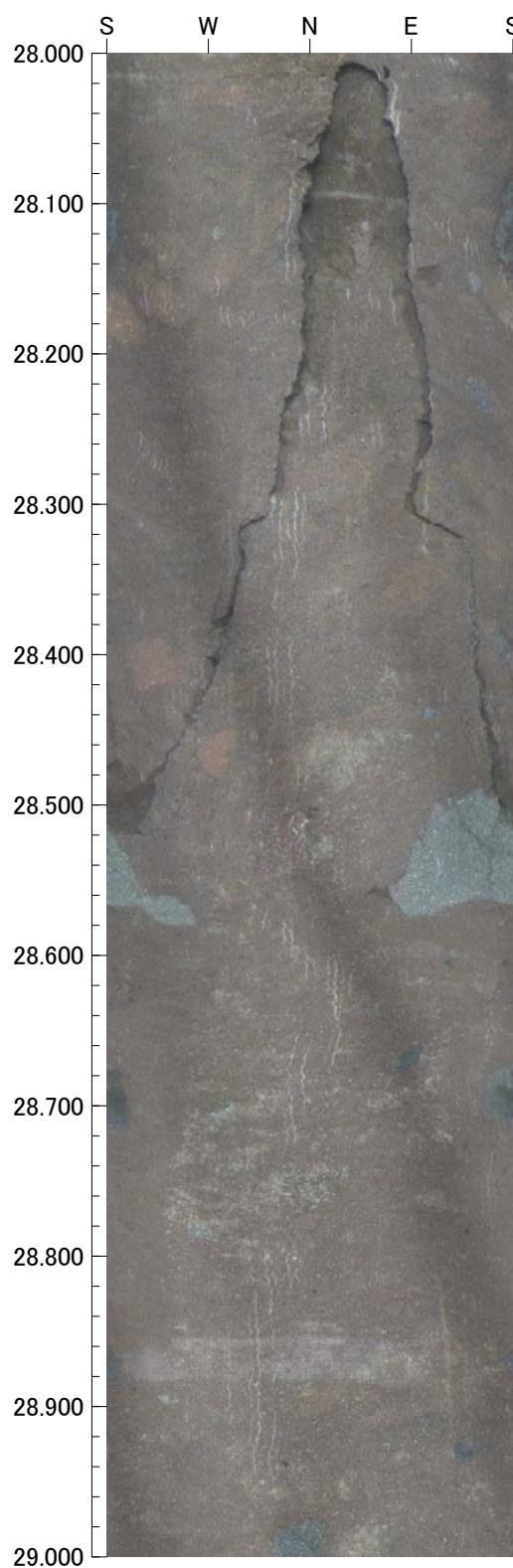
TJ-2孔 (30.00~40.00m)



孔番：2024-TJ02

28.000m – 30.000m

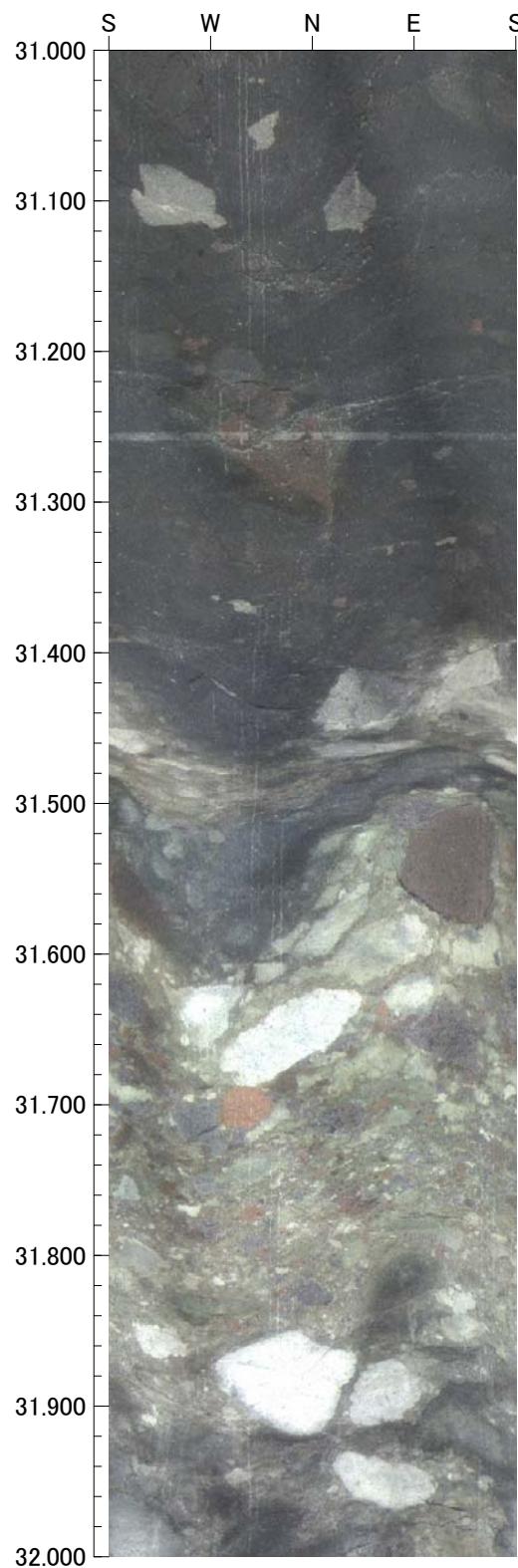
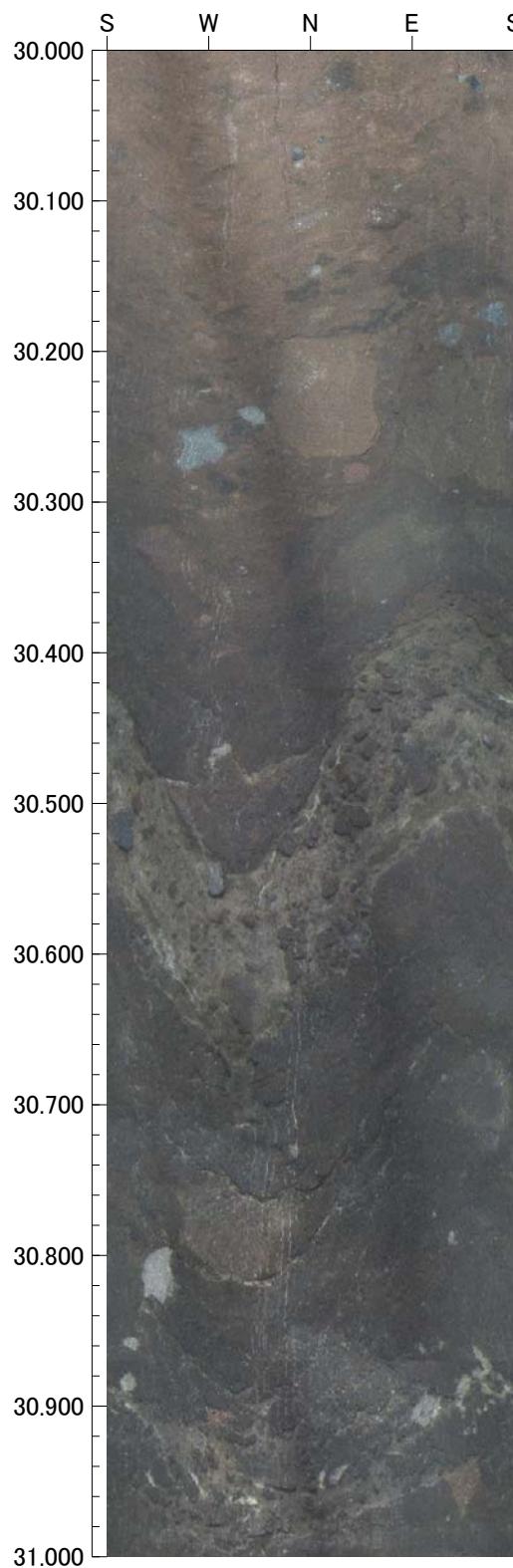
孔方位： 0 孔傾斜： -90



孔番 : 2024-TJ02

孔方位： 0 孔傾斜： -90

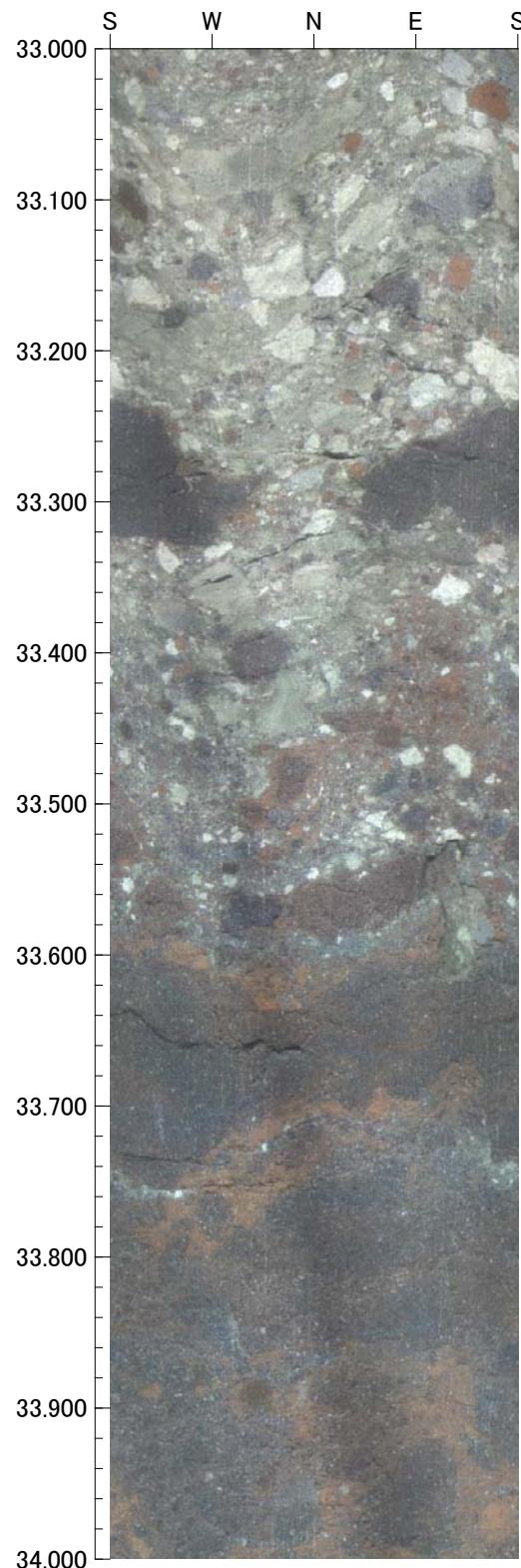
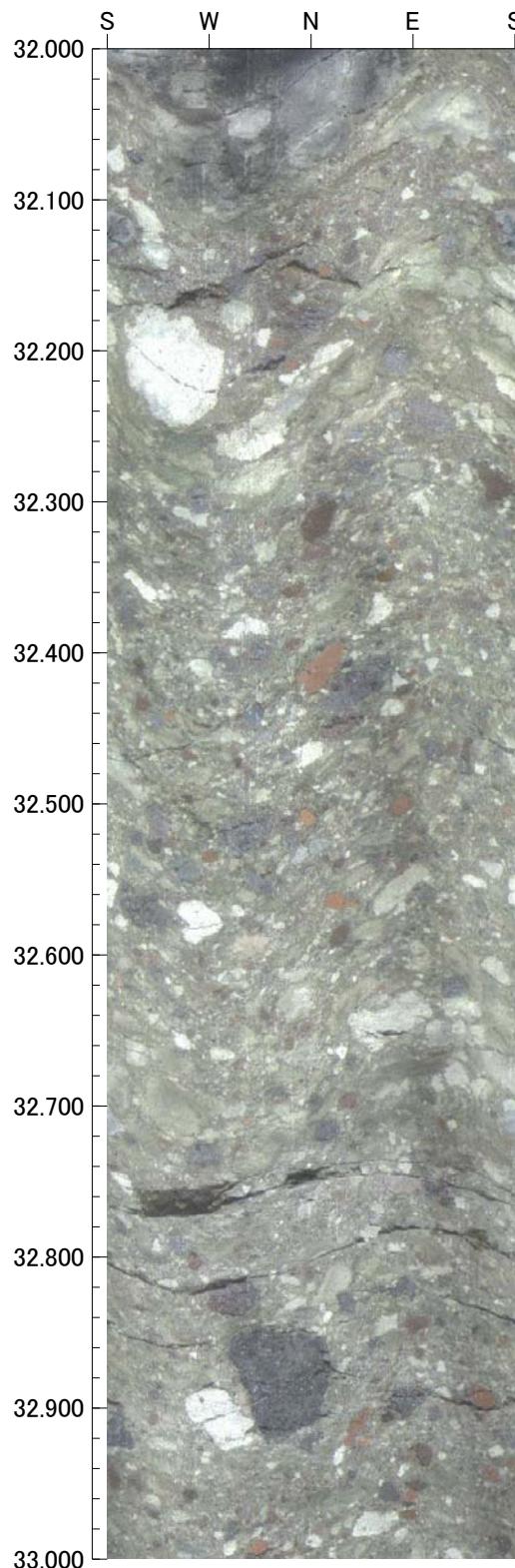
30.000m – 32.000m



孔番：2024-TJ02

孔方位： 0 孔傾斜： -90

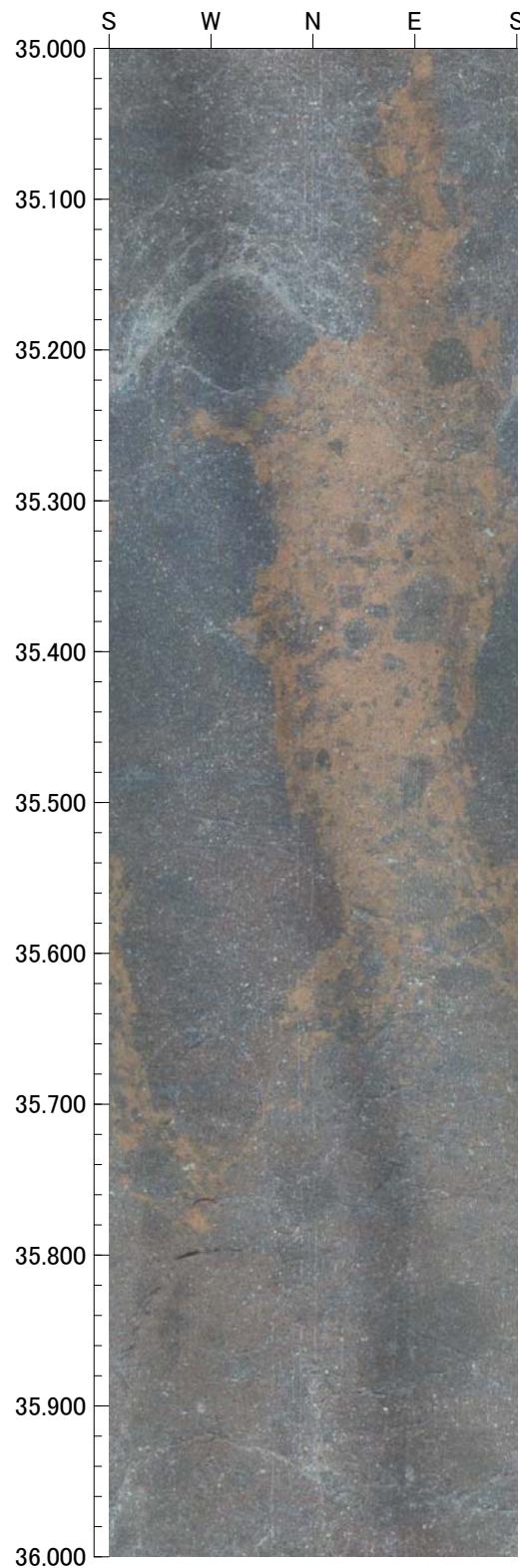
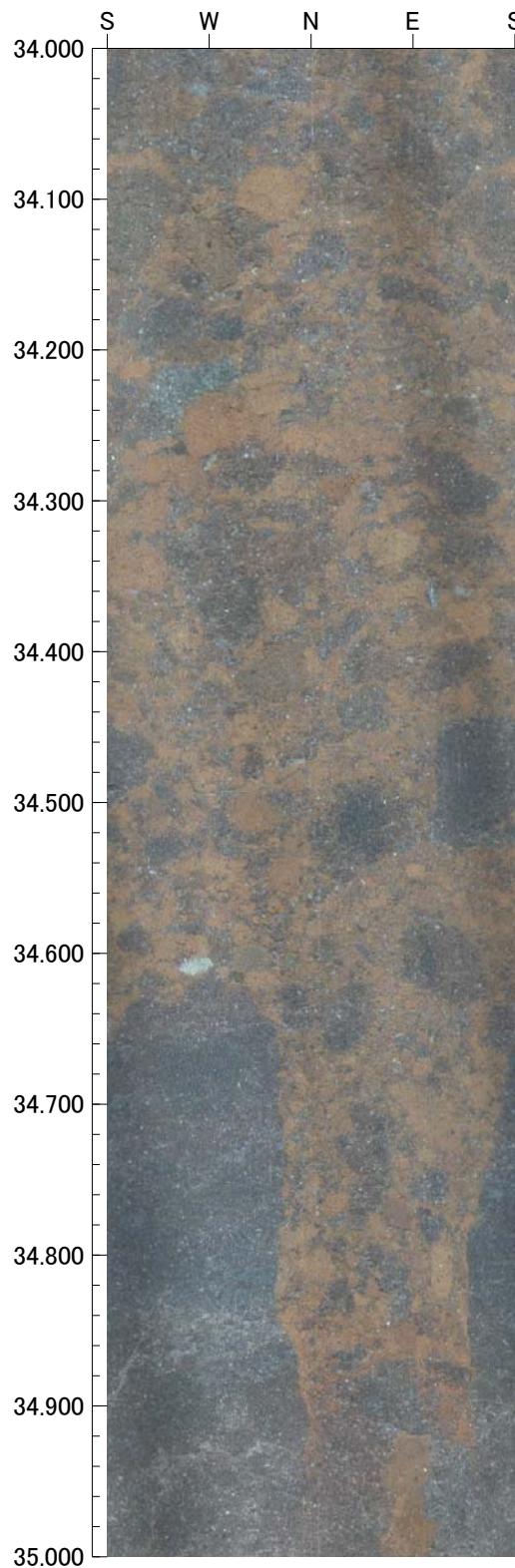
32.000m – 34.000m



孔番 : 2024-TJ02

34.000m - 36.000m

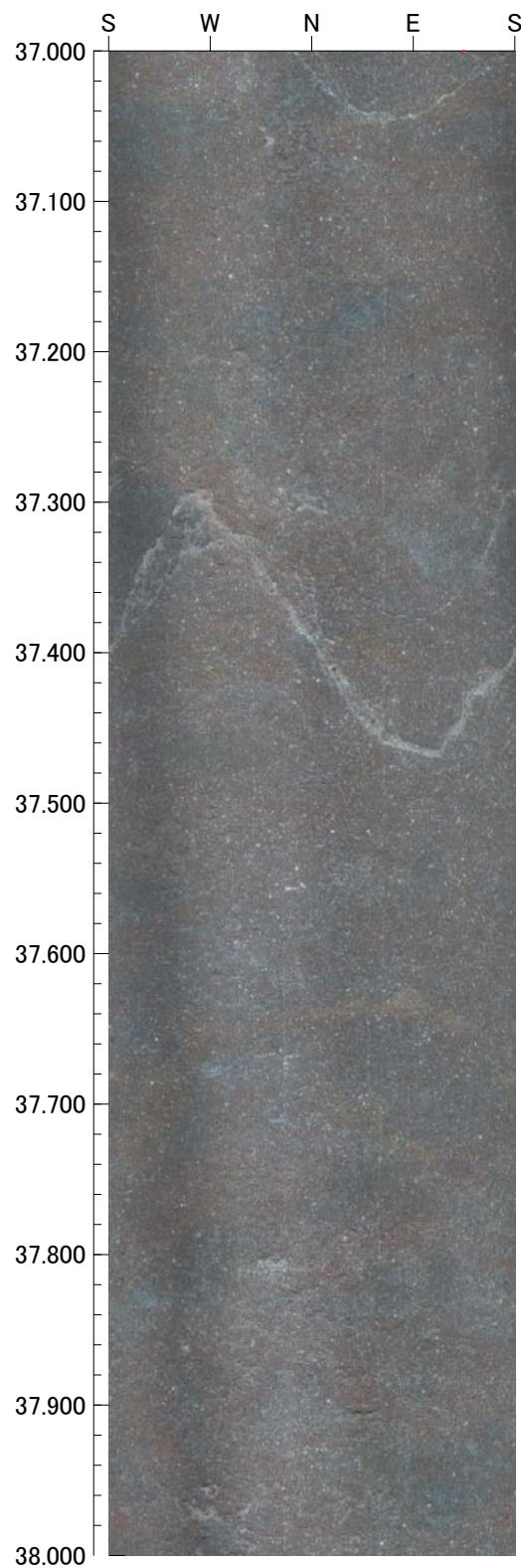
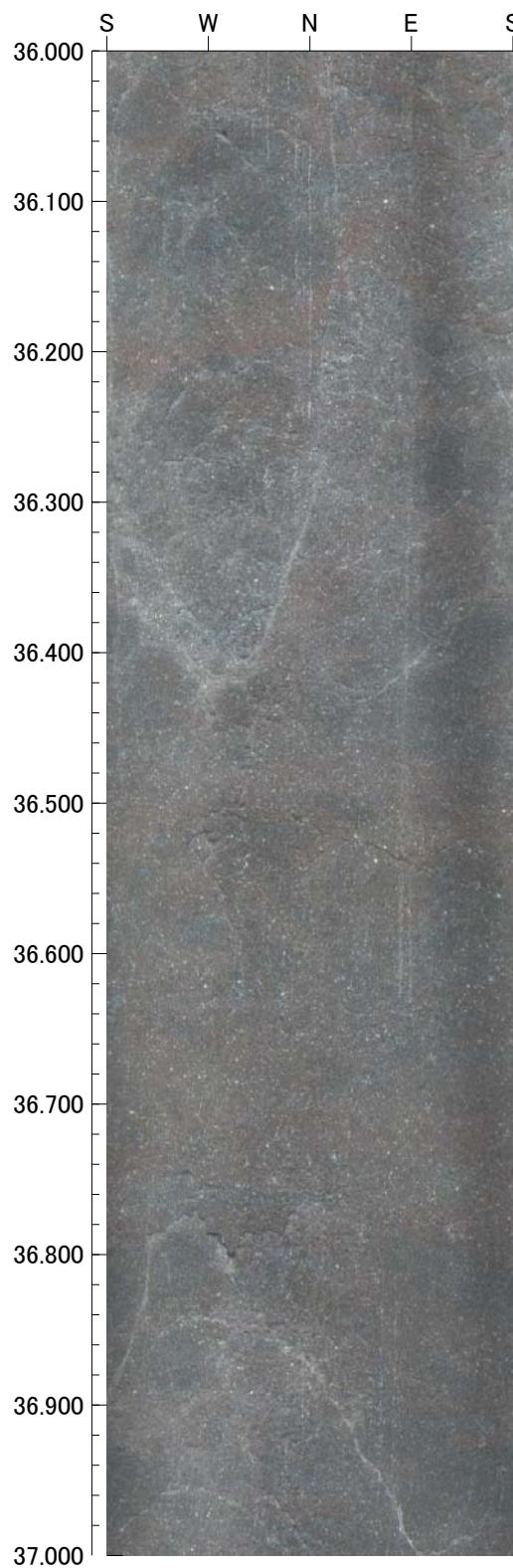
孔方位 : 0 孔傾斜 : -90



孔番：2024-TJ02

孔方位： 0 孔傾斜： -90

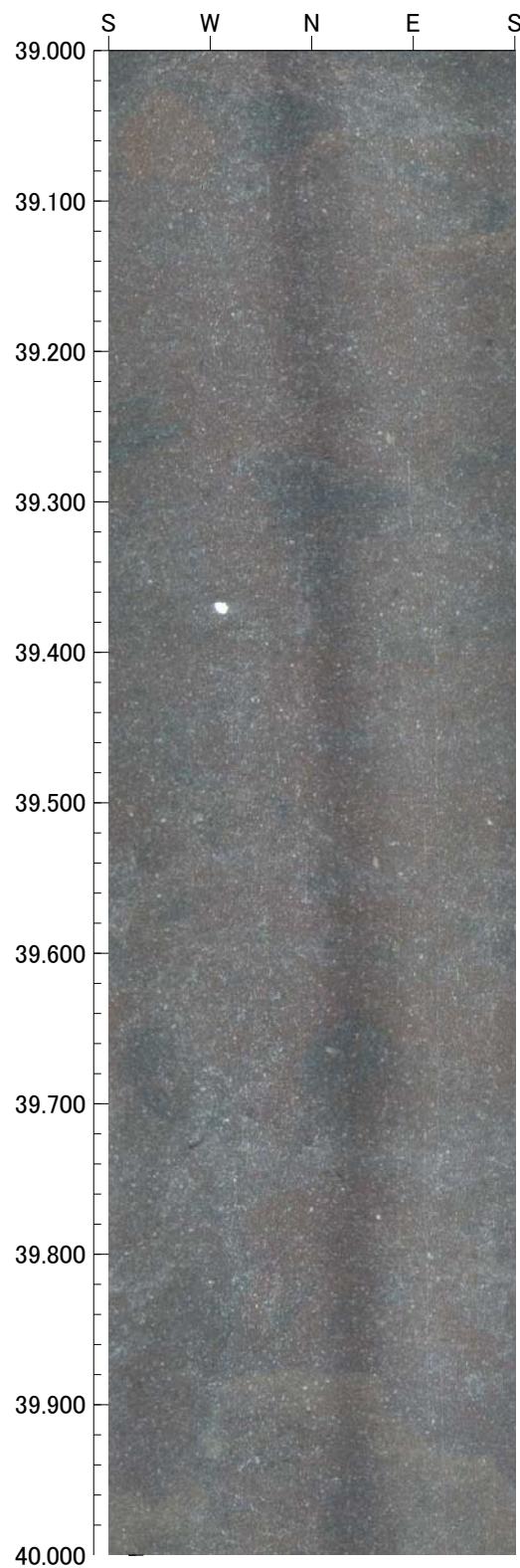
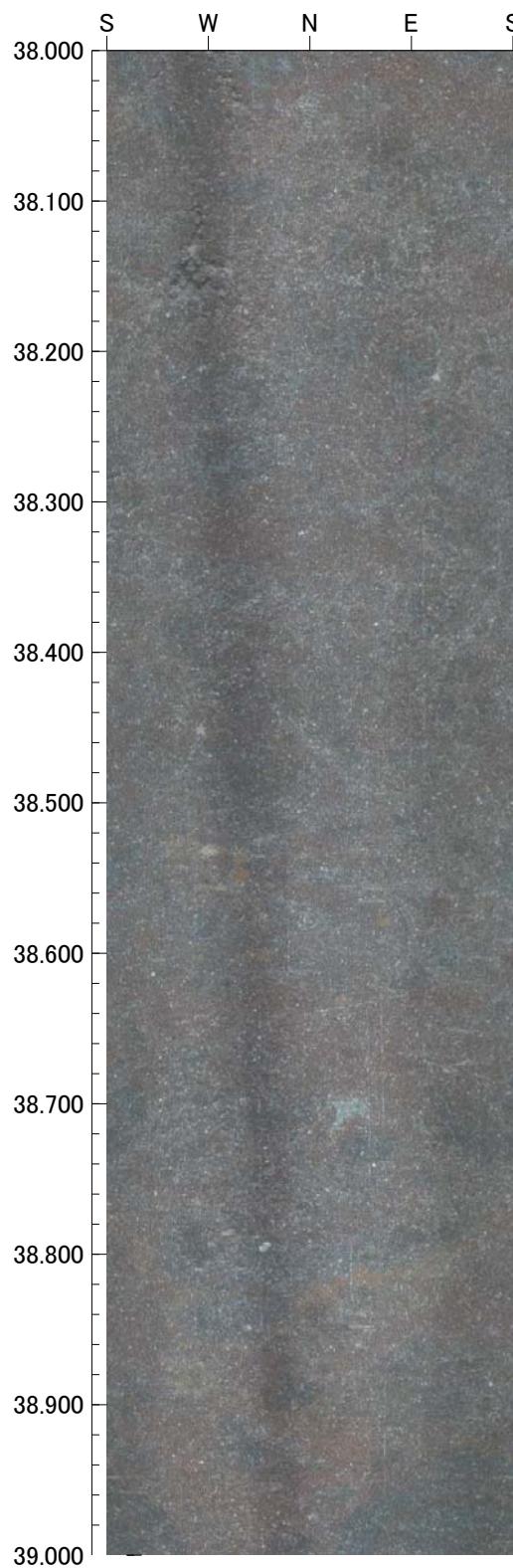
36.000m – 38.000m



孔番：2024-TJ02

38.000m - 40.000m

孔方位： 0 孔傾斜： -90



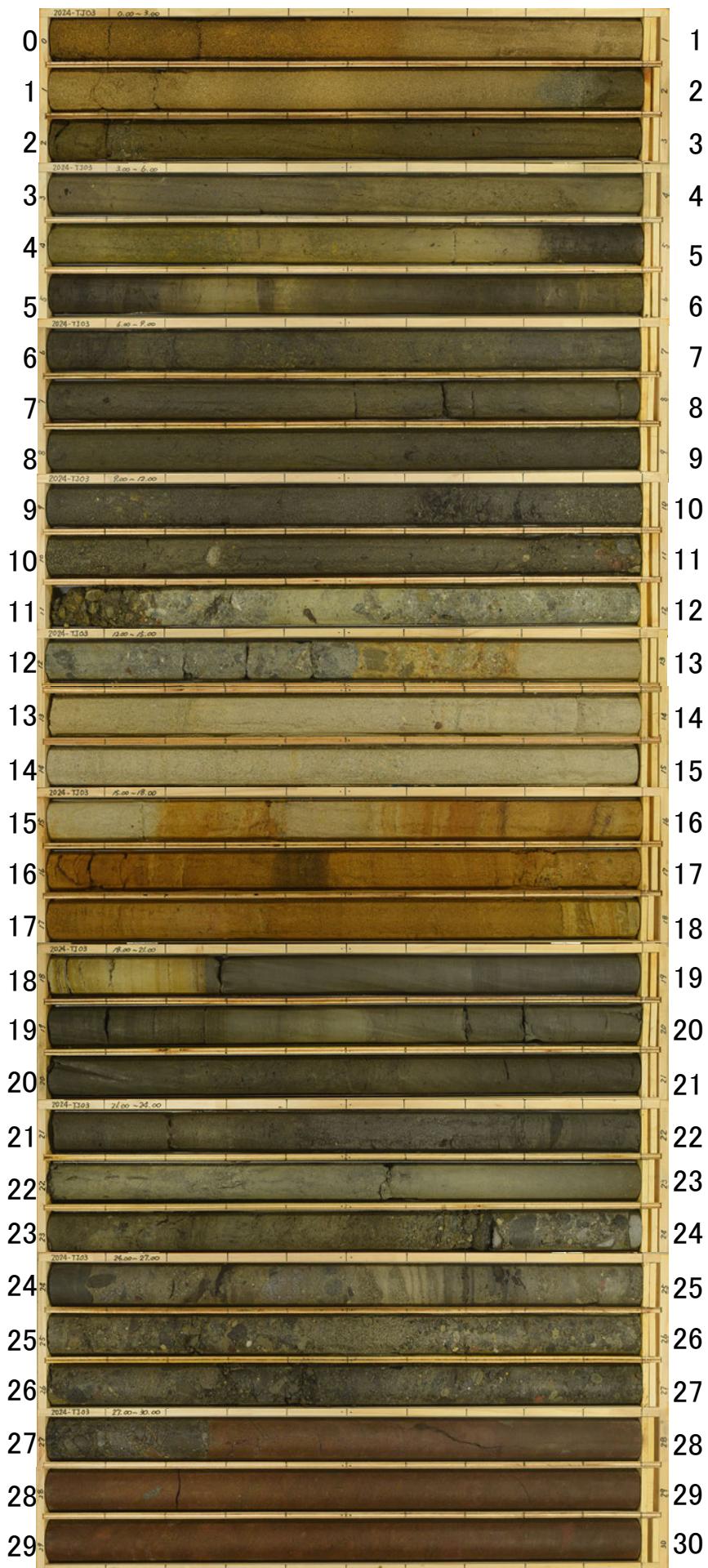
2024-TJ03

G L = 7.19m

L = 30.00m

標 尺 高 (m)	標 度 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	地 質 名 調	コア 採取率 (%) 20 40 60 80	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D	岩 級 区 分	記 事
0	5.26	1.93		盛土 にぶい褐 黄褐 にぶい黄 明黄褐		75 82 90 100 78 100 80 52 100 100	D	●0.00~1.93m 盛土 0.00~0.59m 細~粗粒砂層。締り悪く指圧で跡が残る。 0.59~1.93m 細~中粒砂層。締り悪く指圧で跡が残る。 ●1.93~12.79m 沖積層 1.93~4.52m 砂質シルト層。締り悪く指圧で跡が残る。全体に層理に乏しい。 4.52~5.96m シルトと腐植の互層。締り悪く指圧で跡が残る。水平な層理が認められる。 4.82~5.19m 腐植層。上位層との境界はやや漸移。 5.65~5.89m 腐植層。	
5	1.23	5.96		砂質 シルト層 シルト、 腐植互層 腐植 シルト混 じり砂層 腐植 シルト疊 混じり砂層 砂礫層 中~粗粒 砂層	灰 オリーブ ・ 暗 オリーブ 灰 オリーブ 黒 オリーブ 黒 灰 オリーブ ・ オリーブ 灰 黄褐 褐色	80 52 100 100 80 55 89 100 63 92	D	●5.96~10.17m 腐植、シルト、礫混じり砂層。締り悪く指圧で跡が残る。腐植とシルトが混じる極細~中粒砂層からなる。全体に層理に乏しい。 10.17~11.18m 腐植、シルト、礫混じり砂層。腐植、シルト、細~中礫が混じる極細~中粒砂からなる。層理に乏しい。基底は浸食面で、直上に径1~3cmの亜円~亜角礫を40~60%含む。 11.18~12.79m 砂礫層。細~粗粒砂の基質に径1~5cmの亜円~亜角礫を10~60%含む。基底は5°傾斜し、直上の25cmは褐色を帯びにぶい黄~明黄褐色を呈する。 ●12.79~27.27m 更新統 12.79~15.19m 中~粗粒砂層。締り悪く指圧で跡が残る。細礫層や斜交層理も伴う。基底は浸食面で5°傾斜する。 15.19~17.87m 細~中粒砂層。上位層より締りが良いが、指圧で跡が残る。 17.87~21.44m 粘土層。水平で細かい層理が発達し、砂の薄層を挟む。締まっており指圧で跡が残らない。	
10	-2.98	10.17		腐植 シルト疊 混じり砂層 砂礫層 中~粗粒 砂層	オリーブ 黒 灰 オリーブ ・ オリーブ 灰 黄褐 褐色	100 83 90 55 89 100 63 92 100 71	D	●12.79~27.27m 更新統 12.79~15.19m 中~粗粒砂層。締り悪く指圧で跡が残る。細礫層や斜交層理も伴う。基底は浸食面で5°傾斜する。 15.19~17.87m 細~中粒砂層。上位層より締りが良いが、指圧で跡が残る。 17.87~21.44m 粘土層。水平で細かい層理が発達し、砂の薄層を挟む。締まっており指圧で跡が残らない。	
15	-3.99	11.18		粘土層 灰 オリーブ ・ オリーブ 灰	44 100 79 57 71 100 85 58 72 58 100	D	●21.44~22.00m 腐植質シルトと腐植混じり砂の互層。指圧で跡が残らない。基底に生痕化石を伴う。 22.00~23.58m 腐植混じりシルトと砂の互層。植物根化石が認められる。下部で腐植分に富む。		
20	-5.60	12.79		砂礫層 中~粗粒 砂層	100 89 100 63 92 100 71 44 100 58	D	●27.27~30.00m 別所岳安山岩類 27.27~30.00m 安山岩(角礫質)。ハンマーの軽打で金属音を発しナイフで傷が付かない硬さ。径1~6cmの安山岩角礫が認められる。		
25	-14.25	21.44		砂礫層 中~粗粒 砂層	100 85 58 72 58 100	D	●27.27~30.00m 別所岳安山岩類 27.27~30.00m 安山岩(角礫質)。ハンマーの軽打で金属音を発しナイフで傷が付かない硬さ。径1~6cmの安山岩角礫が認められる。		
30	-14.81	22.00		砂礫層 中~粗粒 砂層	82 100	Ab	●27.27~30.00m 別所岳安山岩類 27.27~30.00m 安山岩(角礫質)。ハンマーの軽打で金属音を発しナイフで傷が付かない硬さ。径1~6cmの安山岩角礫が認められる。		
35	-20.08	27.27		安山岩 (角礫質)	暗赤褐 ・ 暗灰				
40	-22.81	30.00							

TJ-3孔 (0.00~30.00m)



2024-TJ04

G L = 6.89m

L = 30.00m

標 尺 高 (m)	標 度 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	地 質 名 調	コア 採取率 (%) 20 40 60 80	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D	岩 級 分 (%)	記 事	
									(%)	(%)
0				にぶい褐 黄褐		100		D	●0.00~2.13m 盛土 0.00~0.67m 細~粗粒砂層。締り悪く指圧で跡が残る。	
	4.76	2.13		盛土 にぶい黄 明黄褐		100		D	0.67~2.13m 細~中粒砂層。締り悪く指圧で跡が残る。にぶい褐色のシルト層を含む。	
	2.77	4.12		砂質 シルト層 灰 オリーブ ・ 暗 オリーブ		100		D	●2.13~12.42m 沖積層 2.13~4.12m 砂質シルト層。締り悪く指圧で跡が残る。下部は細粒で砂分に乏しい。基質は浸食面で厚さ15cmの砂礫層を挟む。	
5	1.27	5.62		シルト・ 腐植互層 灰オリーブ ・ オリーブ黒		88		D	4.12~5.62m シルトと腐植の互層。締り悪く指圧で跡が残る。水平~傾斜10°の層理が認められる。 4.61~4.94m 腐植層。 5.29~5.54m 腐植層。	
				腐植 シルト 混じり 砂層 オリーブ 黒		100		D	5.62~10.07m 腐植、シルト混じり砂層。締り悪く指圧で跡が残る。腐植とシルトが混じる極細~中粒砂層からなる上部では粗~極粗粒砂も混じる。全体に層理に乏しく、生痕化石が認められる。基底は浸食面で、直上に径1~4cmの亜円~亜角礫を40~60%含む。	
10	-3.18	10.07		腐植 シルト 混じり 砂層 オリーブ 黒		90		D	10.07~11.16m 腐植、シルト、礫混じり砂層。腐植、シルト、細~中礫が混じる極細~中粒砂からなる。層理に乏しい。基底は浸食面で、直上に径1~4cmの亜円~亜角礫を10~60%含む。基底は浸食面で、直上の17cmは褐色を帯びる。	
	-4.27	11.16		砂礫層 灰オリーブ ・ オリーブ灰		65		D	●12.42~27.19m 更新統 11.16~12.42m 砂礫層。細~中粒砂の基質に径1~5cmの亜円~亜角礫を10~60%含む。基底は浸食面で、直上の17cmは褐色を帯びる。	
	-5.53	12.42		中~粗粒 砂層 灰 オリーブ ・ オリーブ 灰		100		D	12.42~15.55m 中~粗粒砂層。締り悪く指圧で跡が残る。斜交層理や細礫層を伴う。基底は浸食面である。	
15	-8.66	15.55		細~中粒 砂層 黄褐 褐色		100		D	15.55~17.70m 細~中粒砂層。上位層より締りが良いが、指圧で跡が残る。	
	-10.81	17.70		粘土層 灰オリーブ ・ オリーブ黒		75		D	17.70~21.09m 粘土層。水平で細かい層理が発達し、砂の薄層を挟む。締まっており指圧で跡が残らない。	
20	-14.20	21.09		腐植質 シルト・ 腐植混じり 砂互層 オリーブ ・ 灰		100		D	21.09~22.11m 腐植質シルトと腐植混じり砂の互層。指圧で跡が残らない。基底は不明瞭である。	
	-15.22	22.11		腐植混じり シルト質 砂層 灰		75		D	22.11~22.69m 腐植混じりシルト質砂層。植物根化石が認められる。下部で層理が発達する。	
	-15.80	22.69		腐植混じり シルト質 砂層 灰 灰 オリーブ		100		D	22.69~27.19m 砂礫層。中~極粗粒砂の基質に径0.5~10cmの亜円~亜角礫を30~60%含む。締まり具合は指圧で跡が残らないから残るまで様々である。腐植片を含む。基底は浸食面で15°傾斜する。	
25				砂礫層 オリーブ 灰		100		D	●27.19~30.00m 別所岳安山岩類 27.19~30.00m 安山岩(角礫質) ハンマーの軽打で金属音を発しナイフで傷が付かない硬さ。径1~8cmの安山岩角礫が認められる。	
	-20.30	27.19		安山岩 (角礫質)		90		Ab		
	-23.11	30.00				52				
						48	100			
						35	100			
30										
35										
40										

TJ-4孔 (0.00~30.00m)



2024-TJ05

G L = 6.86m

L = 24.00m

標 尺 高 (m)	標 度 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	地 質 名 調	コア 採取率 (%) 20 40 60 80	最大 コア 長 (cm)	R Q D	岩 級 分 (cm) (%)	記 事	
0				盛土	にぶい褐 黄褐色 にぶい黄 明黄褐色	100 53 100 65 75 100 69 80 100 70 90 64 55 70 91 86 88 100 71 45 76 49 81 49	D D	●0.00~2.50m 盛土 0.00~1.55m 細~粗粒砂層。0.00~1.00m手掘りコア。締り悪く指圧で跡が残る。 1.55~2.50m 細~中粒砂層。締り悪く指圧で跡が残る。 ●2.50~12.52m 沖積層 2.50~4.63m 砂質シルト層。締り悪く指圧で跡が残る。下部は細粒で砂分に乏しい。基底は浸食面で20°傾斜し、厚さ14cmの細礫層を挟む。 4.63~5.64m シルトと腐植の互層。締り悪く指圧で跡が残る。水平~傾斜10°の層理が認められる。 4.63~5.04m 腐植層。上位層との境界は浸食面。 5.34~5.52m 腐植層。 5.64~9.78m 腐植、シルト混じり砂層。締り悪く指圧で跡が残る。腐植とシルトが混じる極細~中粒砂層からなる。 9.78~11.89m 腐植、シルト混じり砂層。腐植、シルトが混じる極細~中粒砂からなる。層理に乏しい。中部には貝殻が混じり、ウミナガの仲間の貝貝殻が認められる。基底は浸食面で、直上に径1~3cmの亜円~亜角礫を20~30%含む。 11.89~12.52m 砂礫層。細~粗粒砂の基質に径1~5cmの亜円~亜角礫を30~60%含む。 ●12.52~24.00m 更新統 12.52~15.69m 中~粗粒砂層。締り悪く指圧で跡が残る。斜交層理を伴い、細粒層を挟む。基底は浸食面でほぼ水平である。 15.69~17.48m 細~中粒砂層。上位層より締まりが良いが、指圧で跡が残る。 17.48~21.10m 粘土層。水平で細かい層理が発達し、砂の薄層を挟む。締まっており指圧で跡が残らない。 21.10~22.70m 腐植質シルトと腐植混じり砂の互層。指圧で跡が残らない。 22.70~24.00m 砂礫層。中~極粗粒砂の基質に径0.5~6cm以上の亜円~亜角礫を30~60%含む。締まり具合は指圧で跡が残るか残らないまで様々である。		
4.36	2.50			砂質 シルト層	灰 オリーブ ・ 暗 オリーブ					
2.23	4.63			シルト・ 腐植互層	灰オリーブ オリーブ黒					
1.22	5.64			腐植 シルト 混じり 砂層	オリーブ 黒					
-2.92	9.78			腐植 シルト 混じり 砂層	オリーブ黒 灰オリーブ					
-5.03	11.89			砂礫層	オリーブ灰					
-5.66	12.52			中~粗粒 砂層	灰 オリーブ ・ オリーブ 灰					
-8.83	15.69			細~中粒 砂層	黄褐 褐					
-10.62	17.48			粘土層	灰オリーブ ・ オリーブ黒					
-14.24	21.10			腐植質 シルト・ 腐植混じり 砂互層	オリーブ黒 灰					
-15.84	22.70			砂礫層	オリーブ灰					
-17.14	24.00									
25										
30										
35										
40										

TJ-5孔 (0.00~24.00m)



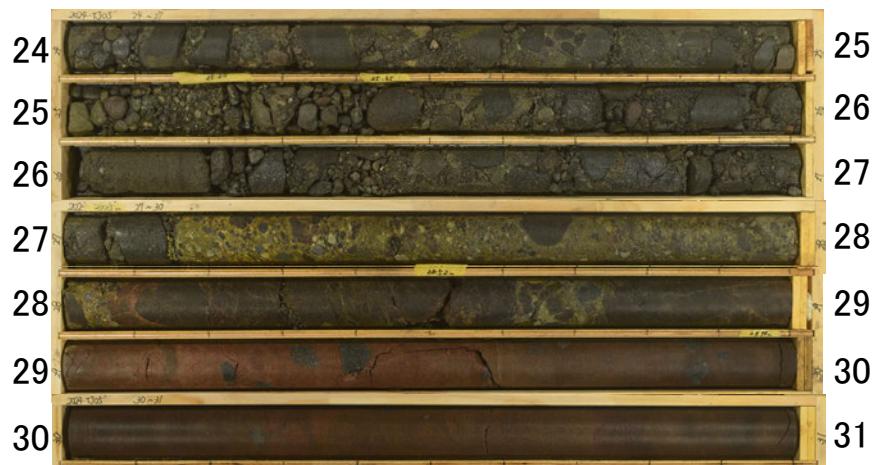
2024-TJ05'

G L = 6.86m

L = 31.00m

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	地 質 名	色 調	コア 採取率 (%) 20 40 60 80	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D	岩 級 分 区 分	記 事	
25	-17.14	24.00		砂礫層	オリーブ 灰		50	D		●24.00～27.15m 更新統	
	-20.29	27.15								24.00～27.15m 砂礫層。中～粗粒砂の基質に径0.5～8cmの亜円～亜角礫を30～60%含む。締まり具合は指圧で跡が残らないから残るまで様々である。腐植片を含む。	
	-21.22	28.08		火山礫 凝灰岩	暗オリーブ オリーブ黒		30			●27.15～31.00m 別所岳安山岩類	
	-22.09	28.95					Bb			27.15～28.08m 火山礫凝灰岩。凝灰岩の基質に径1～8cmの安山岩角～亜円礫を30～40%含む。ハンマーの軽打で亜金属音を発しナイフで傷が付かない硬さ。	
	-24.14	31.00		安山岩 (角礫質)	暗オリーブ 暗赤褐色					40	
							Bb			28.95～31.00m 安山岩(角礫質)。ハンマーの軽打で金属音を発しナイフで傷が付かない硬さ。径1～7cmの安山岩角礫が認められる。	
							Ab				

TJ-5' 孔 (24.00~31.00m)



眉丈山第2断層

宿屋No.1(3の1)

GL=6.487m

L=70.0m

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	層 厚 m	孔 内 水 位 m	柱 状 図	色 調	地 質	記 事	
								観 察	
	6.137	0.35	0.35			暗褐色 (10YR 3/4)	シルト	表土	
1	5.937	1.05	0.70			オリーブ褐色 (2.5Y 4/6)	砂混リシルト		
2	3.637	2.85	1.80	-2.0m		淺黃 (5Y 7/4)	粘土	花崗岩のくさり礫地の風化礫 φ20mm程度を含む。白色軟質物 (長石の風化したもの)目立つ。 崩積土	
3						淺黃 (5Y 7/3)	砂混リシルト混り	花崗岩および半花崗岩?のくさり 礫(最大φ100mm)を含む。 ところどころ褐色を呈す。	
4						青黃 (5Y 7/3)	中～粗砂	下部に礫やや多い。4.8m附近 著しく酸化鉄で汚染される。	
5	1.957	5.03	2.18			青黃 (5Y 7/3)	石	風化礫の痕跡わずかに見らるる。 長石片・雲母片多量に含む。 6.5附近に細砂10mmを挟む∠30°	
6	0.687	5.80	0.77			明褐色 (7.5YR 5/8)	中～粗砂		
7	-0.563	7.05	1.25			暗青 (10BG 4/1)		砂分の多いところとシルト分の多いと ころが不規則に入り混る。砂石英粒多く 一部砂混リシルトのところあり。	
8	-1.813	8.30	1.25			暗灰 (5BG 5/1)	石質シルト	(2.5G 4/1) 有機物を含む。	
9	-2.093	8.58	0.28			暗綠 (5PB 2/1)	石質シルト	くさり礫	
10	-2.263	8.65	0.07			青灰 (10B 4/1)	花崗岩礫	砂は細砂か目立ち。マサ状を呈す。 下位は軽微傾∠30°	
11	-2.963	9.95	0.90			青灰 (10G 4/1)	中～粗砂	上部10cm以下のオーダの互層 10mmのオーダの互層。層理∠25°	
12	-3.013	10.30	0.85			明褐色 (7.5YR 5/8)	シルト混り中～粗砂	(2.5YR 5/8) 酸化礫混入。下部礫混∠35°	
13	-4.213	10.70	0.40			砂 シルト・中～粗砂互層 (2.5Y 4/3)		上部に粘土10cmあり。層高max5cm(?)	
14	-4.563	11.05	0.35			砂質～礫混リシルト 細石		シルトはいすこし1cm以下のお層∠40°	
15	-5.013	11.50	0.45			灰白 (7.5Y 7/2)	粘土および粗砂	12.5附近粗砂を混入。下位は漸移	
16	-5.493	11.98	0.48			明褐色 (7.5YR 5/8)	シルト混り 中～粗砂		
17	-5.813	12.30	0.32			砂質 (5PB 2/1)			
18	-6.213	12.70	0.40			灰白 (7.5Y 7/2)	粘土	花崗岩のくさり礫(φ40~100mm)	
19	-6.863	13.35	0.65			明褐色 (7.5YR 5/8)	粘土	下部境界∠55°	
	-7.023	13.50	0.15			暗灰 (7.5G 4/1)	シルト質粘土～	緑灰色部に暗オリーブ色の箇所あり	
	-7.313	13.80	0.30			暗灰 (7.5G 4/1)	粘土質シルト	下位との境界漸移的である。∠50°	
	-7.863	14.35	0.55						
	-8.963	15.95	1.10						
16								上部には青灰(10G 4/1)～明青灰(10BG 3/1)を呈する部分がセントオーダマーフロック状で残る。	
17								中粗砂をふすかに混入するが比較的均質な石砂。下部に中～粗砂多くなる。	
18	-11.363	17.85	2.90			オリーブ灰 (10Y 5/2)			
19	-12.313	18.80	0.95			暗綠灰 (10G 4/1)	シルト質細石 ～砂質シルト	灰白色、石英長石を混入。 有機物をわずかに混入	
	-13.213	19.70	0.90			暗綠灰 (10G 4/1)	礫混リシルト質 腐植質中～粗砂	上位とは漸移的、小礫φ20mm点在 有機物比較的多く混入 ∠60°~70°	

宿屋No. 1 (3の2)

GL=6,487m

L=70.0m

20					上辺との境界付近(19.70m~19.90m) 花崗岩の風化礫中60mmあり。 他は20mm程度のものが多い。 主として風化花崗岩礫よりなるが 異種岩の礫も含み、崖壁堆積物 と若えらる。20.30~20.50m間 礫をふくまず不均質な細~粗砂 よりなる
21	-15.31.3	21.80	210	黄褐色 (10YR 5/6)	シルト混り 砂礫
22				++	
23				++	
24				++	
25	-			++	マサ くさり 磨状の風化残留礫が見 らる。中40mm程度
26	-19.5.13	26.00	4.20	明黄褐 (2.5Y 4/6)	花崗岩
27				++	かなり大きい風化残留礫が 見らる。石英粒大きい。
28	-22.11.3	28.60	2.60	オリーブ (5Y 6/6)	花崗岩
29				++	マサ
30	-23.9.6.3	30.45	1.85	明青灰 (5B 7/1)	花崗岩
31	-25.2.13	31.70	1.25	明青灰 (5PB 7/1)	花崗岩
32	-26.0.6.3	32.55	0.85	明青灰 (10BG 7/1) 暗青灰(5B 7/1)	花崗岩 (断層破碎帶)
33	-28.8.13	35.30	2.75	明青灰 (5B 7/1) (5PB 7/1)	花崗岩
34	-28.9.6.3	36.45	0.15	++	風化花崗岩 組織のはつきりした 部分多い。いがいしナイフでくずせる。 花崗岩としては細~中粒 34.35m~35.45m 灰白色粘土 L50° 35.10付近より破碎質 L50°
35				++	灰色粘土、チヨコレート色粘土夾杂あり
36				++	花崗岩の小礫(くさり礫中20mm) をとり込むところがあるが、大半は 石英、長石5mm角礫を大量に 含む。37.40~37.50m, 38.30~38.50m に黑色破碎物あり。断層破碎帶、 L20~25°
37	-32.2.13	39.50	3.05	明綠灰 (5G~10G 7/1)	花崗岩 (断層破碎帶)
38				++	小角礫混り 粘性土
39				++	風化花崗岩
40				++	41.00m付近以深かなりきたなく なる。石英状に残った風化花崗岩の 周囲がかなり粘土化している。
41				++	
42				++	
43				++	
44	-38.0.13	44.50	6.00	明綠灰 (10G 7/1)	花崗岩
45	-38.5.6.3	45.05	0.55	灰灰 (7.5R 4/2)	花崗岩 (断層破碎帶)
46	-39.8.6.3	46.35	1.30	暗綠灰 (7.5G 4/1)	泥岩
47	-40.1.6.3	46.65	0.30	カツラ灰(2.5Y 4/3)	シルト
48				青灰 (5BG~10BG 5/1)	中~細砂
49					均質な砂
50					

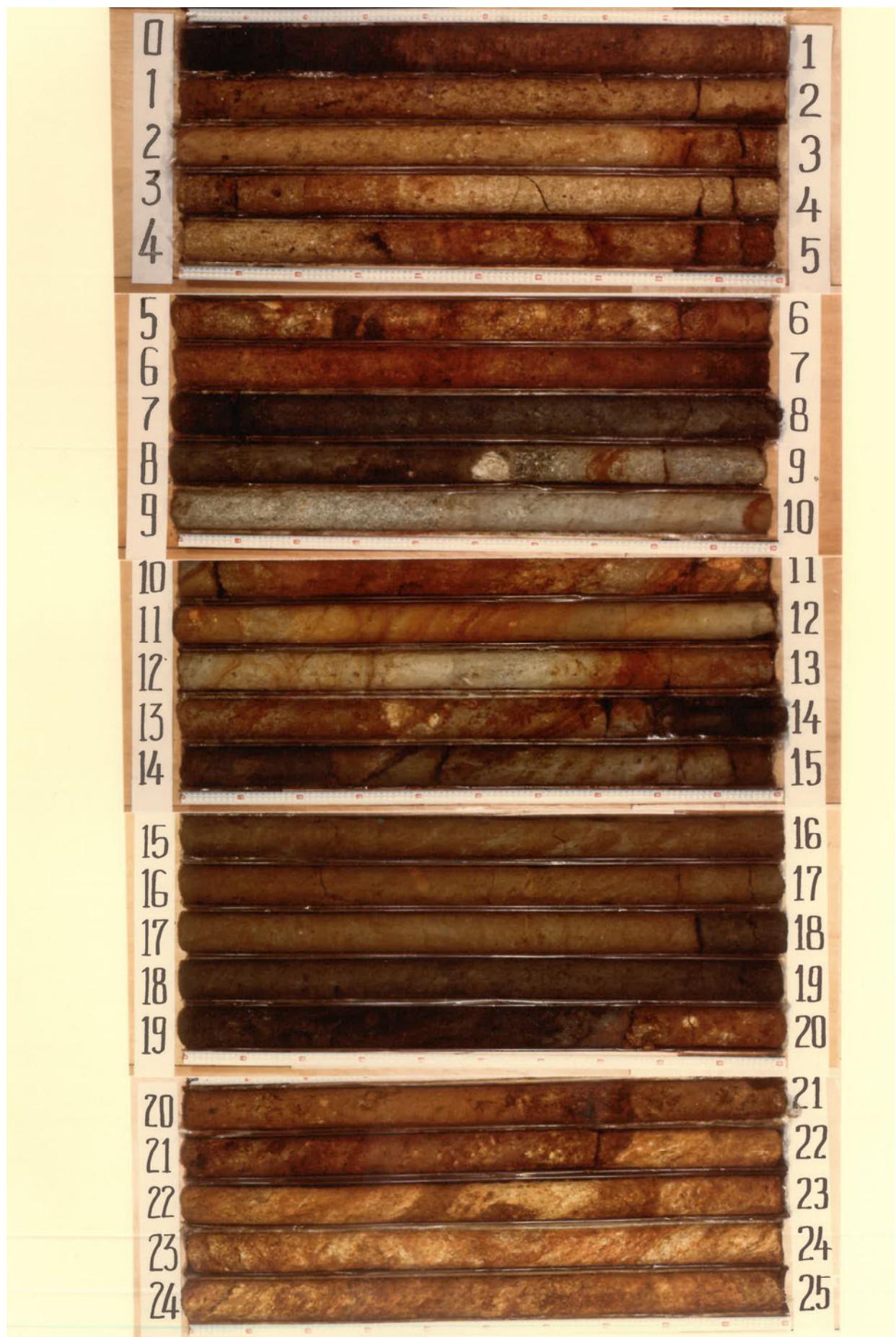
宿屋No. 1(3の3)

GL=6.487m

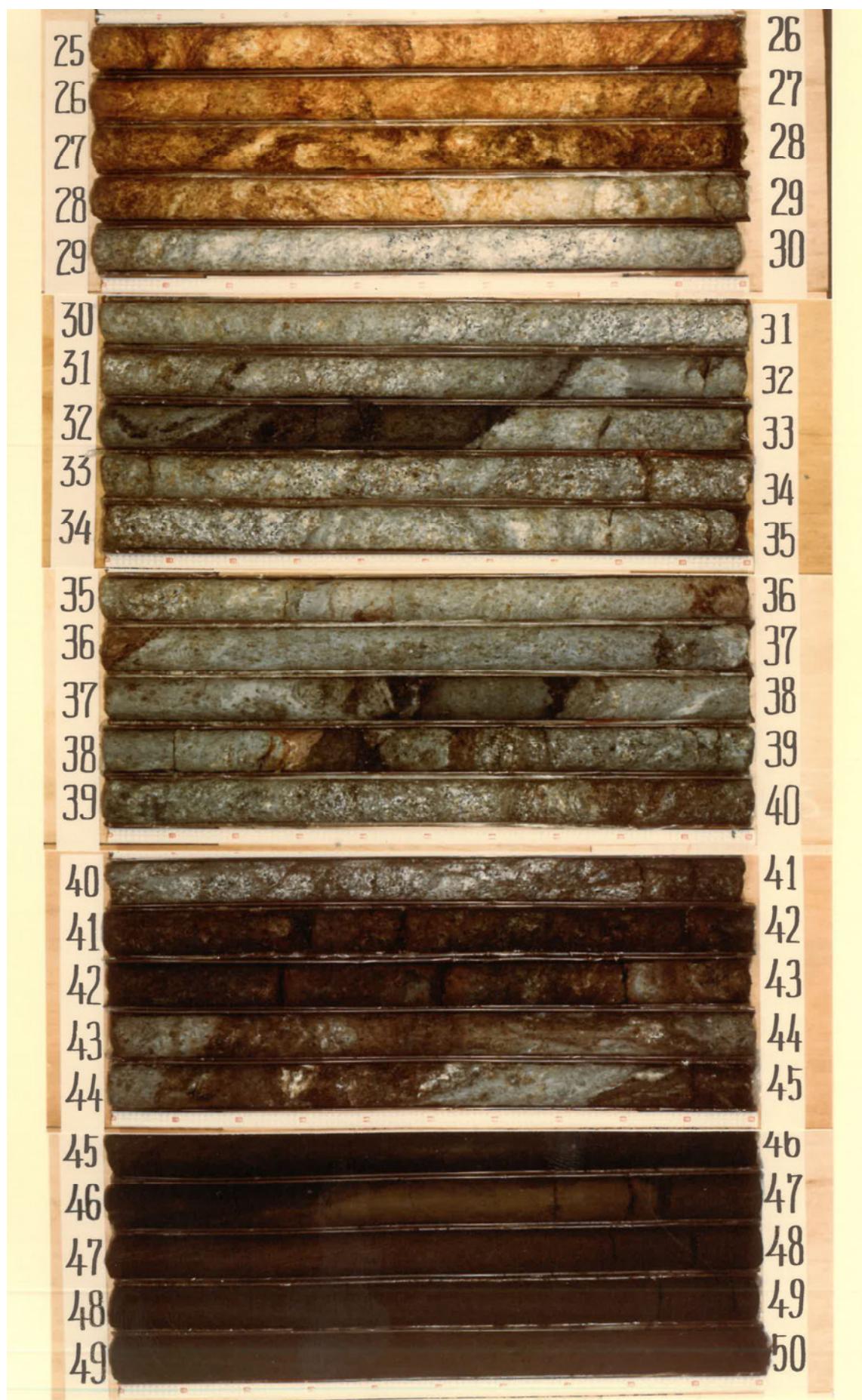
L=70.0m

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	層 厚 m	孔 内 水 位 m	柱 状 図	色 調	地 質	記 事
								観 察
51						着灰 (5BG~10BG) 5/1		51.15~51.30m シルト~微細砂のラミナ8条ほどみうかる。最大2mm厚を示すが、ほとんどは1mm±のものである。L65°
52								53.10m 7~8mのシルト質の挟みL50°
53								54.00付近 石砾や砂粗粒になり中砂多い
54						暗青灰 (5BG 3/1)	中~細砂	
55						暗緑灰 (5GY 4/1)		56.60付近 粗砂を混える。
56								記載したところ以外にラミナ層共見られない。硬さ(しまり)の差があるか、漸移的で境界らしきものはない。
57								
58								
59								
60							中~細砂	
61								
62						暗緑灰 (25GY 4/1)		63.05~63.10m シルト質砂 上下の境界 <L10°±
63								
64								
65								
66								
67								
68								
69								68.20~69.50m 間に生痕 3箇所に見られる。
70	-63.513	70.00	23.35				中~細砂	

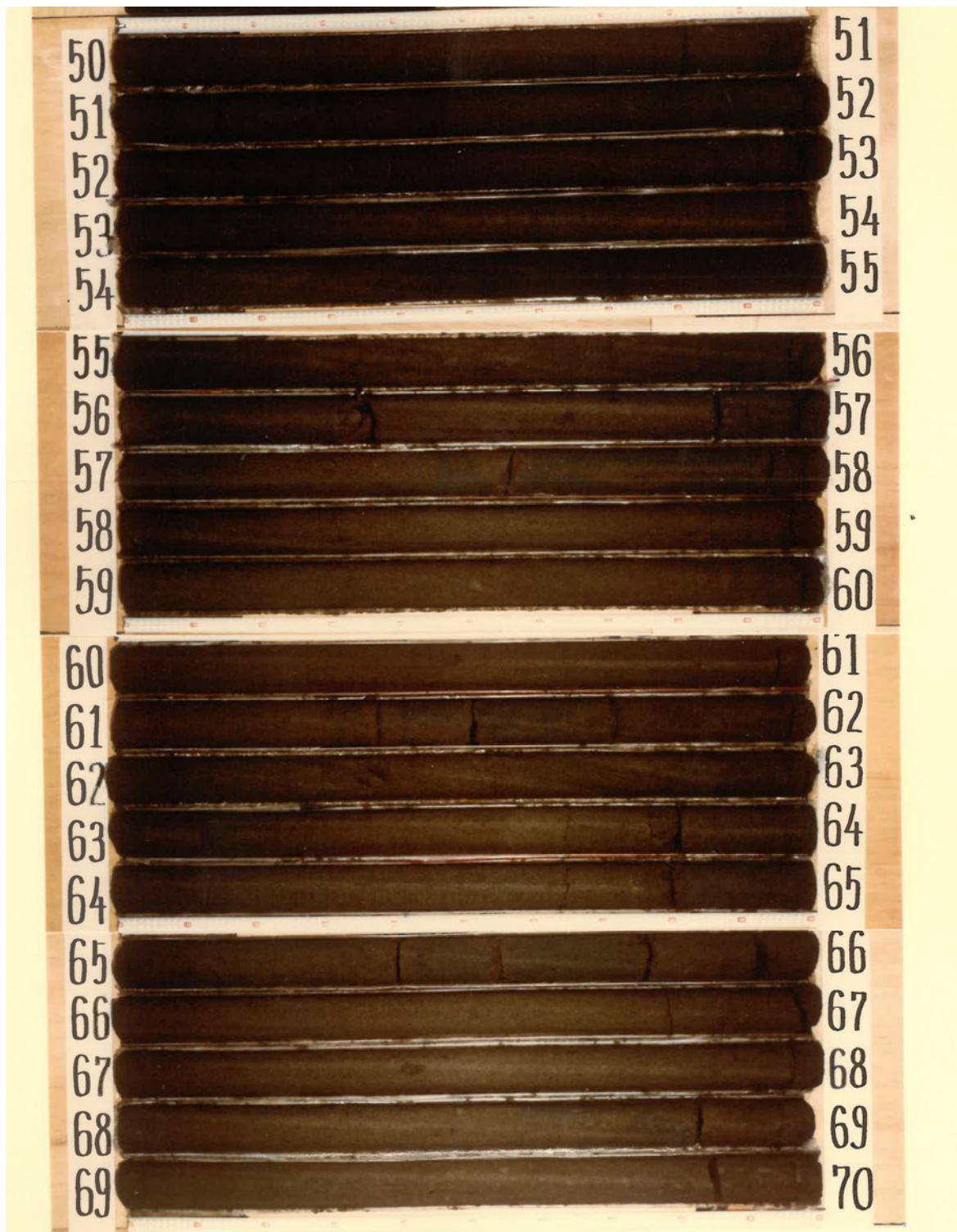
宿屋No.1 (0.00~25.00m)



宿屋No.1 (25.00~50.00m)



宿屋No.1 (50.00~70.00m)



宿屋No.2(3の1)

GL=6.331m

L=60.0m

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	層 厚 m	孔 内 水 位 m	柱 状 図	色 調	地 質	記 事
								観 察
	5.881	0.45	0.45			暗褐(75YR 3/4)	表土	
1	4.631	1.70	1.25	-2.0m		暗褐 (75YR 3/4)	砂混リシルト	1.70m付近±50mm層±30mmの 花崗岩礫あり。 崩積土
2	3.331	3.00	1.30			褐褐 (10YR 5/8)	砂混リシルト	風化長石粒が点在
3	2.331	4.00	1.00			にふい黄 (2.5Y 6/4)	砂混リシルト	含水多く 黏い。砂分多い
4	1.531	4.80	0.80				シルト・砂互層	石混リシルト、中砂、シルトか 10~15cm ±10±2~互層
5	0.981	5.35	0.55				細礫混リシルト層 中~粗砂	下部に中粒砂多くなる
	0.481	5.85	0.50				中砂	
6	-0.919	7.25	1.40			灰白 (7.5Y 7/2)	シルト層中~粗砂	ところどころ 細砂礫を混える 下部 中砂多くなる。
7	-1.519	7.85	0.60			明褐 (7.5YR 5/8)		
8	-2.369	8.70	0.85			灰オリーブ (7.5Y 5/3)	砂混リシルト層 砂質シルト	礫径 max 50mm、20mm 程度の ものが主である。ほとんどが花崗岩の くさび亞角礫 石けは中~粗砂か ほとんど、砂質シルト部あり。 雲母片多量に含む
9	-3.069	9.40	0.70			暗褐灰(0.87.4)	シルト層 砂	
10	-3.369	9.70	0.90					
	-3.769	10.10	0.90					
11	-4.769	11.10	1.00			暗青灰 (10BG 4/1)	腐植物混り シルト質砂	10.25m付近 10.50~10.70m~10.80m 付近小角礫を含む 有機物が存在する。砂は中~細砂
12	-5.269	11.60	0.50			暗綠灰 (5G Y 3/1)	腐植物混り 砂質シルト	
	-5.569	11.90	0.30				腐植物混り 砂質シルト	
	-6.169	12.50	0.60				腐植物混り 砂質シルト	10.15~12.80m 花崗岩礫(大きさ<3mm) max ±60mm あり。砂中~粗砂混リシルト部あり
13	-7.219	13.55	1.05			黒(10YR 2/1)	腐植土	上部 硫化層±30cm 硫化物を多量に含む黒色シルト 13.45m付近白色動物を主とする礁および粗砂 を挟む。12.6m±20
14	-8.069	14.40	0.85			オリーブ灰 (10YR 5/2)	シルト混リ砂礫	13.60m付近 白色岩片あり ほとんど花崗岩のくさび礫 max 40mm
15	-9.219	15.55	1.15				砂混リ シルト質砂	上部の礫大きさ 100mmに及ぶものあり。 砂は中~粗
16	-9.719	16.05	0.50				シルト質砂	上部 細砂および粗砂混リ 砂は細砂
17						灰 (10Y 7/1)		
18						灰 (5Y 5/1)		1800~2000 間隔±かバシルトを混 えるところあり
19								
20						暗オリーブ		20.85m ラミナ(硫化鉄) ± 20°

宿屋No. 2(3の2)

GL=6.331m

L=60.0m

21	-14.639	20.97	4.92	(5Y 4/4)	細 砂	下部境界中～相切1.5cm L20°
	-15.249	21.58	0.61	オリーブ (5Y 5/4)	砂質シルト～シルト	21.00 L45° 礫石質(ホロホロ) 21.30 m L50°
22						22.15m 付近まで 破碎質
23				暗オリーブ灰		22.00～22.50m やや含水率大きい (22.00～23.00m 無水掘か)
24				(5G Y 4/1)		23.50m 付近砂質土層より シルト分が多いところ一部にはほとんど 粘土のところあり。
25	-18.769	25.10	3.52		粘土質 シルト	
26	-19.969	26.80	1.20		砂混り	上位とは軽移的で砂りが徐々に 増え、下部で増える。
27	-21.089	27.42	1.12		粘土質 シルト	26.00～26.10m 磨礫物混り
28	-22.069	28.90	0.98	暗オリーブ灰 (5G Y 4/1)	細礫混入	下部 27.20～27.42m 磨礫物混りシルト
29	-22.869	29.20	0.80	暗オリーブ (5Y 5/4)	砂混り	27.62～27.90m 微細砂～上部境界 L45°
	-23.069	29.40	0.60	オリーブ (5Y 5/4)	シルト質 砂	[上部標高 max 30mm] いすみ砂
	-23.269	29.60	0.20	及オリーブ (5Y 5/4)	細礫混入	[下部標高 max 70mm] いすみ砂
30				褐 (10YR 5/6)	シルト質砂～砂質シルト	AP 細石
				(10YR 5/8)	AP 磨	花崗岩のくずり砂(亜角) max 450mm
					細～中砂	酸化鉄の縞状汚染 L25°
					礫混入	上部は細礫混入、下部は粗礫混入
					シルト質砂	砂不均質で粗なものが多い
					砂混入(10YR 5/6)	礫径 max 10mm 砂中～粗不均質
					シルト質砂～砂質シルト	下部境界 L50°
31	-25.219	31.55	0.65	オリーブ灰 (10Y 4/2)		上部に腐植物混入する。
32	-25.919	32.25	0.70		砂中～粗不均質、下部境界 L50°	
33	-26.649	32.98	0.73	オリーブ灰 (5Y 2/2)		
	-27.019	33.35	0.37		砂混りシルト	22.65m 付近まで 磨礫上層、磨礫土質の 下部 L50° 32.50m 付近に max 60mm のくずり砂?
	-27.319	33.65	0.30	オリーブ灰 (10Y 4/2)	シルト質 砂	下部境界 L60°
34	-27.819	34.15	0.50		砂混りシルト～3シルト質砂	
	-28.419	34.75	0.60		細～中～粗砂互層	34.85m 付近にヨリート色粘土 10mm L70°
						上部境界 L70 ～ 25～44.5m シルト質砂
						下部 L75°～80° 砂粗なものが多い。
35				暗 灰 (7G Y 5/1)	砂混り(粗礫質)シルト	礫径 10mm 程度
					シルト質砂	砂不均質 粒粒の多い
						下部境界不明瞭
36				暗オリーブ灰 (25G Y 3/1)		34.85m 付近上部から L50° 60° 70° 礫質質で 磨礫多め、あら砂、粗面粘土 塊ものは見られない、下部塊状 L50° 境界 L45°
37						
38						
39						
40						
41						
	-35.419	41.75	4.80	(10G 3/1)	細 砂	
42				暗緑灰 (10G 4/1)		
43						43.50～43.60m 酸化鉄 L65°
44				暗緑灰 (5G Y 4/1) 灰オリーブ (25Y 2/2)		44.00～44.25m " L65°
45				黄褐色 (10YR 5/6)		
46						46.50m 以深 中砂を含まないところ あり、46m 以深ではほとんど含まなくな。
47	-40.239	46.57	4.82		中～細砂	
	-41.319	47.65	1.08		礫混り	上部境界 小礫かきかいに並ぶ L60°
					礫～中～細砂	礫 max 30mm くずり砂多めか 硬いもの もあり、砂不均質 下部境界不明
48						上部細礫層在する。
49						48.35m 色調変化 L60°
50						48.75m 酸化鉄 L40°
						49.10～49.40m 酸化鉄 L30～20～30°

宿屋No. 2(3の3)

GL=6.331m

L=60.0m

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	層 厚 m	孔 内 水 位 m	柱 状 図	色 調	地 質	記 事
								観 察
51						暗褐色-7°及 (56Y 4/1)		$\angle 60^{\circ}$ 51.25m シルト～微細砂 3～4mm
52								
53								53.50m 附近から全体に細かくなる。
54	57.669	54.00	6.65			中～細砂		下部境界漸移的
55								
56								$\angle 80^{\circ}$ 56.35m 細粒砂 3～4mm 周囲より かたい。
57								$\angle 78$ 56.80m シルトのパッチと小さな $\angle 80^{\circ}$ 位で雁行して全体的に $\angle 70^{\circ}$ 前後を示す。
58								58.05m 腐泥物よりほんと $\angle 90^{\circ}$ 立つて3 59.10～59.35m のパッチと共に薄いラミ状の ものか見らるる $\angle 70^{\circ}$ 59.25m にはこれと並行的 の傾斜 $\angle 60^{\circ}$ 周囲より細粒3～4mmを見らるる
59								・59.60m シルト $\angle 70^{\circ}$ 下部で不明瞭になり。 ・59.45～59.70m 細粒5mm 程度点在する。 ・59.92付近の白色砂(硬い) 10mm
60	53.689	60.00	6.00			細砂		

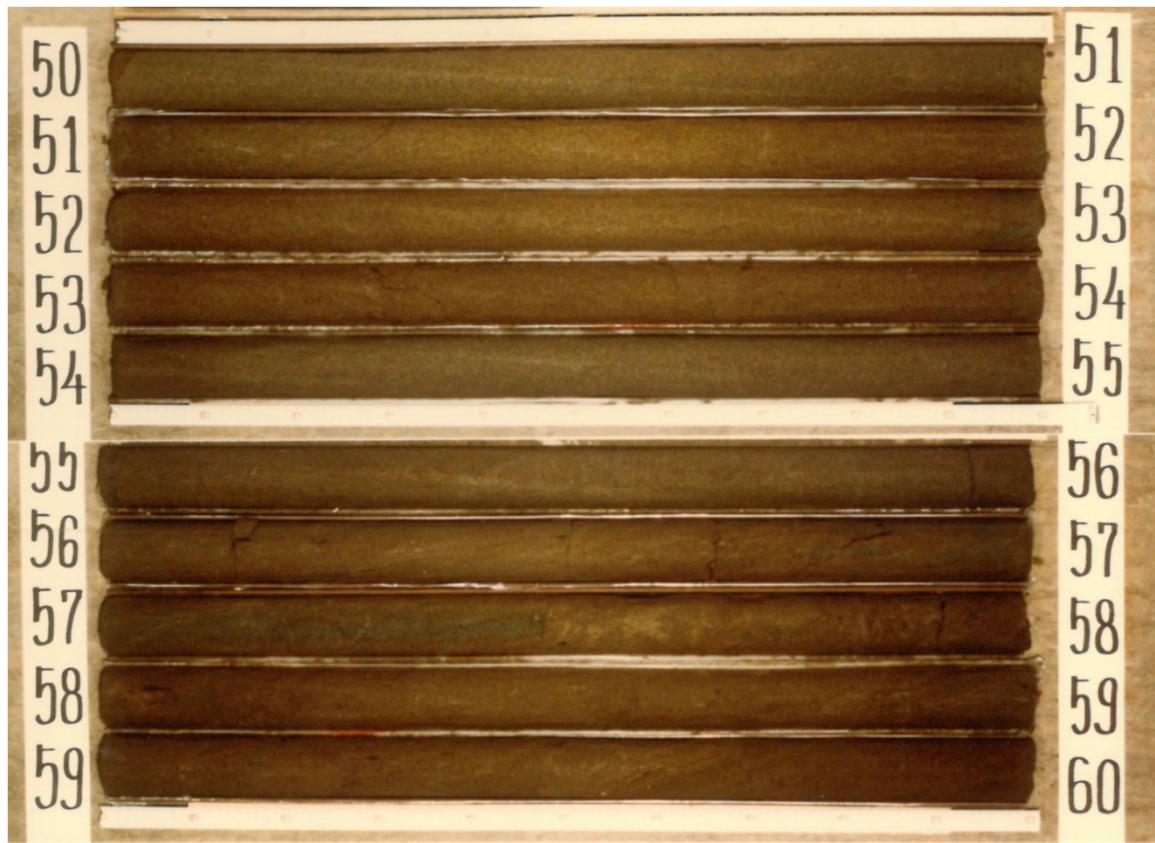
宿屋No.2 (0.00~25.00m)



宿屋No.2 (25.00~50.00m)



宿屋No.2 (50.00~60.00m)



標 尺 m	標 高 m	深 度 m	層 厚 m	孔 内 水 位 m	柱 状 図	色 調	地 質	記 事
								観 察
1	3.609	0.80	0.80			黄褐色 (10YR 5/6)	シルト混り砂	植物根、草根混り 細土、かなり礫混入、石河は中等
2	2.309	2.10	1.30			暗褐色 (10YR 3/4)	シルト質砂	上位の砂にさらにシルトが多く混つたもの、不均質である。
3	1.709	2.70	0.60			オリーブ褐色 (2.5Y 4/3)	砂質シルト	φ15mm 工の砂岩、亜田隕石、花崗岩 角礫混入、礫は硬い
4	0.919	3.49	0.79			黄褐色 (2.5Y 5/6)	砂質泥炭土	
5	-0.341	4.75	1.26			オリーブ褐色 (2.5Y 4/3) 灰褐色 (10YR 4/8)	礫混り シルト混り中～粗砂	花崗岩のくさり礫をかなり多く含む φ max 60mm + 4.00～4.15m 砂質シルト {上部 L 30° 下部 L 40°
6	-2.241	6.65	1.90			灰白色 (2.5Y 8/1)		粗砂が多い、石英粒 3～4mm
7						シルト混り		下部細礫をわずかに混じようになる
8	-2.041	8.75	1.80			緑灰 (10GY 5/1)	中～粗砂	上位より細礫多くなる。
9	-2.941	9.35	0.90			暗緑灰 (5Y 5/1)	細礫混り	礫径 max 6～7mm
10						シルト混り中～粗砂		下部より細礫多い。
11	-6.491	10.90	1.55			暗褐色 (5B9 5/1)	礫混り	8.70～9.20m 腐植土質
12	-7.011	11.42	0.52			暗褐色 (7.5Y 5/2)	砂質シルト	礫径 max 40mm +、比較的均質のY字形切溝を
13	-8.471	12.88	1.46			灰褐色 (7.5Y 4/2)	シルト質砂	花崗岩風化裂縫くずれに見らる。
14	-9.701	14.11	1.23			黒褐色 (5YR 2/1)		
15	-10.121	14.53	0.42			暗褐色 (5YR 3/1)	腐植土	13.70～14.00m 花崗岩風化物少ない、色濃 黒褐色 (10YR 3/1)、13.00～13.50m 間あるいは 14.00m 付近より花崗岩風化物中、礫点左し、 花崗岩風化物混入、腐植物 L 15°
16	-10.941	15.35	0.82			暗褐色 (10YR 3/1)	シルト質砂～砂質シルト	14.00～14.50m 花崗岩風化物混入、 腐植物 L 20°
17						黄褐色 (10YR 5/6)	細礫混りシルト層	細砂層立つ
18						灰褐色 (2.5Y 4/2)	中～粗砂	下部境界 L 40°、細礫立つ
19						オリーブ褐色 (5Y 6/3)		15.60m 付近までシルトのラミナ見らる、L 35°
20	-14.941	19.35	4.00					16.20～16.80m ラミナに沿つて細砂 L 40°
								16.10m 付近の40mmの片麻岩の垂直縫 16.70m φ15mm 花崗岩の垂直縫
								17.90m 不明縫立ラミナ L 45°
								18.20m 付近粘土 3～1mm L 40°
								やや粗な部分層状を示す L 65°

21	-16.191	20.55	1.20			中～細砂	下部境界L55° 下部より細砂を混入。
	-17.021	21.43	0.88			細砂	鐵化鉄 L50°
	-17.361	21.77	0.34			細砂混り中～細砂	下部中～細砂の細砂層をなすL15°, 下部境界L50°
22				(2.5Y 6/9)			22.20m 黒色ラミナ L70°
23				黄褐色			23.10m 微細砂ラミナ L75°
24				(2.5Y 5/6)			23.25~23.40m 黒色 L70°
25				に3/4黄			24.40m 片付ラミナ L70°
26				(2.5Y 5/3)			24.80m " L60°
27				灰白			25.40m } 中～中粗砂 L75°
				(5Y 7/1)			25.55m }
				明黄褐色			26.27m 片付ラミナを切る黄土色シルト
				(10YR 5/8)			夏らか3 L40°
							26.80~26.90m 鹽化鉄 L20°
							27.53m 5m～6m細砂層2mm, L30°偏軸の
							偏軸方向を切る方向
28	-23.191	27.60	5.83			微細砂	27.98m L45° 差別化
29							28.19m シルト 4mm L35°
30	-25.491	29.90	2.30				29.00~29.30m 3mm～3mm 粒度互い L70°
31	-26.991	30.40	1.00				31.33m 順層 シルト～2mm L40°
32							31.84m 片付3mm L30° 以上は逆落ち
33	-28.451	32.86	1.96				32.42m 片付3mm L40°
	-28.671	33.08	0.22				
34	-29.891	34.30	1.22				下部境界 L35°
	-30.441	34.85	0.55				
35	-30.991	35.40	0.55				
36							36.55m 片付鐵化鉄 L55°
37							36.10m 花崗岩の豊富層 (φ60×80mm)
38	-38.461	37.87	2.47				より硬い。
	-33.941	38.35	0.48				37.10~37.20m 花崗岩くず層 (φ30~40mm)
39	-34.841	39.25	0.90				
	-35.191	39.60	0.35				
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46	-41.891	46.30	3.30				
	-42.491	46.90	0.60				
47							
48							
49	-45.151	49.56	2.66				
50							

宿屋No.3(3の3)

GL=4.409m

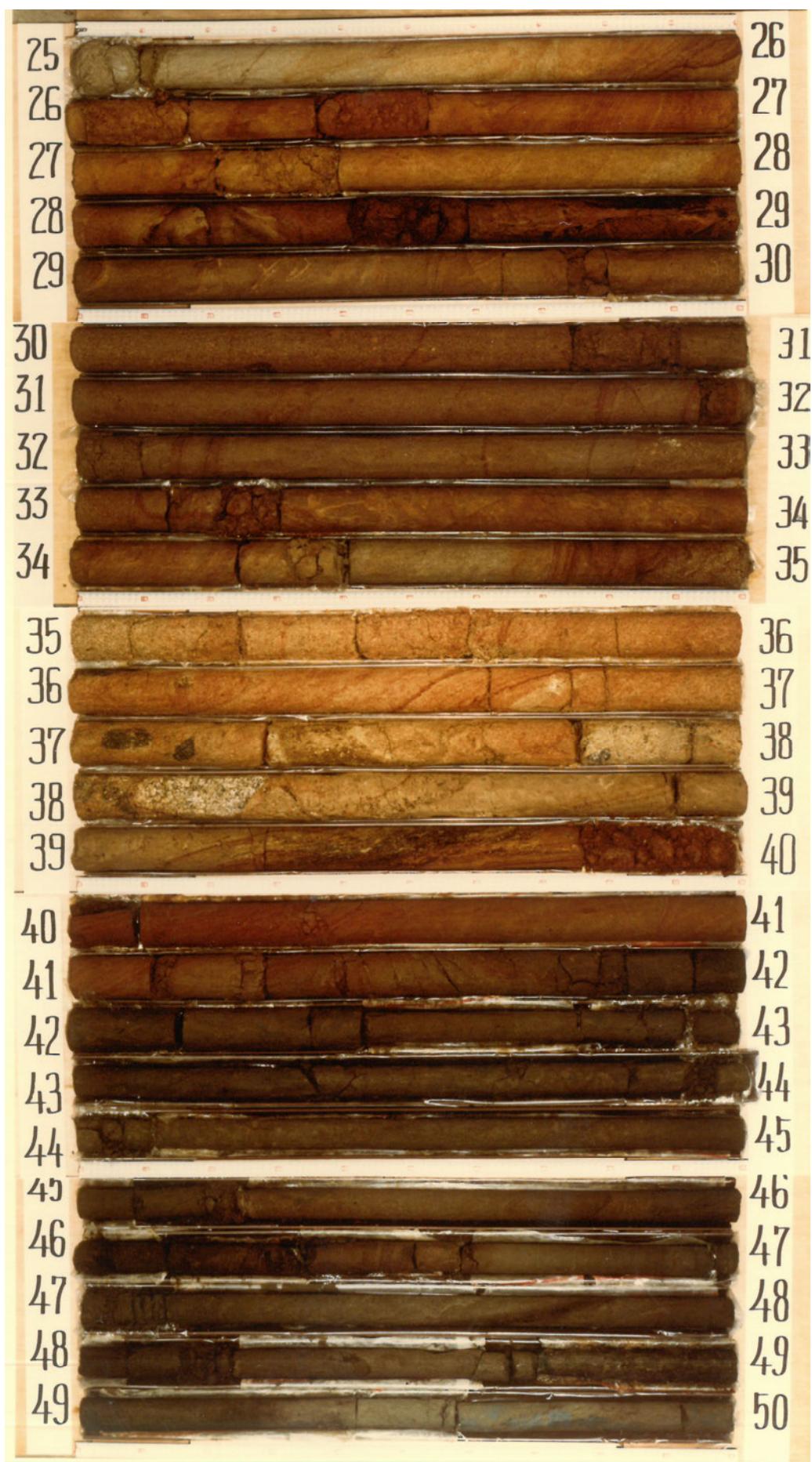
L=70.0m

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	層 厚 m	孔 内 水 位 m	柱 状 図	色 調	地 質	記 事
								観 察
51	-46.341	50.75	1.19			青灰 (10B9 5/1)	シルト質微細砂	下部境界酸化鉄 $\angle 60^\circ$ 52.00m付近まで酸化鉄ラミナ $\angle 55^\circ \sim 60^\circ$ を示すが 51.95mにこれを切ってシルト $1.5\text{ mm } \angle 70^\circ$ が見られる。 52.00 ~ 55.00m 創酸化鉄ラミナを含む $\angle 65^\circ \sim 75^\circ$ を示す。 53.00 ~ 53.30m間にこれを切るシルト $1\text{ mm } \angle 10^\circ \sim 30^\circ$ のものが3条かられる。
52								
53								
54								
55						褐 (10YR 4/6)		下部や粗なものが混つてゐる。
56	-52.041	56.45	5.70				微細砂	
57						灰オリーブ (7.5Y 4/2)		56.45m以深境界不明瞭である。 か部分自りに微細砂が見られる。 全体的にはかなり均質な砂
58						褐 (10YR 4/6)		58.00 ~ 59.00m 酸化鉄ラミナ $\angle 35^\circ \sim 55^\circ$ 58.90mに酸化鉄ラミナに $3.16\text{ mm } \angle 50^\circ$ が見られる。
59								
60						灰オリーブ (7.5Y 4/2)		60.30m付近 60.75m付近に同上より 固結した部分が筋状に見られる。前者で $\angle 20^\circ$ 後者で $\angle 30^\circ$ を示すが落ち 方向は逆である。
61								
62								
63								63.60m付近 酸化鉄に富む活塚 63.80m 酸化鉄ラミナ $\angle 35^\circ$
64						緑灰 (10G 5/1)		64.60m 色調変化の境界 $\angle 70^\circ$
65								
66								
67								
68								
69						暗緑灰 (10G 4/1)	細砂	69.20m周辺よりやや硬い筋 $\angle 45^\circ$
70	-65.591	70.00	13.55					

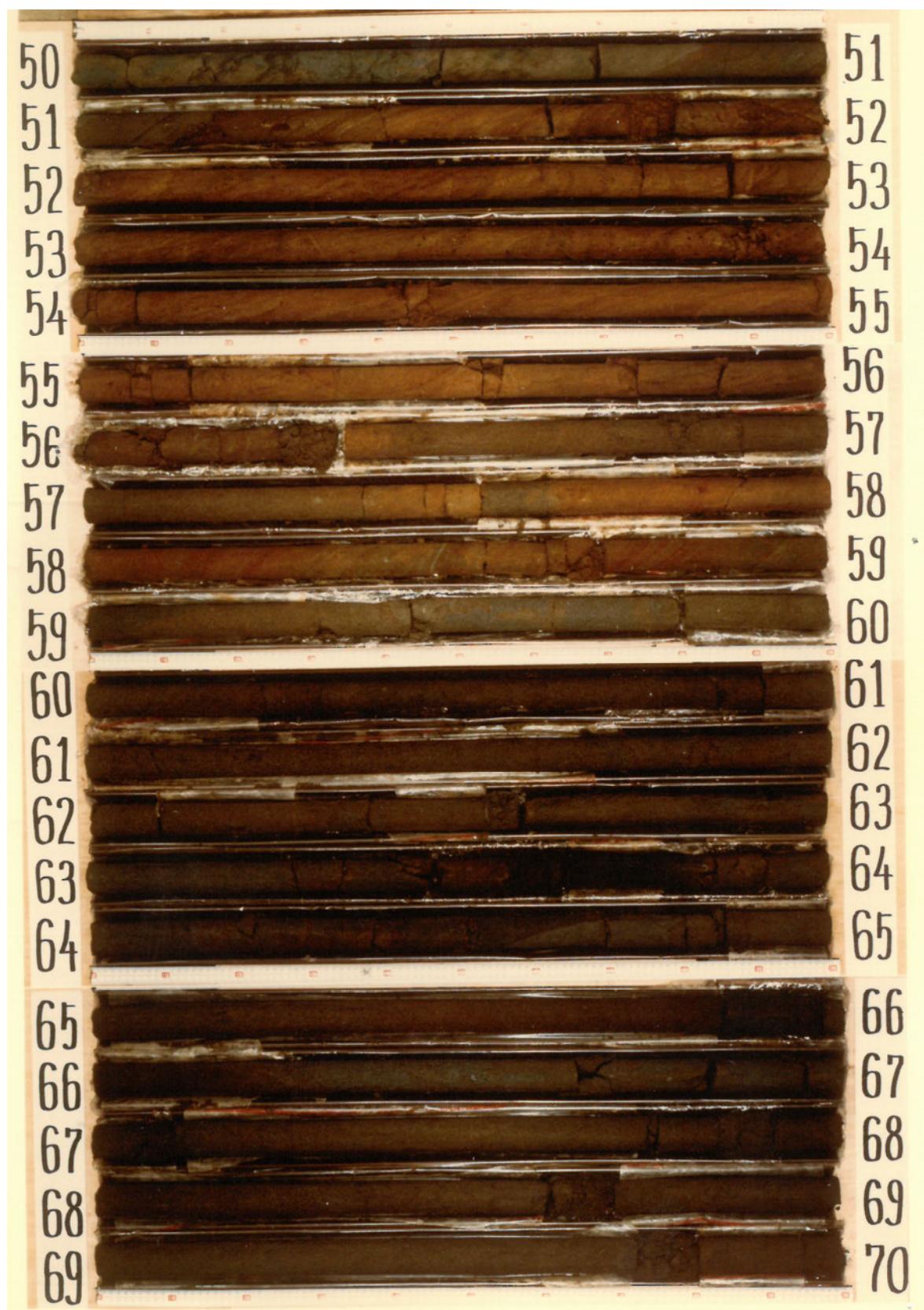
宿屋No.3 (0.00~25.00m)



宿屋No.3 (25.00~50.00m)



宿屋No.3 (50.00~70.00m)



標 尺 m	標 高 m	深 度 m	層 厚 m	孔 内 水 位 m	柱 状 図	色 調	地 質	記 事	
								観 察	
	2.992	0.61	0.61			黒褐色(10YR 8/2) 暗褐色(10YR 3/2)	腐植混り 砂混りシルト	耕土、植根混入、中1cm以下の石礫混り 粘性土	
1-	2.552	1.05	0.44			オリーブ灰 (5Y 3/2)	砂混り粘土	含水率下木木状	
2	1.642	1.96	0.91			(5G Y 3/2)		同上、1.20~1.32m層 砂混りシルト	
	1.202	2.40	0.44			オリーブ灰 (10Y 4/2)	シルト混り石粉	細~粗粒混在を含み不均質	
	0.902	2.70	0.30			細礫混り砂		下部はシルト質砂、細~中石粉となる。 シルト粒の地層 L40°	
3	-0.098	3.70	1.00	-3.85		オリーブ灰~ (7.5Y 4/2)	石粉 砂	砂のmax 70mm 砂は中~粗粒砂 (地質名としては砂混り中~粘性砂といふ)	
	-0.258	3.86	0.10			オリーブ灰 (10Y 4/2)	細礫混り砂	下部腐植物混りシルト混り砂	
	-0.598	4.20	0.34			灰~灰~灰 (10Y 4/2)	砂混りシルト~同粘土	岩質物(灰)を含む 石粉不均質	
	-0.898	4.50	0.30			灰 (10Y 4/2)	細礫混り細中粗砂	(10Y 3/2) 1.5 含水率めて大、下半分腐植物	
	-1.268	4.87	0.37					中粒砂多い、下部シルト混り砂	
4						オリーブ灰 ~オリーブ灰 (10Y 4/2)	シルト混り砂礫	中2~8mm 最大40mm土の花崗岩の 亞角礫と中~粗粒砂よりなる	
						(10Y 3/2)	(砂質礫層)	細礫混りと小砂混りの各分か・互層をなす か境界は津ヶ野、いづれし不均質	
	-2.598	6.20	1.33			暗青灰 (5B9 5/1)	砂質シルト	含水率高い 境界ほぼ水平	
	-2.768	6.37	0.17			暗青灰 (5B9 5/1) 灰 (5Y 5/2)	シルト層中~細砂		
7	-3.768	7.37	1.00						
8									
9									
10	-6.898	10.50	3.13			オリーブ灰 (10Y 5/2)	シルト混り 細~中~粗砂	全体的に不均質	
11	-7.728	11.33	0.83						
	-7.998	11.60	0.27						
12	-8.568	12.17	0.57						
	-8.998	12.60	0.93						
13	-9.868	13.47	0.87						
14									
15									
16	-12.728	16.33	2.86						
	-12.898	16.50	0.17						
17	-13.348	16.95	0.95						
	-13.708	17.31	0.36						
18									
19									
20	-15.978	19.58	2.27						
21	-17.098	20.70	1.12						
	-17.498	21.10	0.40						
22									
23									
24	-20.648	24.25	3.15						
	-21.518	25.12	0.87						
	-21.648	25.30	0.18						
25									

宿屋No. 4(4の2)

GL=3.602m

L=90.0m

26							上部境界 $\angle 25^{\circ}$ 上部 25.30~25.35m 鋼鉄砂を混入す。
27							26.00~27.10m リング ³ 大シルトか ³ 層 ³ 所に見らる。 (生痕) 27.85m, 28.35m, サンドハイブ ³ (生痕)
28							
29							
30							
31							
-28.198	31.80	6.50					29.35m シルト $\angle 50^{\circ}$ 29.90m 細砂 $\angle 55^{\circ}$ 30.50m シルト $\angle 55^{\circ}$ 30.95m " $\angle 50^{\circ}$ 31.50m 細砂 $\angle 45^{\circ}$ 31.63~31.80m
-29.198	32.80	1.00					下部酸化鉄沈澱及により著しく固結(鉄鑿) 一部に弱い金剛貝殻を含む。 下部境界 $\angle 60^{\circ}$ 間層の可能性あり
32							
-32.198	35.80	2.00					
-32.798	36.40	0.60					
33							32.45~32.65m 石灰岩質 下部 $\angle 55^{\circ}$
34							32.92m まで 腐植物混り砂層シルト 下部境界 $\angle 50^{\circ}$
35							33.20m 微弱な色調の違い $\angle 55^{\circ}$ 34.55m, 34.70m 細砂混り $\angle 45^{\circ}$, $\angle 55^{\circ}$
36							
-36.90m	36.40m	0.60					下部境界 シャープ $\angle 60^{\circ}$ ~ $\angle 65^{\circ}$ 36.00~36.40m 泥岩状の硬さを示す 中~10mm 程度のフロックに剥離やすい。 フロックの表面に金剛貝殻を認めらる。 これが 時に浮遊が認められる。 $\angle 50^{\circ}$ 土 (ST. 60°)
-36.90m	36.40m	0.60					36.90m 附近まで 微々田よりとさらに細かい シルト質な部分が細々層状に混在する。
-37.50m	37.50m	0.60					36.90m 附近のシルト $\angle 45^{\circ}$ を示す
-38.05m	38.05m	0.60					37.50m やシルト質部分 $\angle 55^{\circ}$
-38.89m	38.89m	0.60					38.89m 附近 酸化鉄塊 $\angle 65^{\circ}$
-39.90m	39.90m	0.60					39.90m やシルト質部分 $\angle 50^{\circ}$ 4. 横 15mm
38							
-36.00m	36.90m	0.60					36.00~36.90m 岩は白目らかに擾乱状 (破碎層) を呈す。かく深めやシルト質 部分とせきでない部分が混在してあり。 また柱状部分が含水している。このことから、 40.33m 附近まで 略く擾乱したと見え る。
-40.20m	40.32m	0.60					40.20~40.32m 砂層 $\angle 60^{\circ}$ 0~10~20mm 40.55m 附近 $\angle 50^{\circ}$ 41.15m 附近 $\angle 40^{\circ}$ 41.90m 附近 $\angle 65^{\circ}$
-41.20m	41.20m	0.60					43.20m~43.35m $\angle 60^{\circ}$ 43.75m~44.00m $\angle 60^{\circ}$ 55°, 50° 砂層 42.80m 酸化鉄塊 $\angle 60^{\circ}$ 20mm
45	-41.548	45.15	0.75				上部境界 $\angle 60^{\circ}$, 下部境界 $\angle 60^{\circ}$
-41.848	45.45	0.90					45.60~46.00m 粘粒分をすくに混入する ラミナ層 $\angle 65^{\circ}$
46							46.00m~46.30m シルト質細砂~同微細砂
47							$\angle 65^{\circ}$ 47.50m ラミナ $\angle 65^{\circ}$
48							48.15m ラミナ $\angle 65^{\circ}$
49							
50							

標 尺 m	標 高 度 m	深 度 m	層 厚 m	孔 内 水 位 m	柱 状 図	色 調	地 質	記 事
								観 察
51						明褐色 (2.5Y 6/1) ↓ 黄褐色 (2.5Y 5/6)		50.39m および 50.52m にそれぞれシルト質 1~2mm < 5° あり。この期のラミナ L65° を切って いる。ラミナはシルト、黒褐色ラミナ (15mm, マンガ ン) よりなる。 51.25m 付近 51.90m 附近 中 4~5m 鉄錆色 51.50m 厚さ 20mm 附近のマンガン濃集部 L65° 黒褐色 (10YR 5/2)
52	-48.998	52.60	7.15			オリーブ (5Y 5/6) ↓ オリーブ褐色 (2.5Y 4/6)	微細砂	境界漸移的
53						黄褐色 (2.5Y 5/6)		
54	-51.048	54.65	2.05			細砂	下部境界漸移的、中砂様々多くなる。	
55	-51.700	55.31	0.66			中へ細砂	下部細礫を混じるようになる。 境界漸移的であるか、細砂の本層薄層 あり L60° を示す。	
56						明褐色 (7.5 YR 5/8)		
57	-53.848	57.45	2.12			細礫混り		
	-54.198	57.80	0.35			中へ細砂		
58	-54.598	58.20	0.40			砂 硬	硬い砂多々 ϕ_{max} 65mm +、下部境界 L70°	
						細礫混り中へ細砂	下部境界漸移	
59						黄褐色 (10YR 5/8)	59.40~59.65m 不規則に酸化鉄質に汚染 59.80~60.20m 酸化鉄ラミナ発達 60.20m 鉄錆 L60°	
60						及オリーブ (5Y 4/2)	61.20~61.90m 間 シルトのラミナ みらか 61.20m L65°, 61.90m L70~80°	
61						黄褐色 (2.5Y 5/6)	61.15m 付近 酸化鉄色からオリーブ灰へ 色調変化 L20°	
62	-59.248	62.85	1.65			灰 (10Y 5/1)	下部境界石英質シルト、シルト質砂を挟む L50°	
63	-59.998	63.10	0.25			暗オリーブ (5Y 4/4)	かなり緻つた(硬い)泥岩 下部境界 L60° 酸化鉄(鉄錆)	
64						褐 (7.5YR 4/6)	63.25m 付近までかなり細粒	
65						褐 (10YR 4/6)	65.10m 酸化鉄 L60°	
66						↓		
67						褐 (7.5~10YR 4/4)	67.20~67.65m にかけて熱水噴出のシルト質 部分が見らる。L80°	
68						↓	67.75m と 67.90m に薄いラミナ 状のもの 見らる。それそれ L50° を示す。	
69						褐 (25YR 4/6)	67.9m 以上深め 65mm で 塗剝	
70						↓	68.50~69.60m 間 シルト質の熱水噴出物 みらか	
71						↓	69.60m 付近 シルト質ハラチ状のものか、並び L70° 69.55m 酸化鉄 L80°	
72						↓	70.10m 付近 シルト質ハラチ状のものか、並び L70° 70.30m から 70.70m にかけてつぶ鉄錆 1~3mm	
73						↓	70.80m 付近にやや粗粒な部分あり L70° 71.25~71.70m 間 シルト質がレンズ状地所 にはみらかる。いすこも水平に直い。	
						↓	72.35~72.40m, 73.57m 付近 酸化沈没物 か、細礫状に分布する。いすこも水平	
						↓	72.98m 鉄錆 ϕ 4mm L45°	

宿屋No. 4(4の4)

GL=3.602m

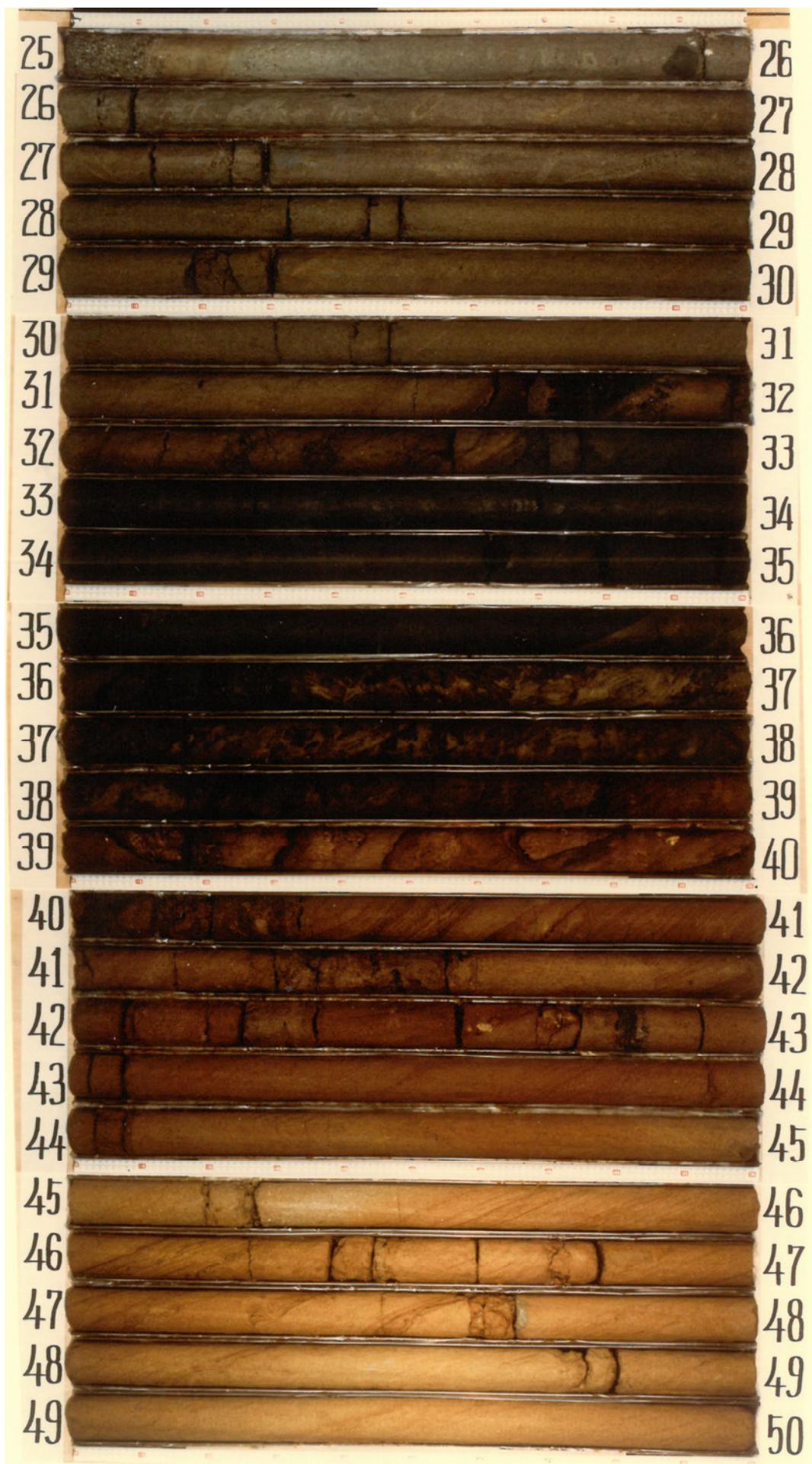
L=90.0m

74						
75						
76				禍 (75~10YR 4/6)		
77	-74.098	77.70	14.60	オリーブ禍 (25Y 4/6)	細 砂	75.08 ~ 75.15m 間や半透光の細互層状に入る。
78	-74.948	78.55	0.85	綠 灰 (10Y 5/6)	シルト質 細 砂	77.50m 酸化鉄沈澱 $10\text{mm} \pm 70^\circ$ 下部色調変化 50° 下部境界 50°
	-75.198	78.80	0.25	鐵灰 (75G Y 5/6)	破碎状 泥岩	上部はシルト混り細石砂よりなり、シルト質砂との境界 55° 、下部はシルトより細石砂を挟む。 60°
79						断層 石灰岩 単層 中央粘土部 60°
80						断層の上盤 60° 、下盤 75° を示すか
81						落の方向は逆である。中央粘土部から主方向と考えられる。
82				暗オリーブ灰 (25G Y 3/1)		79.80 ~ 80.25m 顯著の割れ目(ほとんどの握削時もしくは握削り後のもの)に鏡用みらいすすみもST. 垂直。
83						かすかなラミナ見らるるがかなり急である。 82.00m 90° 、82.40m 80°
84	-81.298	82.90	6.10	オリーブ黒 (10Y 3/2)	泥 岩	82.70 ~ 83.07m 付近 シルト質 泥岩
85	-82.098	85.70	0.80	オリーブ黒 (75Y 3/1)	シルト質 細石砂	コア表面は握削時にこねられていために若干軟かい。内部はくすくボロボロになる泥岩である。
86				オリーブ黒 (75Y 3/1)		84.20 ~ 84.90m 細粒の挟み層間に亘り、腐植物の挟みも同じ。
87						下部境界 78° シャープな断層。
88						腐植物ぬかるに限る。 55°
89				暗オリーブ灰 (25G Y 3/1)		下部細石砂となる。細石砂との境界附近 45°
90	-86.398	90.00	4.30		泥 岩	上部境界 50°
						86.80m 付近まで砂混りシルトで 86.45m 付近までに泥岩に漸移する。87.00m 付近まで所々に砂のハッチがみられる。
						86.20m 付近砂のハッチ 85° ~ 65°
						86.00 ~ 86.40m 腐植物の細片を混入。
						87.30 ~ 89.45m この間の泥岩ボロボロしている。(オリーブ黒 10Y 3/2)

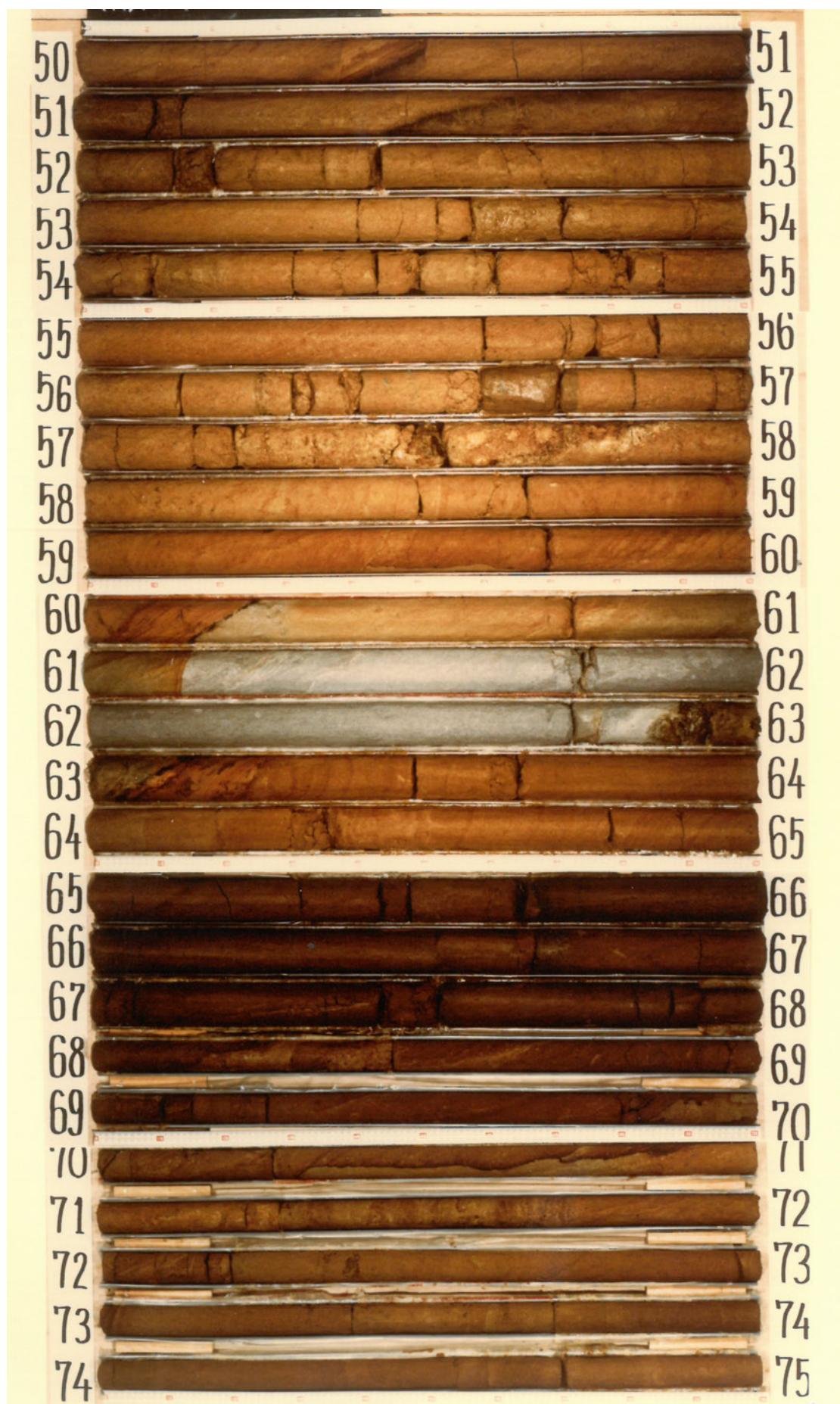
宿屋No.4 (0.00~25.00m)



宿屋No.4 (25.00~50.00m)



宿屋No.4 (50.00~75.00m)



宿屋No.4 (75.00~90.00m)



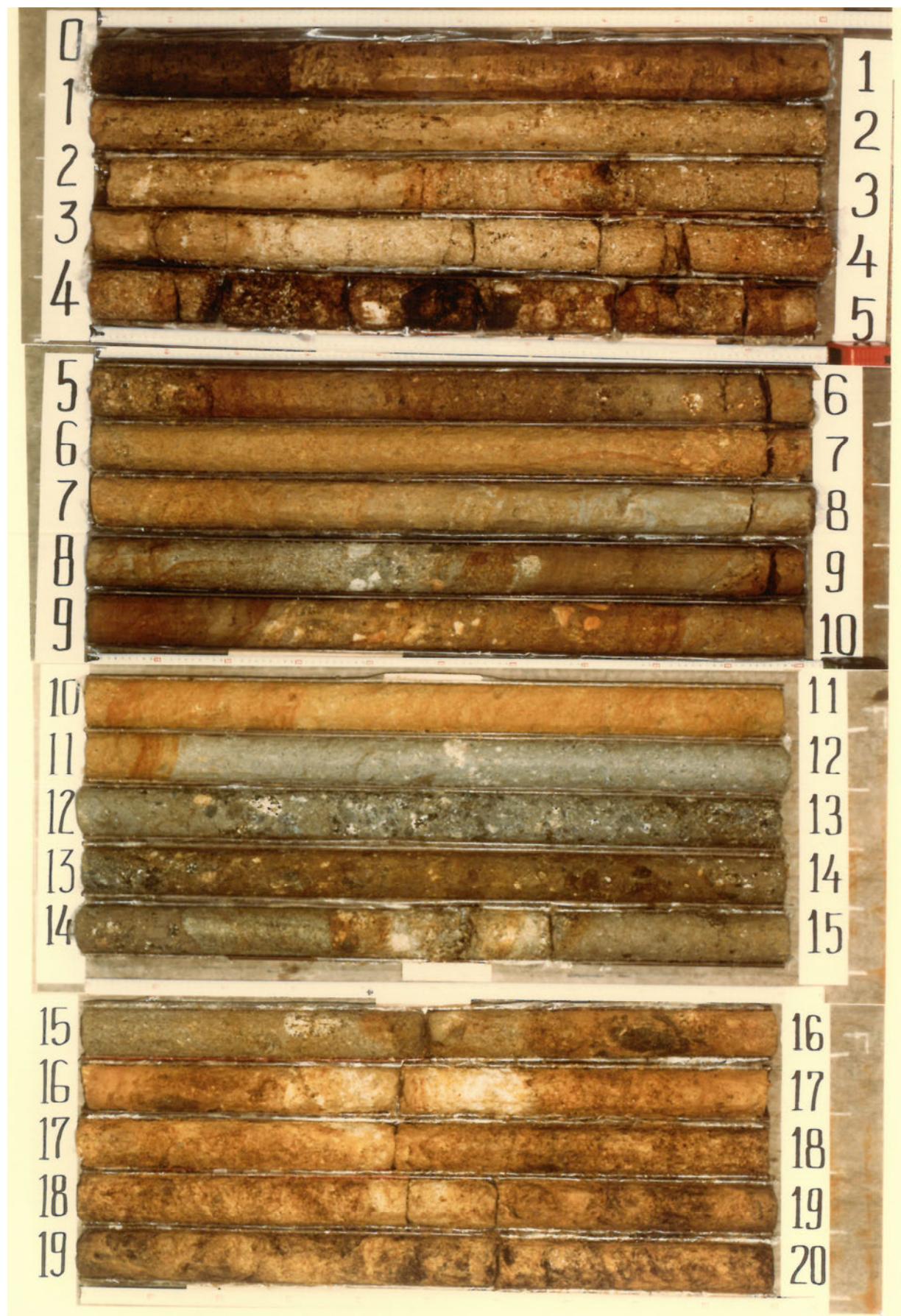
※ 標高値の補正なし (掘進角75°)

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	層 厚 m	孔 内 水 位 m	柱 状 図	色 調	地 質	記 事	
								観 察	
1	6.215	0.28	0.28			オリーブ(25Y 5/6)	砂混りシルト	表土	
	5.565	0.93	0.65			暗褐色 (10YR 5/8)	砂混りシルト、粘土	粘土シルトか細互層状、縞状になつてゐる。L 10°	
	6.195	1.30	0.37	-1.80m		暗褐色シルト		雲母片多く、含水高くべたべたした感じ	
	4.295	1.70	0.40			(2.5Y 6/4)	砂混りシルト、粘土	花崗岩のマサ状小礫を含む 1.30~1.70風化長石粒立つ	
2	4.095	2.40	0.70			砂混り砂質シルト			
3								上部境界 L 5° 土 境界は漸移的	
4	2.295	4.20	1.80						
5	1.395	5.15	0.95					礫多く、大きい。φ 80mm 以上の ものも見らる。花崗岩を主とする。 4.45~4.60m 附近に細砂あり。 No. 1, No. 2 ほどの深部に見らる細 砂と似てゐる。砂質層の基盤の 中~粗砂とはちがつて、とり込まれ た感じかす。	
6								小礫点在、色調は漸移 下部境界 L 25°~20°	
7	-1.055	7.35	2.40						
8	-1.605	8.10	0.55						
	-1.805	8.30	0.20						
	-2.105	8.60	0.30						
9	-2.605	9.10	0.50						
	-3.205	9.70	0.60						
10									
11									
12	-5.605	12.10	2.40						
13	-6.555	13.05	0.95						
14	-7.655	14.15	1.10						
	-7.855	14.35	0.20						
15	-8.755	15.25	0.90						
16	-10.005	16.50	1.25						
17	-11.005	17.50	1.00						
18									
19									
20	-13.505	20.00	2.50						

※ 標高値を補正した値を記入(掘進角75°)

標 尺 m	※ 標 高 m	深 度 m	層 厚 m	孔 内 水 位 m	柱 状 図	色 調	地 質	記 事	
								観 察	
1	6.225	0.28	0.28			オリーブ褐色(25Y 4/6) 黄褐色 (10YR 5/8)	砂混りシルト、粘土	表土	
	5.597	0.93	0.65			にじみ黄 (2.5Y 6/4)	礫混り砂質シルト	粘土とシルトが細互層状、縞状になっている。L 10°。	
	5.239	1.30	0.37			礫混りシルト、粘土		雲母片多く、含水高くべたべたした感じ	
2	4.853	1.70	0.40			礫混り砂質シルト		花崗岩のマサ状、小石礫を含む 1.30~1.70風化長石粒目立つ	
	4.177	2.40	0.70			オリーブ黄 (5Y 6/4)		上部境界 L 5° 土 境界は漸移的	
3						淡黄 (5Y 8/3)	礫混り中へ粗砂		
4	2.438	4.20	1.80			(砂部分) 暗オリーブ (7.5Y 4/3)	石町 磕層	礫多く、大きい、φ 80mm 以上のものも見られる。花崗岩を主とする。 4.45~4.60m 付近に紐目立り。 No.1, No.2 孔の3深部に見られる細 砂と似ている。石町 磕層の基層の 中へ粗砂とはちがつて、ヒリ込まれ た感じがする。	
5	1.520	5.15	0.95			黄褐色 (10YR 5/6)		小礫点在。色調は漸移 下部境界 L 25°~ 20°	
6						黄 (5Y 7/6)			
7	-0.798	7.55	2.40			にじみ黄 (2.5Y 6/3)	中 ~ 粗砂		
8	-1.329	8.10	0.55			オリーブ黄(5Y 6/9) 明りい灰色(5G 7/3)	細砂シルト互層	砂層	
	-1.522	8.30	0.20			灰白(10Y 7/2)	中 ~ 粗砂		
	-1.812	8.60	0.30			明りい灰色(5G 7/3)	礫(中 ~ 粗砂)	最大(φ 100mm)花崗岩風化山岩くさり礫集中	
9	-2.295	9.10	0.50			オリーブ (5Y 5/4)	細砂	均質な砂	
	-2.874	9.70	0.60			オリーブ(5Y 5/4)	礫(中 ~ 粗砂)	最大φ 60mm 花崗岩、流紋岩礫多い。	
10						明黄褐色 (2.5Y 6/6)		10.00m 付近 L 20° 上部が酸化鉄で 汚染されている。境界を層理と見た	
11						緑灰 (7.5G 5/1)		11.00m 色調境界 L 20° 11.50m 付近 φ 40mm 土の石礫あり 下部境界は漸移的で下部に行くに したがつて礫多くなる。	
12	-5.193	12.10	2.40			暗緑灰 (5G 4/1)	礫混り中 ~ 粗砂	最大φ 30mm, 10 ~ 20mm 程度のもの多い 黒色小角礫状、軟質物を含む (5mm)	
13	-6.110	13.05	0.95			暗オリーブ (5Y 4/4)	礫混り、砂混り	やゝしまつてはいるが、不均質であり、水中 堆積物の感じがしない。	
14	-7.173	14.15	1.10			カリ灰(25G 7/3)	シルト	花崗岩の大礫	
	-7.366	14.35	0.20			オリーブ灰 (10Y 5/2)	中 ~ 粗砂		
15	-8.235	15.25	0.90			黄 (2.5Y 7/8)	礫混り中 ~ 粗砂	長石粒小さい	
16	-9.443	16.50	1.25			黄 ~ 明黄褐色 (2.5Y 7/8 ~ 6/8)	粗砂	マサ状であるが、異質礫が混つて いることからマサヒは区別される。 15.80×片麻岩状/偏平石礫 150×40mm	
17	-10.409	17.50	1.00			黄褐色 (2.5Y 5/6)		中砂混り、色調が上位と同じで マサヒ区別した。	
18									
19									
20	-12.824	20.00	2.50			花崗岩		かなりきたたたい風化花崗岩 石英粒 は目立つか、雲母ははつきりしない。	

宿屋No.6 (0.00~20.00m)



宿屋No. 7(2の1)

GL=6.356m

L=32.58m*

※32.00~32.58mは

余掘り区間

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	層 厚 m	孔 内 水 位 m	柱 状 図	色 調	地 質	記 事
								観 察
	6.156	0.20	0.20			にほい黄褐色 (10YR 4/2) 褐～黄褐色 (10YR 4/2)	シルト	表土 0.20~0.30m ϕ 10mm 小角礫を含む
1	5.126	1.23	1.03				砂混リシルト	中層程度めずかに含む
2				-2.5m ▽		灰 黄 (25Y 4/2)		風化した長石斑在す 不規則に酸化鉄に汚染されてる。 部分的に砂の多いところあり。 細礫点在す 下部砂混リシルトを挟む
3								
4	2.986 2.324 2.106	3.87 2.03 2.25	2.64 0.16 0.22			泥質岩面へシルト シルト混り石質	削、シルト塊累 $L30^{\circ}$ 上部境界 $L30^{\circ}$ 下部境界遷移	
5								
6	0.956	4.90	1.65			シルト混り 細～中～粗砂		不均質、下部に粗砂多い
7	-0.374	6.73	0.83			シルト混り 砂 磐		磐 max ϕ 65mm 以上 硬いもの多い
7	-1.094	7.95	0.72			磐混り シルト質砂		磐 max ϕ 15~40mm
8	-1.694	8.05	0.60			砂質シルト、シルト質砂 細砂互層		砂中～粗 不均質 互層境界 $L10^{\circ}$
8	-2.074	8.43	0.38			砂混リシルト		最下部 磐混リシルト質砂 色調変化部 $L20^{\circ}$
9								
10	-3.834	10.19	1.76					
11	-4.594	10.95	0.76					
12	-5.444	11.82	0.87					
12	-5.854	12.21	0.39					
13	-6.764	13.12	0.91					
14								
15								
16								
17	-10.394 -10.494	16.75 16.85	2.63 0.10					
18	-11.964	18.32	1.47					
19								
20	-13.594	19.95	1.63					

宿屋No. 7(2の2)

GL=6. 356m

※32. 00~32. 58mは
L=32. 58m※ 余掘り区間

20-						
21-	-15.444	21.80	1.85			
22-	-15.974	22.33	0.53			
	-16.244	22.60	0.27			
23-						
24-	-18.394	24.75	2.15			
25-	-19.544	25.90	1.15			
26-	-19.894	26.25	0.35			
27-	-20.794	27.15	0.90			
	-21.204	27.56	0.41			
28-	-21.644	28.00	0.44			
	-22.264	28.62	0.62			
29-	-22.644	29.00	0.45			
	-22.994	29.35	0.35			
	-23.494	29.85	0.50			
30-						
31-						
32-	-26.224	32.58	2.73			
33-						

宿屋No.7 (0.00~25.00m)



宿屋No.7 (25.00~32.00m)



※32. 00~32. 58mは余掘り区間のためコア写真なし

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	層 厚 m	孔 内 水 位 m	柱 状 図	色 調	地 質	記 事
								観 察
1	10.837	1.35	1.35			暗褐 (10YR 3/4)	砂混リシルト	表土、崩積土
2				-3.6m		黄褐 (10YR 5/8)		風化した板石多い、 細礫点在す、 2.5m以深岩母の微細片多い。
3	8.787	3.40	2.05	▽		に小さい黄 (25Y 6/4)	砂混リシルト	
4	5.937	6.75	3.95			綠灰 (5G 5/1)		4.87~4.90m、5.77~5.79mあまり 5.90m付近の腐植物あり、 細礫点在す、
5						暗綠灰 (10GY 4/1)		
6						暗綠灰 (5G 4/1)	細砂~シルト	
7	4.387	7.80	1.05			褐(25YR 9/4)		6.95m付近最大の40mm程度の 礫点在す。
8						黄褐(10YR 5/8)	砂混リシルト	
9	2.837	9.35	1.55			褐(10YR 5/4)	砂質シルト	無水層部分で2cm程度のオーダーでシルト部とシルト部が交互に在る。
10						明黄褐 (2.5Y 6/8)		
11						黄褐 (10YR 5/8)	砂質シルト	最大60mm程度のくさり板石へ 他に比較的硬い小角砾を含む 11.50m以深は高礫物混りと 思われる。
12	0.237	11.95	2.60		+++ +++ +++ +++ +++ +++ +++ +++	褐灰 (10YR 4/1)	シルト質砂	
13								
14	-2.16.7	14.35	2.40			花崗岩		斑晶中へ程度の風化花 崗岩、もまれてからず、比較 的きれい。

宿屋No.8 (0.00～15.00m)



※ コアが短柱状の区間は標準貫入試験実施による

宿屋No. 9(1の1)

GL=17.377m

L=10.10m

宿屋No.9 (0.00~10 .00m)



※ コアが短柱状の区間は標準貫入試験実施による

地層名	色調	硬さ	風化	変質	RQD	最大コア長	破碎度	記載
砂質シルト	10YR 3/3							0.00~1.62m 砂質シルト 褐色を呈する砂質シルト 全体に石英粒子、風化した長石粒子や雲母粒子を中粒砂状に含むシルト
	10YR 4/3							1.62~2.65m 砂質シルト 黄灰色を呈する砂質シルト 粗粒砂→細礫状の石英、長石の粒子が2~3%点在する。 まれにφ15mmの風化変質した花崗閃緑岩礫を含む。
	10YR 3/2							2.65~3.05m シルト 黄灰色を呈するシルト 少量の長石を斑点状に含む。
	10YR 4/3							3.05~3.15m 砂質シルト 黄灰色を呈する砂質シルト 上位層と下位層の漸移部
	10YR 3/3							3.15~3.40m 中粒砂 黄灰色を呈するアルコース質の中粒砂 3.30~3.40m、酸化し黄褐色を呈する。
	2.5Y 6/6							3.40~4.05m 砂質シルト 黄灰色~青緑色~緑色を呈する砂質シルト 長石が斑点状に点在する。 3.83m $\angle 65^\circ$ の割れ目に沿って酸化褐色化する。厚さ2mm
	2.5Y 6/4							4.05~5.25m 碳混じり砂質シルト 緑灰色を呈する砂質シルト φ2~10mmの風化した花崗閃緑岩の角~亜角礫を2~3%含む。 全体に長石が斑点状に点在する。
	2.5Y 6/3							5.25~6.05m 中粒砂 オリーブ灰色を呈する中粒砂 φ1~2mmの風化変質した長石が斑点状に点在する。
	2.5Y 6/4							6.05~8.25m 碳混じり粗粒砂 黄灰色~灰色を呈する碳混じり粗粒砂 φ2~40mmの花崗閃緑岩の亜角~亜円礫を3~4%含む。
	10Y 6/4							6.05~6.34m 酸化し黄灰色を呈する。 6.34~7.25m 腐植物多く灰色を呈する。 6.60~6.70m 特に腐植物が密集する。 7.25~8.25m 緑灰色を呈する。 全体にφ1~2mmの風化変質した長石が斑点状に点在する。
碳混じり粗粒砂	10Y 6/1							8.25~8.60m 粗粒砂 黄灰色~灰白色を呈するアルコース質の粗粒砂 長石・石英粒子主体 8.60~8.75m 中粒~細粒砂 黄灰色を呈する中粒~細粒砂 ラミナ $\angle 20^\circ$ 8.75~8.95m 碳混じり中粒~(細粒)砂 φ2~10mm花崗岩礫を2~3%含む。 正級化 8.95~9.25m 極粗粒砂 アルコース質の極粗粒砂 淘汰悪い 9.25~9.38m シルト質細粒砂 浅黄灰色~灰色を呈し、細粒砂とシルトの互層 平行ラミナ明瞭 $\angle 30^\circ$ 9.38~9.60m 粗粒砂 灰色~灰白色を呈するアルコース質粗粒砂 淘汰悪い 9.60~9.75m シルト オリーブ黄色を呈するシルト 平行ラミナ明瞭 $\angle 30^\circ$ 9.75~9.97m 中粒~粗粒砂 オリーブ黄色を呈するアルコース質中粒~粗粒砂 φ30mmの風化花崗岩礫を含む。 9.97~10.03m シルト やや砂質なシルト 下位層を削りこむ。 $\angle 20^\circ$
	2.5Y 6/4							10.03~11.35m 強風化花崗閃緑岩(弱破碎部) 明黄褐色を呈する強風化花崗閃緑岩 原岩組織は残在するが、全体が褐色化し極めて軟質 石英と正長石の一部は若干新鮮
	10Y 4/1							11.35~13.65m 風化花崗閃緑岩(弱破碎部) 明灰色~オリーブ黄色~淡緑色を呈する風化花崗閃緑岩、有色鉱物はすべて緑泥石化し、長石は 白濁、軟質化する。上部ほど風化度大きい。 全体に10cm以下の間隔で微小断層が発達する。 $\angle 20^\circ$ ~ 60° 11.78m $\angle 40^\circ$ f 厚さ2mm 緑灰色粘土 幅20~30mm 砂状の破碎部 11.88m $\angle 30^\circ$ f 幅10~15mm 砂まじり粘土状の破碎部 12.60m $\angle 80^\circ$ f 幅5~13mm 粘土まじり砂状の破碎部 幅2mmの緑灰色粘土を伴う 13.12m $\angle 60^\circ$ f 幅3~5mm 緑色粘土 13.18m $\angle 60^\circ$ f 幅5mm 緑灰色粘土 13.62mと13.64m $\angle 50^\circ$ f 幅5mm 緑灰色粘土(2条) 極軟 13.65~14.97m 花崗岩(一部弱破碎部) 灰色~淡緑色を呈する花崗岩 カリ長石(ピンク)がやや多い。有色鉱物は黒雲母主体(色指数10%程度) 13.70m~14.10m $\angle 15^\circ$ ~ 30° 幅2~5mmの緑灰色粘土を多数伴う
	2.5Y 5/1							14.21m $\angle 45^\circ$ f 幅2~5mmの緑灰色粘土 極軟 14.59m $\angle 30^\circ$ f 幅3~5mmの緑灰色粘土 極軟 14.97~15.01m 断層破碎部 オリーブ灰色~灰色を呈する粘土(極軟) φ0.5mmの石英粒子を1~2%程度含む。
	10GY 6/1							14.97m $\angle 40^\circ$
	2.5GY 6/4							
	10GY 6/1							
	2.5Y 5/3							
	7.5YR 5/6							
	10YR 6/6							
粗粒砂	2.5Y 6/4							10.03~11.35m 強風化花崗閃緑岩(弱破碎部) 明黄褐色を呈する強風化花崗閃緑岩 原岩組織は残在するが、全体が褐色化し極めて軟質 石英と正長石の一部は若干新鮮
	10Y 4/1							11.35~13.65m 風化花崗閃緑岩(弱破碎部) 明灰色~オリーブ黄色~淡緑色を呈する風化花崗閃緑岩、有色鉱物はすべて緑泥石化し、長石は 白濁、軟質化する。上部ほど風化度大きい。 全体に10cm以下の間隔で微小断層が発達する。 $\angle 20^\circ$ ~ 60° 11.78m $\angle 40^\circ$ f 厚さ2mm 緑灰色粘土 幅20~30mm 砂状の破碎部 11.88m $\angle 30^\circ$ f 幅10~15mm 砂まじり粘土状の破碎部 12.60m $\angle 80^\circ$ f 幅5~13mm 粘土まじり砂状の破碎部 幅2mmの緑灰色粘土を伴う 13.12m $\angle 60^\circ$ f 幅3~5mm 緑色粘土 13.18m $\angle 60^\circ$ f 幅5mm 緑灰色粘土 13.62mと13.64m $\angle 50^\circ$ f 幅5mm 緑灰色粘土(2条) 極軟 13.65~14.97m 花崗岩(一部弱破碎部) 灰色~淡緑色を呈する花崗岩 カリ長石(ピンク)がやや多い。有色鉱物は黒雲母主体(色指数10%程度) 13.70m~14.10m $\angle 15^\circ$ ~ 30° 幅2~5mmの緑灰色粘土を多数伴う
	2.5Y 7/2							
	2.5Y 7/4							
	5Y 6/3							
	5Y 6/2							
	5Y 6/3							
	5Y 6/3							
	5Y 6/4							
	10YR 6/4							
	シルト							
強風化花崗閃緑岩(弱破碎部)	2.5Y 6/6							10.03~11.35m 強風化花崗閃緑岩(弱破碎部) 明黄褐色を呈する強風化花崗閃緑岩 原岩組織は残在するが、全体が褐色化し極めて軟質 石英と正長石の一部は若干新鮮
	5GY 7/1							11.35~13.65m 風化花崗閃緑岩(弱破碎部) 明灰色~オリーブ黄色~淡緑色を呈する風化花崗閃緑岩、有色鉱物はすべて緑泥石化し、長石は 白濁、軟質化する。上部ほど風化度大きい。 全体に10cm以下の間隔で微小断層が発達する。 $\angle 20^\circ$ ~ 60° 11.78m $\angle 40^\circ$ f 厚さ2mm 緑灰色粘土 幅20~30mm 砂状の破碎部 11.88m $\angle 30^\circ$ f 幅10~15mm 砂まじり粘土状の破碎部 12.60m $\angle 80^\circ$ f 幅5~13mm 粘土まじり砂状の破碎部 幅2mmの緑灰色粘土を伴う 13.12m $\angle 60^\circ$ f 幅3~5mm 緑色粘土 13.18m $\angle 60^\circ$ f 幅5mm 緑灰色粘土 13.62mと13.64m $\angle 50^\circ$ f 幅5mm 緑灰色粘土(2条) 極軟 13.65~14.97m 花崗岩(一部弱破碎部) 灰色~淡緑色を呈する花崗岩 カリ長石(ピンク)がやや多い。有色鉱物は黒雲母主体(色指数10%程度) 13.70m~14.10m $\angle 15^\circ$ ~ 30° 幅2~5mmの緑灰色粘土を多数伴う
	5Y 6/3							
	2.5Y 6/4							
	7.5Y 6/3							
	5GY 6/1							
	10YR 7/2							
	7.5Y 7/3							
	E							
	δ							
	4							
花崗岩(一部弱破碎部)	5GY 6/1							10.03~11.35m 強風化花崗閃緑岩(弱破碎部) 明黄褐色を呈する強風化花崗閃緑岩 原岩組織は残在するが、全体が褐色化し極めて軟質 石英と正長石の一部は若干新鮮
	90							11.35~13.65m 風化花崗閃緑岩(弱破碎部) 明灰色~オリーブ黄色~淡緑色を呈する風化花崗閃緑岩、有色鉱物はすべて緑泥石化し、長石は 白濁、軟質化する。上部ほど風化度大きい。 全体に10cm以下の間隔で微小断層が発達する。 $\angle 20^\circ$ ~ 60° 11.78m $\angle 40^\circ$ f 厚さ2mm 緑灰色粘土 幅20~30mm 砂状の破碎部 11.88m $\angle 30^\circ$ f 幅10~15mm 砂まじり粘土状の破碎部 12.60m $\angle 80^\circ$ f 幅5~13mm 粘土まじり砂状の破碎部 幅2mmの緑灰色粘土を伴う 13.12m $\angle 60^\circ$ f 幅3~5mm 緑色粘土 13.18m $\angle 60^\circ$ f 幅5mm 緑灰色粘土 13.62mと13.64m $\angle 50^\circ$ f 幅5mm 緑灰色粘土(2条) 極軟 13.65~14.97m 花崗岩(一部弱破碎部) 灰色~淡緑色を呈する花崗岩 カリ長石(ピンク)がやや多い。有色鉱物は黒雲母主体(色指数10%程度) 13.70m~14.10m $\angle 15^\circ$ ~ 30° 幅2~5mmの緑灰色粘土を多数伴う
	37							
	II~III							
	V							
	14.97~15.01m							
	断層破碎部							
	オリーブ灰色~灰色を呈する粘土(極軟)							
	φ0.5mmの石英粒子を1~2%程度含む。							
	14.97m $\angle 40^\circ$							

柱状図の凡例

* 色調は「標準土色帖」に元づいて記載した。

* 硬さ、風化、変質の区分はJACICに従った。(岩盤にのみ適用した)

* 破碎度の区分は松田・岡田(1977)による。

風化区分

記号	風化の程度
α	非常に新鮮である。造岩鉱物の変質はまったくない。
β	新鮮である。有色鉱物の周辺には赤褐色化がある。長石の変質はない。
γ	弱風化している。有色鉱物の酸化汚染がある。長石の部分的な変質(白色化)がある。
δ	風化している。有色鉱物が黃金色あるいは周辺が褐色粘土化している。長石の大部分が変質している。
ε	強風化している。石英および一部の長石を除きほとんど変質し原岩組織が失われている。

注、C~(D)は、Cを主体とするが、部分的にDを含む場合を示す。

地層名	色調	硬さ	風化	変質	RQD	最大コア長	破碎度	記載
断層破碎部	7.5Y 7/3	E	δ	4			V	(15.00) ~ 15.01m 断層破碎部
花崗岩 (弱破碎部 ~ 断層破碎部)	10YR 6/3 ~ (5Y 6/3 まじる)	C~(D)	γ	2	10	10	III~IV	15.01~15.90m 花崗岩 (弱破碎部~断層破碎部) 淡橙灰色~灰色を呈する花崗岩 10cm 以下の間隔で∠10~30° 幅50~70mm の断層粘土 (淡黄灰色, 軟質) を多数伴う。
断層破碎部	5Y 7/3	E	γ	4			V	15.90~19.53m 断層破碎部
断層破碎部	10Y 7/2	D	β	3	0	0	V	15.90m ∠40° 幅100mm 極軟質な黄灰色細礫混じり粘土 16.10m ∠60° 幅20~30mm 極軟質な淡緑灰色粘土 16.10~16.48m 軟質な角礫混じり粘土 下端∠50° 16.48~18.83m 粘土混じり角礫状を呈する花崗岩の断層破碎部 全体に緑灰色を呈する
花崗岩 (断層破碎部)	10GY 7/1	C~(D)	β	3	0	0	IV	18.83m ∠30° 幅2~3mm 緑灰色粘土 18.83~19.40m 細礫混じり粘土状を呈する花崗岩の断層破碎部 (粘土分60~80%)
花崗岩 (断層破碎部)	7.5GY 7/1	D	β	3	0	0	IV	19.40~19.53m 全体に灰色を呈する葉片状粘土 ∠20~25°
断層破碎部	N 5'	E	β	3	0	0	V	19.53~21.18m 塩基性捕獲岩 (弱破碎部) 暗灰色を呈する細片状の塩基性捕獲岩
塩基性捕獲岩 (弱破碎部)	N 3'	C~(D)	β	1	0	0	III	19.88m ∠10° 幅60mm 岩片混じり粘土状 19.88~20.30m 細片状破碎 21.10~21.18m ∠30~40° 砂状~細片状破碎
花崗岩 (弱破碎部)	5GY 7/1 5G 4/1	C	β	1	24	24	III	21.18~21.63m 花崗岩 (弱破碎部) 花崗岩 (色指数10%) 但し、21.45~21.60m は有色鉱物密集し緑色化
断層破碎部	7.5GY 8/1	E	β	4			V	21.63~21.80m 断層破碎部 灰白色を呈する極軟質な粘土 上端∠30° 下端∠20° 砂状物を2~3%含む
断層破碎部	2.5GY 8/1						V	21.80~23.30m 断層破碎部
断層破碎部	5GY 7/1	D~(E)	β	4	0	0	V	明緑灰色~灰白色を呈し、著しく粘土化する花崗岩 ほとんど原石組織は失われている 石英、長石の粒子が15%程度残る。
断層破碎部	2.5GY 8/1						V	23.30~23.58m 断層破碎部 上、下位層へ漸移し、明瞭な断層面が判別できない。
断層破碎部	7.5GY 7/1	E	β	4	0	0	V	23.58~24.08m 断層破碎部 21.80~23.30m と同質
断層破碎部	2.5GY 7/1	D~(E)	β	4			V	24.08~24.25m 断層破碎部 23.30~23.58m と同質
断層破碎部	7.5GY 7/1	E	β	4			V	24.25~24.33m 断層破碎部
断層破碎部	10GY 7/1	E	β	4			V	緑灰色を呈する細粒砂混じり粘土 24.33m 下位層との境界明瞭 ∠50°
花崗岩 (一部弱破碎部)	5GY 8/1	C	β	1	23	13	V	24.33~24.88m 花崗岩 (一部弱破碎部) ピンク色のカリ長石が特長的な花崗岩 (色指数10%程度)
断層破碎部	10Y 6/1	E	β	3			V	24.63~24.66m 幅30mm 粘土分が混じり軟質化した花崗岩 破碎度III
花崗岩 (一部弱破碎部)	5GY 7/1						V	24.66~24.68m ∠30° 幅20mm 角礫混じり粘土状
断層破碎部	2.5GY 8/1						V	24.88~25.00m 断層破碎部
断層破碎部	7.5GY 7/1	E	β	4	0	0	V	24.88m ∠40° 角礫を15~20%含む礫混じり粘土 角礫も軟質化
断層破碎部	2.5GY 7/1	D~(E)	β	4			V	25.00~26.62m 花崗岩 (弱破碎部~断層破碎部) ピンク色のカリ長石が特長的である。(色指数15~20%程度)
断層破碎部	7.5GY 7/1	E	β	4			V	25.00~26.62m やや小断層多い。
断層破碎部	10GY 7/1	E	β	4			V	26.62~27.02m 花崗岩 (断層破碎部) 粘土混じり角礫状 角礫も軟質化
花崗岩 (一部弱破碎部)	5GY 8/1	C	β	1			V	27.02~28.65m 花崗岩 (断層破碎部) 粘土分を50%以上含む断層破碎部
断層破碎部	10Y 6/1	E	β	3			V	27.22m ∠10° 幅10mm 緑灰色粘土
花崗岩 (断層破碎部)	7.5Y 7/2	D~(E)	β	3			IV	27.34~27.45m 破碎状花崗岩 ∠5~10° 破碎度III
花崗岩 (断層破碎部)	7.5Y 7/3	E	β	3	0	0	IV	27.80~27.88m ∠10° 幅40mm の極軟質な緑灰色粘土
花崗岩 (断層破碎部)	10Y 6/1	D~(E)	β	3			IV~(V)	27.88~28.15m 破碎状花崗岩 岩片主体 粘土混じり
花崗岩 (断層破碎部)	7.5Y 7/2	E	β	3			IV	28.65~29.40m スライム 上、下位の断層破碎部と同質と推定される。
花崗岩 (断層破碎部)	7.5Y 7/2	E	β	3	0	0	IV	29.40~(30.00)m 断層破碎部
花崗岩 (断層破碎部)	5GY 7/1	E	β	4	0	0	IV~(V)	29.59~29.80m 断層破碎部 ・29.59m ∠10° 幅4~6mm 暗褐色粘土 (泥岩起源?)
花崗岩 (断層破碎部)	2.5GY 6/1 〔スライム〕 〔花崗岩〕 ~7/1	—	—	—			—	・29.60~29.67m 暗褐色粘土 (泥岩起源?)
断層破碎部	2.5GY 7/1	E	β	4	0	0	IV~V (推定)	・29.67~29.69m 暗褐色粘土 ・29.69~29.73m 暗褐色粘土 (泥岩起源?)
断層破碎部	5RP 5/1	E	β	3~(4)			V	・29.73~29.80m 灰色粘土 ∠50°
断層破碎部	5GY 6/1						V~V —	29.80~29.89m 破碎した軟質な花崗岩 下端∠40° 幅4mm の灰色粘土
断層破碎部	5GY 6/1						V	29.89~29.94m ∠30° 暗緑灰色~灰白色を呈する粘土
断層破碎部	5GY 6/1						V~V —	29.94~(30.00m) 青灰色を呈する断層破碎部 原岩判別は困難

変質区分

記号	変質区分	変質状況
1	非変質	肉眼的に変質鉱物の存在が認められない。
2	弱変質	原岩組織を完全に残し、変質程度 (脱色) が低いもの。あるいは非変質部の割合が高いもの (肉眼で50%以上)。
3	中変質	肉眼で変質が進んでいると判定できるが、原岩組織を明らかに残し、原岩判定が容易なもの。または非変質部を残すものおよび網状変質部。
4	強変質	構成鉱物、岩片等が変質鉱物で完全に置換され、原岩組織を全く~殆ど残さないもの。

断層破碎帶の破碎度分類 (松田・岡田, 1977)

破碎度	分類の基準
V	主として (90%以上) 細粒物質 (断層作用によって生じた粒子が0.2mm 以下の物質、細砂以下) よりなる。
IV	細粒物質が面積比で粗粒物質より多量 (50~90%) である。
III	細粒物質が粗粒物質より少量である。
II	細粒物質が一般に認められない (あつても 10%以下) が、小断層、節理などの割れ目が概して 10cm 以下の間隔で生じている。
I	細粒物質がなく、割れ目が概して 10cm 以上の間隔で生じている。

		地層名	色調	硬さ	風化	変質	RQD	最大コア長	破碎度	記載
30		断層破碎部 延更性捕獲岩 (弱破碎部)	5PB 6/1 5GY 3/1 5GY 7/1 5GY 8/1	E D~(E) D~(E) E	β β β β	3~(4) 1 3 3	32	32	V III III	(30.00) ~30.18m 断層破碎部 青灰色呈し、源岩判別しにくい。礫は引き延ばされている。 30.18m ~30.41m 塩基性捕獲岩(弱破碎部) 30.18~30.41m 塩基性捕獲岩(弱破碎部) 30.41~30.44m 断層破碎部 淡緑灰色の極軟質な粘土 幅3~5mmで黒色の砂混じり粘土伴う
31.10 31.18 31.22		花崗閃綠岩 ~花崗岩 (弱破碎部)	5G 7/1~8/1	C	β	2			IV	30.44~31.10m 花崗閃綠岩~花崗岩(弱破碎部)
31.20 32.07		花崗岩 (弱破碎部)	2.5GY 4/1 7.5GY 7/1	E D~(E)	β β	3 3	0	8	III ~(IV)	30.44~30.60m 緑灰色細粒花崗閃綠岩 30.60~31.10m やや破碎された花崗岩~花崗閃綠岩 31.10~31.18m 花崗岩(弱破碎部) 灰白色を呈する花崗岩の弱破碎部 31.18~31.22m 断層破碎部 $\angle 70^\circ$ 極軟質な赤褐色粘土 幅10mm 31.22~31.80m 花崗岩(弱破碎部) 31.80~32.09m 花崗岩(弱破碎部)
33.24		花崗岩 (弱破碎部) ~断層破碎部	5GY 7/1	D~(E)	β	3	0	7	III~IV	30.60~31.10m 緑灰色を呈する花崗岩~花崗閃綠岩 31.10~31.18m 花崗岩(弱破碎部) 灰白色を呈する花崗岩の弱破碎部 31.18~31.22m 断層破碎部 $\angle 70^\circ$ 極軟質な赤褐色粘土 幅10mm 31.22~31.80m 花崗岩(弱破碎部) 31.80~32.09m 花崗岩(弱破碎部)
34.34 35.50 35.40 35.76		花崗岩~ (花崗閃綠岩) (弱破碎部)	5GY 6/1	C~(D) (一部 E含む)	β	2	0	9		32.09~33.24m 花崗岩(弱破碎部~断層破碎部) 灰白色花崗岩の弱破碎部~断層破碎部 角礫を40~50%含む疊混じり粘土状 32.09m $\angle 50^\circ$ 幅20mmの灰色粘土を伴う 全体に $\angle 10^\circ$ ~ 50° の粘土を挟む断層面を多数伴う 33.24~35.34m 花崗岩(花崗閃綠岩)(弱破碎部) ピンクのカリ長石を特長的に含む。色指数(10%以下) 有色鉱物はほとんど緑泥石化 カリ長石は ϕ 2~8mm、所々 ϕ 10mm以上 他の造岩鉱物は ϕ 2~5mm 10cm間隔以下で $\angle 10^\circ$ ~ 30° の小断層を伴う 35.17m $\angle 30^\circ$ 幅30mm 角礫を含む疊混じり粘土
35		断層破碎部 断層破碎部 断層破碎部	5GY 8/1 N 4/ 5GY 7/1	E D E	β β β	4 2 4	12	12	V IV V	35.34~35.76m 断層破碎部 35.34~35.40m 緑灰色~灰白色を呈する極軟質な粘土 $\angle 10^\circ$ ~ 15° 35.40~35.64m 暗灰色を呈する粘土混じり疊 下部30mmは粘土主体 下端 $\angle 45^\circ$ 35.64~35.76m $\angle 45^\circ$ 淡緑色(灰白色)を呈する極軟質な粘土 35.76~36.38m 花崗岩
36.36		花崗岩 (弱破碎部) ~断層破碎部	2.5GY 8/1	C	β	2			II	優白色の花崗岩(色指数5~6%) 全体に弱変質し長石は白濁化 カリ長石多い。 36.38~38.05m 花崗岩(弱破碎部~断層破碎部) 全般的に灰白色~淡緑色を呈する 角礫混じり粘土~粘土 所々に疊状の花崗岩を含む $\angle 10^\circ$ ~ 20° の剪断面を伴う 38.05~38.56m 花崗岩(弱破碎部) 優白色の花崗岩(色指数7~8%) 38.16~38.30m 暗灰色を呈する 38.56~38.72m 花崗岩(弱破碎部~断層破碎部) 38.56~38.68m 角礫混じり粘土
38.05		花崗岩 (弱破碎部) ~断層破碎部	7.5GY 7/1	(C)~ D ~(E)	β	2~(3)	10	10	III~IV	38.68~38.72m 幅30~40mmの灰白色~緑灰色を呈する軟質な粘土 上端 $\angle 45^\circ$ 下端 $\angle 30^\circ$ 38.72~39.14m 細粒閃綠岩(弱破碎部) 青緑色を呈する細粒閃綠岩主体 39.14~39.25m 花崗岩(弱破碎部) 軟質な角礫混じり粘土 39.25~39.40m 断層破碎部
38.56 38.72		花崗岩 (弱破碎部) ~断層破碎部	5GY 7/1 10GY 4/1 10GY 5/1	C D~(E)	β β	2 2~(3)	10	10	III III~IV	39.25~39.40m $\angle 10^\circ$ 幅20~15mmの灰色を呈する極軟質な粘土 39.27~39.30m $\angle 25^\circ$ ~ 30° 幅30~35mmの赤褐色を呈する極軟質な粘土 39.30~39.40m $\angle 30^\circ$ 幅100mmの淡緑色~灰白色を呈する極軟質な粘土 39.40~39.70m 花崗岩(弱破碎部)
39.71 39.75 39.79		細粒閃綠岩 (弱破碎部)	10GY 6/1	C	β	2			III	優白色の花崗岩(色指数12~13%) 全体に弱変質し長石は白濁化
39.79 39.85		花崗岩 (弱破碎部)	7.5GY 6/1 5GY 7/1	D~(E) E	β β	2~(3) 4	0	7	IV V	39.70~39.85m 花崗岩(弱破碎部) 淡緑灰色を呈する軟質な粘土混じり疊 39.85~39.95m 断層破碎部 極軟質 39.95~40.15m 断層破碎部 40.15~40.30m 断層破碎部
40		花崗岩 (断層破碎部)	5G 6/1 5G 7/1 10G 7/1	D E D	β β β	3 3 3			V V IV	$\angle 10^\circ$ ~ 20° 灰色~灰白色~緑灰色を呈する極軟質な粘土が縞状を呈する 40.30~40.60m 花崗岩(断層破碎部) 緑灰色を呈する花崗岩の破碎部 粘土混じり疊~粗粒砂状で固結する 40.60~40.72m 断層破碎部
40.60 40.72 40.83		花崗岩 (断層破碎部)	5P 6/1 5GY 8/1	E D	β β	3 3	0	0	V IV	$\angle 30^\circ$ ~ 25° 幅120mm 灰色~赤灰色を呈する極軟質な粘土 40.72~40.83m 花崗岩(断層破碎部) $\angle 10^\circ$ 角礫~岩塊混じり粘土 軟質 40.83~42.40m 花崗岩(一部弱破碎部)
42.57		花崗岩 (一部 弱破碎部)	5GY 7/1	C	β	2	25	14	II~III	優白色の花崗岩(色指数10~12%) 所々に幅10mm以下、 $\angle 10^\circ$ ~ 40° の小断層を伴う 42.40~42.57m 塩基性捕獲岩
43.70 43.80		花崗閃綠岩 (一部 弱破碎部)	5GY 6/1 7.5GY 4/1	C D	β β	1 2	40	16	II	黒色を呈する 岩片状の塩基性捕獲岩 上下位層との境界は $\angle 20^\circ$ 42.57~43.70m 花崗閃綠岩(一部弱破碎部)
43.70 43.80		花崗岩 (弱破碎部)	7.5GY 5/1	D	β	2	14	14	II~III	優白色の花崗岩(色指数15~20%) 43.70~43.80m 花崗岩(弱破碎部)
43.80		塩基性 捕獲岩	5PB 4/1 5B 5/1	B	β	1	45	33	I ~(II)	43.80~(45.00)m 塩基性捕獲岩 43.80~44.85m 塩基性捕獲岩 全體に網状の亀裂が多数発達する 44.70~44.85m 亀裂密集し破碎度IIとなる

D~(E)は、Dを主体とし一部Eを含む場合を示す。
III~(IV)は、IIIを主体とし一部IV含む場合を示す。

地層名	色調	硬さ	風化	変質	RQD	最大 コア長	破碎度	記載				
塩基性 捕獲岩	10GY 5/1	C	β	1	90	58	I	(45.00) ~47.30m 塩基性捕獲岩 緑灰色を呈する砂岩 全体に網状割れ目が多く発達する。 45.90m~45.95m $\angle 30^\circ$ 細片状の固結破碎部 47.05~47.30m 暗紫灰色を呈する 一部細片状 破碎度II				
								47.30~49.00m 花崗閃綠岩(断層破碎部) 47.30~47.57m 粘土混じり礫 下端は 30° 47.36m付近 $\phi 50$ mmの砂岩の亜角礫を含む 47.45m付近 $\angle 50$ ~ 60° 暗褐色礫を含む 47.57~47.73m 淡緑灰色を呈する極軟質な礫混じり粘土 47.73m 幅3mm 灰色粘土 $\angle 30^\circ$ 47.73~48.57m 磨混じり粘土~粘土混じり礫 上端 30° 下端 35° 48.57~49.00m 固結破碎部 粘土混じり角礫からなる				
	5GY 4/1				100	100		47.30~49.00m 花崗閃綠岩(断層破碎部) 47.30~47.57m 粘土混じり礫 下端は 30° 47.36m付近 $\phi 50$ mmの砂岩の亜角礫を含む 47.45m付近 $\angle 50$ ~ 60° 暗褐色礫を含む 47.57~47.73m 淡緑灰色を呈する極軟質な礫混じり粘土 47.73m 幅3mm 灰色粘土 $\angle 30^\circ$ 47.73~48.57m 磨混じり粘土~粘土混じり礫 上端 30° 下端 35° 48.57~49.00m 固結破碎部 粘土混じり角礫からなる				
								49.00~50.05m 花崗閃綠岩 有色鉱物多く色指数40%程度となる 比較的新鮮で堅固な花崗閃綠岩 49.50~49.75m $\angle 20$ ~ 45° の割れ目に幅1~2.5mmの酸化鉄充填する 50.05~51.60m 花崗閃綠岩				
	5PB 3/1	C	β	2	0	8	II	49.00~50.05m 花崗閃綠岩 有色鉱物はすべて緑泥石化する 色指数40~45% 50.80~51.60m 10cm間隔程度で $\angle 20$ ~ 45° の小断層(幅1cm以下)が発達				
	7.5GY 6/1 SYR 4/3	E						51.60~51.89m 花崗閃綠岩(断層破碎部) 51.60~52.00m $\angle 20^\circ$ 幅25mm 緑灰色~灰白色の砂状物が混じる粘土を伴う 51.62~51.63m $\angle 10^\circ$ 石英脈を伴う 51.63~51.83m 粘土混じり角礫状 51.83~51.89m $\angle 40^\circ$ 灰白色 極軟質な角礫混じり粘土 51.89~55.05m 花崗閃綠岩(弱破碎部) 淡緑灰色を呈する花崗閃綠岩の弱破碎部~断層破碎部 全体に破碎され、間隔10cm以下で小断層を多数伴う				
	5GY 4/1	E			0	7	IV ~(V)	52.47~52.53m 緑灰色を呈する極軟質な砂混じり粘土~粘土 上端 30° 下端 45° 53.40~53.73m 破碎度IV 53.73m $\angle 20^\circ$ 幅8mm 緑灰色を呈する極軟質な粘土 54.60~54.68m 紫灰色 軟質な礫混じり粘土~粘土混じり砂 上端 30° 下端 30°				
	10GY 7/1	D						55.05~55.60m 花崗閃綠岩(弱破碎部) 全体に著しく破碎され、長石は粘土化、有色鉱物は緑泥石化する $\angle 20$ ~ 45° の剪断面を多く伴う 55.60~56.20m 断層破碎部 55.60~56.20m $\angle 30^\circ$ 岩片や粗粒物を多く含み、礫混じり砂~礫混じり粘土状となる 55.87~55.92m $\angle 20^\circ$ 幅20~40mm 淡緑灰色~灰白色を呈する極軟質な粘土 55.92~56.09m 固結破碎部 56.09~56.20m 緑灰色粘土 上端 10° 下端 20 ~ 25° 56.20~56.56m 花崗閃綠岩(一部断層破碎部) 56.20~56.30m 破碎されていない花崗閃綠岩 56.30~56.56m せん断面を多く伴う 56.56~57.12m 花崗閃綠岩(断層破碎部) 56.56~57.12m $\angle 10^\circ$ 粒子再配列部 56.56~56.69m 断層破碎部 緑灰色の粘土を60~70%含む 56.69~56.80m 上端 45° 下端 10° 明緑灰色~灰白色を呈する極軟質な粘土 56.80~56.90m 軟質な礫混じり粘土~粘土混じり礫 56.90~57.12m $\angle 20$ ~ 10° 粘土化した軟質な花崗閃綠岩 57.12~57.45m 花崗閃綠岩(弱破碎部~断層破碎部) 57.12~57.45m $\angle 45^\circ$ 剪断面多く伴う 一部粘土化進む				
	5GY 7/1	E	β	3	26	13	V	57.45~57.60m 花崗閃綠岩(弱破碎部) 57.60~57.70m 断層破碎部 上端 50° 下端 10° 57.60~57.70m $\angle 20$ ~ 10° 粒子再配列部 57.65~57.70m 緑灰白粘土 57.70~59.45m 花崗閃綠岩(一部弱破碎部) 57.70~59.45m 幅10cm以下の間隔で小断層が発達 破碎度II~III 57.95~57.97m $\angle 20^\circ$ 灰色を呈する極軟質な粘土 58.05m $\angle 80^\circ$ 幅1~2cmで灰色を呈する軟質な粘土 58.56~58.85m $\angle 20$ ~ 60° 幅10mm以下の小断層多い 59.45~59.61m 花崗閃綠岩(断層破碎部~弱破碎部) 59.45~59.61m 緑灰色~灰色を呈する粘土~粘土混じり礫 上端 30° 下端 30°				
	5GY 7/1	C						59.61~59.76m 花崗閃綠岩(弱破碎部) 59.76~59.93m 断層破碎部 59.76~59.93m $\angle 25^\circ$ 幅30~40mm 緑灰色を呈する極軟質な粘土 59.79~59.90m 粘土混じり礫 59.90~59.93m $\angle 30^\circ$ 幅20~30mm 緑灰色を呈する極軟質な粘土 59.93~(60.00)m 花崗閃綠岩				
	2.5GY 7/1	D			10	10	IV	59.93~(60.00)m 花崗閃綠岩				
	2.5GY 7/1	C~(D)						59.93~(60.00)m 花崗閃綠岩				
	2.5GY 7/1	D			3	10	IV	59.93~(60.00)m 花崗閃綠岩				
	2.5GY 7/1	C~(D)						59.93~(60.00)m 花崗閃綠岩				
	2.5GY 7/1	D	β	2~(3)	10	10	III~IV	59.93~(60.00)m 花崗閃綠岩				
	2.5GY 7/1	C~(D)						59.93~(60.00)m 花崗閃綠岩				
	2.5GY 7/1	D			10	10	III~IV	59.93~(60.00)m 花崗閃綠岩				
	2.5GY 7/1	C~(D)						59.93~(60.00)m 花崗閃綠岩				
	2.5GY 7/1	D			2	2	II	59.93~(60.00)m 花崗閃綠岩				
	2.5GY 7/1	C~(D)						59.93~(60.00)m 花崗閃綠岩				
	2.5GY 7/1	D	β	3	56	56	III	59.93~(60.00)m 花崗閃綠岩				
	2.5GY 7/1	C~(D)						59.93~(60.00)m 花崗閃綠岩				
	2.5GY 7/1	D			10	10	IV	59.93~(60.00)m 花崗閃綠岩				
	2.5GY 7/1	C~(D)						59.93~(60.00)m 花崗閃綠岩				
	2.5GY 7/1	D			23	23	IV	59.93~(60.00)m 花崗閃綠岩				
	2.5GY 7/1	C~(D)						59.93~(60.00)m 花崗閃綠岩				
	2.5GY 7/1	D	β	2	44	30	II~III	59.93~(60.00)m 花崗閃綠岩				
	2.5GY 7/1	C~(D)						59.93~(60.00)m 花崗閃綠岩				
	2.5GY 7/1	D			12	12	IV	59.93~(60.00)m 花崗閃綠岩				
	2.5GY 7/1	C						59.93~(60.00)m 花崗閃綠岩				
	2.5GY 7/1	D			12	12	IV	59.93~(60.00)m 花崗閃綠岩				
	2.5GY 7/1	E						59.93~(60.00)m 花崗閃綠岩				
	2.5GY 7/1	D	β	2	2	IV	II	59.93~(60.00)m 花崗閃綠岩				
	2.5GY 7/1	E						59.93~(60.00)m 花崗閃綠岩				

D~(E)は、Dを主体とし部分的にEを含む場合を示す。

地層名		色調	硬さ	風化	変質	RQD	最大コア長	破碎度	記載
60	花崗閃綠岩	5BG 5/1	C		3			II	(60.00) ~60.20m 花崗閃綠岩 60.20~61.77m 断層破碎部 有色鉱物は緑泥石化、長石はすべて粘土(白色)化し、石英粒子のみ残る。全体に軟質岩組織が残らず原岩判別つかない
	断層破碎部	5GY 7/1	E		4	10	10	V	
					14	14			61.77~62.00m 花崗閃綠岩(断層破碎部) 有色鉱物は緑泥石化しているが、わずかに花崗岩組織が残る。 61.70m $\angle 30^\circ$ 61.93m $\angle 50^\circ$ 幅 5~6mm 灰白色を呈する細礫混じり粘土 62.00~62.25m 断層破碎部 著しく破碎され粘土化する 灰色~緑灰色
	花崗閃綠岩(断層破碎部)	D			3			IV	
	断層破碎部	E			4			V	
	花崗閃綠岩(断層破碎部)	5BG 5/1	D~E		2	14	14	IV	62.25~64.73m 花崗閃綠岩(断層破碎部) 62.35~62.40m 幅 30mm の淡緑白色を呈する角礫混じり粘土 上端 $\angle 45^\circ$ 下端 $\angle 30^\circ$ 62.55~62.58m $\angle 60^\circ$ 幅 10~15mm 灰色粘土 62.80~62.85m $\angle 45^\circ$ 砂混じり粘土 幅 20~30mm 境界や不明瞭 63.61~63.66m $\angle 50^\circ$ 幅 20mm 淡緑灰色を呈する粗粒砂混じり粘土 63.88m $\angle 50^\circ$ 幅 30~40mm 緑灰色~灰白色を呈する細礫混じり粘土
	花崗閃綠岩(断層破碎部)	5GY 7/1	C		2			IV	64.73~64.85m 花崗閃綠岩(断層破碎部) 64.85~65.90m 花崗閃綠岩(断層破碎部)
65	花崗閃綠岩(断層破碎部)	10GY 6/1	C		3			IV	64.95m 断層 $\angle 70^\circ$ 完全に固結し断層面密着 65.25~65.43m $\angle 20~45^\circ$ の固結した断層 3条あり 幅 3~4mm 緑灰色粘土伴う 65.57~65.72m 上端 $\angle 50^\circ$ 下端 $\angle 40^\circ$ 緑灰色を呈するやや軟質な細礫混じり粘土 幅 100mm 程度
	断層破碎部	2.5GR 8/1	E		4			V	65.90~69.00m 断層破碎部 65.90m 境界 $\angle 5~10^\circ$ 灰白色~淡緑灰色を呈する粘土化した変質花崗岩 原岩組織が判別できないほど粘土化著しい 66.06m $\angle 25^\circ$ 幅 5~20mm 白色を呈する軟質な粗粒砂混じり粘土 66.83m $\angle 40^\circ$ 幅 10mm 石英脈 67.29m, 67.36m, 67.49m, 67.51m, 67.62m 幅 1~3mm $\angle 20~40^\circ$ の緑泥石脈を伴う
	断層破碎部	7.5GY 7/1							
	断層破碎部	2.5GR 8/1							
	断層破碎部	5R 6/1							
	断層破碎部	2.5GY 7/1							
70	断層破碎部	5R 6/1							
	断層破碎部	5R 6/1							
	断層破碎部	7.5GY 6/1							
	泥岩(断層破碎部)	5YR 4/1							
	断層破碎部	2.5GY 6/1							
	断層破碎部	5YR 4/1							
	断層破碎部	5GY 6/1							
	断層破碎部	5YR 4/1							
	断層破碎部	5P 6/1							
	断層破碎部	10Y 5/1							
	断層破碎部	5B 5/1							
	細粒砂岩	10Y 4/1	C						
	泥岩	7.5Y 4/1							
	泥岩	7.5Y 4/2							
75	断層破碎部	10G 6/1	D						
	断層破碎部	5P 6/1	E						
	断層破碎部	5G 7/1	D						
	泥岩	7.5Y 3/2	D						

(軟質部はRQD、最大コア長にカウントしない)

宿屋No. 10(6の6)

GL=12.187m

L=90.0m

地層名	色調	硬さ	風化	変質	RQD	最大コア長	破碎度	記載
泥岩	7.5Y 3/2	C		1			II	(75.00) ~83.80m 泥岩 オリーブ黒色 (~黄褐色) を呈する泥岩 幅 1~2mm の葉理が発達する 75.10m 炭質物片を含む。 75.20m 固結した小断層 $\angle 20^\circ$ 75.40~75.52m 青灰色の粘土からなる断層破碎部 76.00~77.00m 付近 葉理 $\angle 40\sim 50^\circ$ 77.00~78.00m 付近 葉理 $\angle 90^\circ$ 小断層で切られる 78.00~79.00m 付近 葉理 $\angle 60\sim 70^\circ$ 小断層で切られる 79.00~80.00m 付近 葉理 $\angle 90^\circ$ 小断層で切られる。
泥岩	7.5Y 3/2	C	α β	1	50 78 95 81 75 68	30 53 46 81 75 52	II	
泥岩	7.5Y 3/2	C	α β	1	73	33	V	80.22m $\angle 45^\circ$ 幅 10mm 細片状を呈する泥岩破碎部 80.22~81.08m 比較的均質・塊状のシルト岩 81.08~83.28m 泥岩 葉理発達 81.08m $\angle 30^\circ$ 幅 1~6mm の黒すじ状の固結断層
泥岩	7.5Y 3/2	C	α	1	62	31	II	81.08~81.43m $\angle 85^\circ$ の葉理 81.44~81.56m 淡緑灰色の粘土からなる軟質な断層破碎部 泥岩の岩片含む 上端と下端で傾斜方向が逆になる (81.44m $\angle 65\sim 70^\circ$ 81.56m $\angle 60^\circ$) 81.87~81.91m $\angle 60^\circ$ 幅 50mm 塊状シルト中に泥岩が挟まれる 葉理 $\angle 60^\circ$ 82.00~83.28m 泥岩 葉理は多数の小断層に切られる 82.85m $\angle 85^\circ$ 幅 2~3mm 灰色粘土を伴う固結した断層
泥岩	5Y 4/1	C	α	4	56	32	V	83.28~83.42m $\angle 30^\circ$ 緑灰色粘土 泥岩岩片を含む 泥岩礫は引き伸ばされ、回転している。
泥岩	5Y 4/2	C	γ	1			II	
断層破碎部	10G 6/1	E	α	4			V	83.80~84.13m 泥岩 (断層破碎部)
泥岩	7.5YR 4/1	C	γ	1			IV	83.80~84.08m 断層破碎部 $\phi 10\sim 40mm$ の泥岩片を含む淡緑灰色粘土 上端 $\angle 70^\circ$
花崗岩 (断層破碎部)	10Y 8/1	D	α	3	10	10	V	84.08~84.13m $\angle 50\sim 60^\circ$ 変質した赤褐色泥岩を挟む
花崗岩 (断層破碎部)	10GY 7/1	D	α	3			IV	84.13~84.88m 花崗岩 (断層破碎部)
花崗岩 (弱破碎部)	5PB 7/1 10GY 6/1	C		2				84.13~84.40m 断層破碎部 $\angle 50\sim 60^\circ$ 花崗岩組織を残しているが軟質化 (粘土分 20~30%含む)
花崗岩 (弱破碎部)	5PB 5/1	D			90	90		84.40~84.50m 暗灰色を呈する粘土と泥岩片の混在部で全体に軟質 $\angle 50^\circ$ 84.50~84.60m 灰色を呈する軟質な粘土からなる断層破碎部 幅 40~50mm $\angle 60^\circ$ 84.60~84.88m 断層破碎部 上端は $\angle 60^\circ$ 下端は $\angle 30^\circ$ 花崗岩塊混じる
花崗岩 (弱破碎部)	5PB 5/1	C	α	2	100	100	III	84.88~88.28m 花崗岩 (弱破碎部) 淡緑灰色~赤褐色を呈する花崗岩 $\phi 2\sim 40mm$ の亜円盤状の花崗閃緑岩、閃緑岩、花崗岩を 15~50%程度含む。 86.85m $\angle 60^\circ$ 灰色~暗褐色を呈するやや軟質な粘土 (再固結した粘土)
花崗岩 (弱破碎部)	5PB 5/1				95	48		87.51~87.53m 幅 20mm の淡緑灰色粘土からなる再固結した断層 $\angle 45^\circ$
花崗岩 (断層破碎部)	10G 6/1	D		3	50	31	IV~V	87.73m, 87.99m 淡緑灰色粘土からなる再固結した断層 $\angle 20^\circ$ 88.09m 再固結した断層 $\angle 60^\circ$ 幅 3~50mm の灰色を呈する細粒砂状部 幅 5mm の粒子再配列部伴う
花崗岩 (断層破碎部)	5R 5/1	C			100	100	IV	88.28~88.80m 花崗岩 (断層破碎部) 緑灰色を呈する軟質な礫混じり粘土 下端 $\angle 45\sim 50^\circ$ 88.80~90.00m 花崗岩 (断層破碎部) 赤褐色を呈する花崗岩 $\angle 60\sim 80^\circ$ の剪断面が発達 89.81m $\phi 25\sim 40mm$ の花崗岩の健岩を礫状に含む

宿屋No.10 (0.00~20.00m)



宿屋No.10 (20.00~45.00m)



宿屋No.10 (45.00~70.00m)



宿屋No.10 (75.00~90.00m)



地質柱状図	色調	地質記載	^{14}C 年代測定値	火山灰分析結果
(見掛け角度)				
0	5Y 4/1 灰 5Y 6/3 オリーブ黄 2.5Y 6/6 明黄褐	<u>0.00~0.10m 表土</u> 粗粒砂混じりシルト 植物根を多く含む。 <u>0.10~0.43m 粘土</u> オリーブ黄色を呈する極軟質な粘土 上部はややシルト質 <u>0.43~1.50m 粘土 (ややシルト質)</u> 明黄褐色~浅黄色を呈する粘土 わずかにシルト分伴う 所々、粗粒砂~細礫を少量含む。 <u>1.00~1.24m</u> やや黄褐色化した部分を伴う。植物根を伴う。	[0. 10~18. 18m 高階層]	
1	7.5Y 7/3 浅黄 2.5Y 4/2 暗灰黄 2.5Y 6/6 明黄褐 10GY 7/1 明緑灰	1.33~1.37m 粗粒分伴う。 <u>1.50~1.55m 腐植質シルト</u> 黄褐色を呈する腐植質シルト <u>1.55~2.17m シルト</u> 1.55~1.78m 黄灰色を呈するシルト 1.70~1.78m 腐植物やや多い。 1.78~2.17m 明緑灰色を呈するシルト質粘土 2.00mまで植物根を含む。 2.08~2.10m 花崗岩および頁岩起源の粗粒砂を 10~15%含む。 <u>2.17~3.28m 腐植質粘土</u> オリーブ黒色の腐植質粘土 φ 2~20mm の泥岩礫、花崗岩礫が 5~7%点在する 下部ほど多い。 上端は凹凸が著しく、上位層により削られている。 $\angle 30^\circ$ (見掛けの傾斜) 下位層とはやや漸移的		
2	5Y 3/1 オリーブ黒	 <u>3.28~3.72m 磯混じりシルト質中粒~細粒砂</u> にぶい黄色を呈するシルト質中粒~細粒砂 φ 2~25mm (代表 φ 3~5mm) の円~亜円を 10~13%程度含む。 クサリ礫目立つ 3.35~3.40m付近 腐植物片点在する 下位層との境界 $\angle 60^\circ$ (見掛けの傾斜) <u>3.72~4.10m シルト</u> 灰黄色を呈するシルト 上部はわずかに砂質となる 下位層へ漸移 <u>4.10~4.59m 粘土</u> 明オリーブ灰色~明緑灰色を呈する粘土 下部に φ 5~20mm の原岩不明なほど強風化したクサリ礫を含む。 下位層との境界凹凸あり <u>4.59~4.80m 磯</u> φ 2~30mm、代表 φ 5mm 程度と φ 15~25mm の亜円~亜角礫を 30%程度含む 礫種は安山岩、泥岩、花崗岩 基質支持 <u>4.80~5.00m 磯混じり粗粒砂</u> 灰黄色を呈する礫混じり粗粒砂 シルト分を含む φ 2~30mm、代表 φ 3~5mm の礫を 10~15%含む 磫種は上位層と同質 <u>5.00~5.83m 中礫</u> 5.00~5.52m φ 5~7mm, φ 40~60mm を主体とする円~亜円礫を 40~50%含む 5.52~5.83m φ 10~20mm を主体とする円~亜円礫を 90%以上含む 礫種は安山岩、泥岩、岩種不明のクサリ礫、花崗岩、チャートおよび頁岩 5.52m以浅は基質支持 5.52m以深は頁岩、安山岩主体で礫支持 <u>5.83~6.02m 極細粒砂</u> 灰オリーブ色を呈するルーズな極細粒砂 塊状で極めて淘汰良好 <u>6.02~6.73m 細粒砂</u> 灰オリーブ色を呈するアルコース質の細粒砂 所々に中粒~粗粒砂含む 6.07m付近 厚さ 10mm の中粒砂を挟む 6.20m付近 中粒砂粒子点在 6.28m 厚さ 10mm 以下の粗粒砂を挟む 6.40m付近 酸化褐色化 6.32~6.54m 斜交ラミナ $\angle 30^\circ$ ~ 35° (見掛けの傾斜) <u>6.73~6.85m 中粒~粗粒砂</u> 明黄褐色を呈する中粒~粗粒砂 やや淘汰悪い <u>6.85~6.96m 中粒砂</u> 黄褐色呈する中粒砂 <u>6.96~7.12m 磯混じり中粒砂</u> φ 2~20mm の亜角~亜円礫を 3~5%程度含む礫混じり中粒砂 礫種は安山岩からなる 下位層との境界 $\angle 5$ ~ 7° (見掛けの傾斜) <u>7.12~7.19m シルト質極細粒砂</u> 明黄褐色を呈するシルト質極細粒砂 平行ラミナ $\angle 5$ ~ 7° (見掛けの傾斜) <u>7.19~7.26m 磯</u> φ 20~30mm の安山岩の角礫~亜円礫を 50%含む。但し、7.23~7.25mは細粒砂 <u>7.26~7.67m 極細粒砂</u> 灰オリーブ色を呈するアルコース質の極細粒砂 淘汰良好 7.45~7.63m ラミナ $\angle 30^\circ$ (見掛けの傾斜) <u>7.67~7.73m 中粒砂</u> にぶい黄橙色を呈する中粒砂 酸化による縞状部を伴う。 <u>7.73~8.35m シルト質細粒砂</u> にぶい黄色~緑灰色を呈するシルト質細粒砂 8.05mで色調が急激に変化する。 8.20~8.35m付近 小さな腐植物片が点在する。 下位層に漸移する <u>8.35~8.60m 細粒砂</u> 緑灰色を呈する細粒砂 下部はやや中粒で正級化を呈する。 <u>8.60~8.83m 磯混じり粗粒砂</u> φ 2~5mm の安山岩および花崗岩の角~亜角礫を 5~7%含む礫混じり粗粒砂 <u>8.83~(9.00)m 粘土</u> オリーブ灰色を呈する粘土		
3	5Y 4/1 灰 2.5Y 6/4 にぶい黄			
4	2.5Y 6/2 灰黄 5GY 7/1 明オリーブ灰 2.5Y 7/6 明黄褐 10GY 7/1 明緑灰 5Y 7/6 黄 2.5Y 6/2 灰黄 10YR 5/6 黄褐 5Y 6/2 灰オリーブ 10GY 5/1 緑灰 7.5Y 6/2 灰オリーブ			
5				
6	7.5Y 6/2 灰オリーブ 2.5Y 6/2 (一部 10YR 6/6) 10Y 7/2 灰白 2.5Y 6/6 明黄褐 10YR 6/6 2.5Y 6/6 明黄褐 10YR 6/6 5Y 7/4 10YR 6/6 2.5Y 6/2 灰オリーブ 10YR 6/4 にぶい黄橙 2.5Y 6/4 にぶい黄 7.5GY 6/1 緑灰 2.5GY 6/1 黄灰 5GY 5/1 オリーブ灰			
7				
8				
9				